

レボ

あなたの
お金の革命
戦略の力

リニュー

ゲイリー・キージー

シヨシ

キリストの中の友よ、

あなたがこの教えの中で祝福と励ましを得ることが私たちの祈りです！この本をあなたの友人、家族、そして教会の兄弟姉妹と分かち合ってください。また、FLNFree.comにアクセスすると、あなたの言語で無料の資料をダウンロードすることができます。

神様はあなたを愛しておられ、あなたのために素晴らしい計画を持っておられます！神の御国の原理を学んだことで私たちの人生は大きく変えられました。あなたにも同じことが起こると信じています！

キリストの愛をもって

ゲイリーとドレンダ キージー



追伸： FLNFree.comにアクセスして、あなたの言語で無料の資料をダウンロードすることを忘れないで下さい！

レボ

あなたの
お金の革命
戦略の力

リニュー

ゲイリー・キージー

シヨシ

Your Financial Revolution :
The Power of Strategy, Japanese
Copyright © 2024 by Gary Keesee

Originally published in English
Copyright © 2018 by Gary Keesee
ISBN : ISBN:978-1-945930-14-0

Gary Keesee Ministries
P. O. Box 979,
New Albany OH 43054, USA
GaryKeesee.com

This book is a FREE GIFT from Gary Keesee Ministries and is NOT FOR SALE

お金の革命:

戦略の力

著作権© ゲイリー・キージー2024

NIVと表記されているものは、New International Versionの聖書から引用しています。

著作権©1973、1978、1983、1984無断転載を禁じます。

NKJVと表記されているものは、New King James Versionの聖書から引用しています。

著作権©1982トーマス・ネルソン法人の許可を得ています。無断転載を禁じます。

アメリカで印刷されました。著作権法に基づき無断転載を禁じます。引用する内容によつては著者が詳しく掲載していない場合もあります。

ISBN:978-1-945930-14-0

Free Indeed Publishersによつて出版されました。

Faith Life Nowによつて配布されました。

Faith Life Now

P. O. Box 779

New Albany, OH 43054

1-(888)-391-LIFE

www.faithlifenow.comで、Faith Life Nowミニストーリーについて知ることができます。

献呈

私はこの本を私の妻ドレンダに捧げたいと思います。
彼女の励ましと神様への情熱、そして家族に対する愛
で長年私を支えてくれました。私たちは共に、夢は本
当に叶うということを体験しました！

-ゲイリー・キージー-

目次

はじめに	9
第1章: どうしてほしいって?	13
第2章: 御国	23
第3章: 仰天	37
第4章: 基本: これをするまで家を離れない	51
第5章: 聖書的根拠	61
第6章: みなが異言で祈っているか?	75
第7章: 宝箱	85
第8章: 昇進の難しさ	93
第9章: かすかな、細い声	103
第10章: 幻と夢	117
第11章: 聖霊様は私の上司のようだ	117
第12章: どのように祈り聖霊のバプテスマを受けるのか	117

はじめに

お金の革命：戦略の力は、「お金の革命」シリーズの三作目です。全部で5冊になる予定ですが、これらの内容は2005年にアルバニアで開かれた集会で語られたものです。この集会で私の人生の方向性が劇的に変えられました。あなたがこの内容を知っているなら、序章を飛ばして第1章に移りたいと思うでしょう。しかし、もし夕もやの話聞いたことがないなら、ぜひ読んで下さい。“夕もや”と聞くと、“何それ？”と思うかも知れません。そう思うのも理解できます。私がそれを見たとき、何であるかはわかりませんでした、あまりにも力強く見えたので神様から来たものであることはわかりました。それについて話します。

私たち夫婦は結婚当初から借金があり、9年間も借金を抱えて生きていました。抱えていたのは借金だけでなく、経済的な問題から来るストレスと恐れをも抱えていました。まさか、一枚のガソリン用のクレジットカードから始まり、次に一枚のVisaカード、その後十枚のVisaカードを持つことになるとは思っていませんでした。私たちがクレジットカードの支払いを滞納し始めると、その利子は28～33パーセントに上がっていきました。しかし、私たちがさらにカードを使い続けることで借金はますます増えていきました！最終的に、私たちの10枚以上のクレジットカードは止められ、私たちは3つの保険会社のローンと米国税庁からの通知、そしてその他の様々な借金を抱えることになりました。私たちは歯科医、ドライクリーニング店、また両親から借金をし、2台の車のローンと家賃も滞納し続けていました。

毎日限界に達していたので、私はストレスで死にそうでした。私はパニック障害を発症し、抗うつ剤を飲んでいましたが、効果はありませんでした。

私たちの持っていたものは、全て壊れていました。私たちの車は20万マイル以上を走っていました。私たちが3万円の家賃を払って借りていた1856年の古い家は問題だらけでした。ほとんどの窓ガラスは割れていましたが、お金がなかったので、ただテープを貼ってごまかしていました。外のつる草は割れた窓から侵入して家の中にまで入ってきまし

た。私の妻のドレンダは、そのつる草があたかも家のデコレーションであるかのようにきれいに整えていました。息子たちの部屋のカーペットはゴミ置き場から拾ってきたものでした。彼らのマットレスは病院で使わなくなったものを譲り受けたものでした。家にある全ての家具はゴミ置き場で拾ったか、知人から譲り受けたものでした。

毎朝起きて、その日どのように家族を養えば良いのかを考えることは楽しくありません。恐れが私の人生を支配したので、喜びと希望はいつの間にか消えていました。ドレンダと私は9年間もそのように生きていたのです！9年間もですよ！数ヶ月、あるいは1年くらいならわかります。でも9年は？9年間もそのストレスの中で生きていたら、感情は鈍くなり、忍耐というものは存在しなくなるのです。

その9年の間も、私たちは、貧困は神様の御心ではないと教えている素晴らしい教会に通っていました。私たちは十分の一献金と主日献金を捧げていましたが、神様の誠実さと御言葉に書いてある教えを体験することはありませんでした。私は旧約聖書を熟読し、聖書学校にも1年通ったことがありました。何かが間違っていると感じてはいたものの、希望を持ち続けるならいつかは道が開かれるだろうと信じていました。9年は何も起こらなかつたことになりませんが、取り立ての電話はほぼ毎日かかってきたので、ドレンダと私は絶望に陥りました。

その他にも、医者には糖尿病と診断され、私の健康状態はますます悪化していきました。お金はないし、全てのクレジットカードは止められて、家に食料もない状態でした。恐怖が私を襲ったので、私は家から出ることも恐れるようになりました。妻は夫を失った後にどのように自分の両親の家に子どもたちを連れて移り住むかを考え始めました。しかし、この絶望の中で人生の変化は訪れたのです。

弁護士からの電話は毎日のかかってくるので、私は彼にお金を準備すると約束しましたが、そのお金が準備されることはありませんでした。ある朝、いつものように電話をかけてきた彼に忍耐はもう残されていませんでした。“三日以内にお金を用意できなければ、私はあなたを訴えます。”その瞬間、私はお金を準備するふりすらできないことに気がつきました。私にはお金がなかったし、私の親族からも借りられないことを知っていました。絶望の中、私は古い家の階段を上がり、寝室に入って神様に向かって泣き叫びました。驚くことに、その方はすぐに答えて下さいました。まず、その方は私が以前からよく知っていた聖句を思い起こさせて下さいました。ピリピ4：19です。

“また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。”

“もちろんこの聖句を知っています”と私は主に伝えてから、“でも、私の人生では何も起きていません。私の必要はすべて満たされてい

ません”と言いました。主は私に、“わたしは今のあなたの状況をどうすることもできない。なぜなら、あなたが御国の法則を学んで来なかったからだ”と言われました。主は私にいくつかのことを語られましたが、私が受け取ったメッセージはこれです：借金を決して神様の御心ではないということです。

私は主の御声を聞いて嬉しくなりましたが、その方の言われた御国が何なのかは理解できませんでした。私は聖書を熟読したので聖書を知っていると思っていましたが、それは勘違いでした。主の御声を聞いた直後に、私はドレンダの元に行き、これまでのことを悔い改めました。それから、私たちは共に祈り、御国の法則を教えて下さるようにと神様に祈りました。また、私たちはこれまで借金に頼って生きてきたことを悔い改め、二度とそのような生き方はしないと決めました。しかし、どんなに私が聖書を熟知していたとしても、御国は幻想的でした。新約聖書の中で御国という単語が使われたのは主の祈りだけではないかと思いました。

“御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように”

(マタイ6:10)

私たちは主が何を言われているのかがわかりませんでした。慕い求めるうちに、その方は私たちに教え始められました。まず、私たちが知らなければならなかったのは、御国とは何か、またなぜ神様は御国という単語が使われたのかということでした。神様は私たちに何を教えておられるのか？少し調べてみると、御国は人々の群れを指しているのではないことがわかりました。御国は、王の統治とその国の法則に従って生きている人々の群れを指していたのです。実際に、御国は王の統治を意味します。王の統治と王の権威が、その王国に住む全ての国民の上にあるのです。基本的な要点です：神の御国は統治権です。

統治には法則があります！

私は、ほとんどのクリスチャンがやっているように、間違った視点で神様を見ていました。神様は神様だから、何でも神様がなさると決められたことをなさると思っていました。ここまで来ると、あなたはきっと私の考えは間違っていたということを書くのだろうと気づいたのではないのでしょうか。

私は神様が思いのままになさると思っていたので、祈りに答えられないのも神様が拒まれたからだと考えていました。ですから、私は祈る度に聞かれたらいいなど、ただ望みを置いて祈っていました。それに、祈り方も憐れみを乞うように泣いてみたり叫んでみたりして、どうにか神様の目に留まることを願ったものでした。しかし、神様が御国は法則のある統治権であり、私たちはそれを学んで使うことができると教えられたとき、私

は興奮しました。私は、私がキリストのもとに来たときに御国の国民となり、相続人になることを学びました。

“こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです”

(エペソ2:19)

私はこの聖句を読みながら、‘私は御国の中で法的権利を持っている！こんなに単純なことなのか？アメリカの国民として、私はすでに持っているもののために憐れみを乞う必要はない。本当に国民であるのかを確かめるために頼をつねる必要もない。私はここで生まれたのだ。神の御国の中で生まれ変わったのなら、私は御国の国民なのだ。だから、私は御国の法則に従うなら、その中にある全ての恩恵を受けることができるのだ。’と考えました。神様がこれを私に示して下さったとき、私の世界は劇的に変えられました。多くのクリスチャンのように、ドレンダと私も御国とその法則を理解していなかったのです。

多くのクリスチャンは、誰かが苦しみに会っているとき、“神様は知っておられる。神様が最善の答えを持っておられる、神様が主権を持っておられる”と言います。これらの言葉は、神様が答えを与える力を持っておられるけど、与えないことにされたから仕方ないという意味になります。

このような間違った考えは、神様の品性と神の御国の法則を理解していないから出てくるのです。

私の言っていることを説明させて下さい。もしあなたの通帳に数億ドルがあるなら、あなたは“私は数億ドル持っています”と言うでしょう。しかし、実際にはあなたのポケットに数億ドルが入っているわけではありません。あなたは銀行にあるそのお金を合法的に動かしてあなたの手に入れるということを知っているのです。神の御国もこれと同じです。御国の国民であり、神の家族である私たちは神様のものを相続できます。しかし、すでに私たちのものである相続を手に入れるためには法則に従って動かす必要があるのです。

ほとんどの人は神の御国とその法則を理解していないので、御言葉の通りにならなかったら、その結果を自分たちではなく、神様のせいにします。

私が発見したことがあります。あなたは高層ビルの屋上で、パラシュートを付けずに両手を広げて飛び降りるなら、安全に着地できるという思いが与えられたとしましょう。あなたはすでにそれが馬鹿げた思いであることを知っています。なぜなら、重力の法則を知っているからです。重力の法則はどんなときでも同じように働きます。同様に、あなたが電気をつけると電気がつくことを知っているのも、電力の法則を知っているからです。私は飛行機に乗るとき、飛行機が飛ぶことを知っています。なぜなら、揚力の法則を知っているからです。飛行機も電気も毎回同じように働くのは、そこに変わらない法則があるからです。

神の御国の法則にも同じことが言えるのです。

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知るのでした。

-1ヨハネ5:14-15

これが私たちの確信です。もし私たちが神様の御心を求めるなら、神様は私たちの願いを聞いて下さり、私たちの願いを聞いて下さることを知るなら、願ったその事を受け取ることも知るのでした。その法則を作ったのが王であるなら、私たちは確信を持つことができます。神様は法則の通りになさいます。聖句が「私たちの願う事を神が聞いてくださる」というのは、ただ耳で聞くだけでなく、裁判官が正義のために審理を行うことに似ています。裁判官は自分の感情によって裁くのではなく、その国の法律によって物事を裁きます。私は法廷で物事が裁かれる前に、その結果がどうなるのかを知っています。

ドレンダと私は、私たちの人生に御国の法則を適用し始めたときから変化が起きたことを感じました。私たちは2年半のうちに借金を完済することができたのです。常に割引された食品を探していた私たちが、現金で新車を購入するようになり、広い庭付きの大きな家も現金で購入するようになったのです。数年後に立ち上げた会社は、年間数十万ドルの純利益を生み出しています。それから、私たちは地元で私たちが学んだ神の御国について人々に伝えるために教会を始めました。多くの人々が御国について学びたがり、良いものを享受する人生を夢見ていることがわかりました。御国の良い知らせのおかげで、教会は数千人へと成長しました。

私はほぼ毎日御国について聞いたがっている人に教えていましたが、御国について一度も聞いたことのない人々にも伝えたいと願うようになりました。御国を理解して人の人生が変えられるためには、たった一度の話し合いの場では不十分であると感じました。メソジスト教会で育った私の経験談を分かち合う必要があると感じました。私が幼かった頃、一週間以上続くリバイバルがありました。そこで、私は一週間ほど続く経済のリバイバルを計画することにしました。私はそれまで講義を5回に分けて御国について教えたことがなかったので、どのようにすれば良いのかわかりませんでした。しかし、5回の講義が人々にどのような影響を与えるのかが気になりました。私はこの集會が開かれる機会が与えられるように祈り始めました。私の願いは、一度も御国について聞いたことがない人々に教えることでした。

ある日、私はアルバニアで宣教している友人に会いました。私たちの会話は、教会やミニストリーの話から始まり、最終的には神様が私に示して下さったことにまで広がりました。ラリーはアルバニアで毎年開かれる集會をその年の秋に予定していて、私を講師の一人として招いてくれました。私は彼に5回の講義については話しませんでした、3回

の講義を頼まれたことを嬉しく思いました。アルバニアはとても貧しいので、講師たちは自費で交通費を払うと言われました。私は了承し、2005年の秋にアルバニアに行く計画を立てました。

ついにその時が来たので、私は人々に御国について教え、クリスチャンであることがどういうものなのかを伝えることを考えると胸が高鳴りました。私がアルバニアに着くと、ラリーは空港で私を出迎え、一人の講師が来れなくなったので、私が5回の講義を担当してほしいと言いました。

私はそれが聖霊様の御わざであることを確信しました！3回の講義を用意していましたが、すぐに5回の講義の用意を始めました。私は、貧困に苦しみ、治安も悪い中で生活している人々の反応が気になりました。

私が最初の講義で話し始めたとき、人々は躊躇しているようでしたが、講義が進むにつれて、神の御国について学んだ人々は喜び、興奮しているようでした。4回目の講義では、人々は笑ったり喜びの叫び声をあげたりしました。不思議なことに、5回目の講義で献金の時間を設けるように主が私に言われるのを感じました。人々が集会に参加するための費用も講師たちが払ったくらい彼らは貧しいのに、献金を捧げるお金はあるのでしょうか？しかし、学んだことを実行することが彼らにとって益であることを悟りました。私はこのことをラリーに伝えるのを少し躊躇いしましたが、ラリーは快く許可してくれました。もちろん、その献金は私のためではありません。捧げられた献金はアルバニアの教会で使われるためでした。

最後の講義で私はどのように信仰を解き放つのかについて教えたとき、学んできた教えを実行する必要があることを伝えました。講義が終わり、献金の時間になったとき、変化が起きました。神様の油注ぎが集会場に注がれたので、人々は叫びながら踊り始めました。最前列に献金袋を持った4人の人が立っていましたが、人々が献金を捧げるとき神様の臨在があまりにも力強く注がれたので、彼らは倒れそうになりました。私はこのような集会に参加したことがありませんでした。特に、献金の時間にこのような光景を見たことがありませんでした！

ラリーと私が会場を後にしたとき、私たちは力強い油注ぎと人々の反応について驚きを隠せませんでした。

ラリーのアパートに着くと、献金袋がいっぱいになっているのを見たことがない彼はいくら捧げられたのかが気になりました。いつもは献金袋の四分の一ほどの献金が集まると言いました。ラリーがリビングの机の上に献金袋をひっくり返したそのとき、突然夕もやのような光がその部屋に現れて、私たちが感じたことのない油注ぎを感じました。私たちは何もすることができず、ただ椅子にもたれるだけでした。私が机の上に置かれた献金の山に目を向けると、そこには男性の結婚指輪がありました。私は、その指輪がお金のない男性にとって捧げることができる唯一のものであったことがわかりました。私がその指輪を見ていると、主は私に語られました。

“わたしはあなたをわたしの祝福の契約を教えるために国々に遣わす。わたしがあなたを遣わし、わたしが支払う。”

私はそれから三日間寝ることができませんでした。私の上に注がれた

油注ぎは数週間続きました。もし他の国で、あの集会に参加した人に会ったとしても油注ぎを感じる事ができるほどでした。献金はアルバニアの教会で用いられるために残して来ましたが、私が家に帰ると、ラリーから連絡があり、主が彼に指輪はゲイリーに送るように言われたことを聞きました。私は嬉しくなりました。私が指輪を欲しがっていたことをラリーに言わなくても、神様が彼に言われたからです。私はその指輪をその日主が私に語られたことを記念するものとして欲しかったので、今でも指輪は壁に飾られています。

私が家に着いたとき、アルバニアの集会で起きたことを聞いたラリーの友人の牧師から連絡があり、ユタ州にある小さな教会に来てほしいと言われました。彼はアメリカの先住民を対象に牧会をしていますが、そこにいる人々はとても貧しいと言いました。彼の教会には60人しかいないと言われましたが、私は彼にそれでも構わないと伝えました。私は行くことにしました。

私は、アルバニアでやったように5回の講義の時間を持ちました。そこでは夕もやを見ることはありませんでしたが、油注ぎは力強いものでした。

このときの献金は私のためのものだったので、私はそれをオハイオ州に持って帰りました。

私は事務所に着くと、持ってきた献金袋を秘書に渡して金額を数えるようにと伝えてから、私は昼食をとりに出かけました。昼食をとっていると、私の携帯電話が鳴り、秘書の番号が見えました。電話に出てみると、何も聞こえなかったので切ろうとしましたが、かすかに泣き声が聞こえたので、“トレイシー？”と聞きました。トレイシーは返事をし、感情を落ち着かせようしました。“先生、ユタ州でこのお金に何が起きたのですか？”と聞かれたので、私は“お金に何が起きたってどういうことだ？”と聞き返しました。彼女は、“実は、私が机の上でこの献金袋を開けると、神様の油注ぎがあまりにも強く注がれたので、私は床に倒れてしまいました。異変に気付いた別の秘書が駆けつけましたが、その部屋に入ると彼女にも同じことが起きました！先生、このお金に何が起きたのですか？”私は彼女にユタでの集会で献金を集めるとき強い油注ぎがあったのは感じられたけど、そこで何かが起きたわけではないと伝えました。私自身、このようなことを聞いたことがなかったので正直戸惑っていました。理解はできませんでしたが、集会での油注ぎがお金の上に注がれていたことは明白でした！本当です！

私たちは‘お金の革命カンファレンス’と呼ばれる集会を、大きな教会や小さな教会など、学びたい人がいるところで開き始めました。夕もやのような光は毎回現れることはありませんでしたが、力強い油注ぎはありました。アルバニアでの集会とアメリカの先住民の教会であったように、油注ぎはいつも献金の上に注がれました。集会が終わり、献金の額を数えるたびに聖霊様の力の下で震え始めるのでした。興味深いことに、その油注ぎはお金の種類によって異なりました。全て同じ油注ぎではなかったのです。

その後わかったことは、一人ひとり信仰の度合いによって捧げられた献金の油注ぎが異なるということでした。素晴らしいです！

‘お金の革命’シリーズの全5冊は、私がアルバニアでの集会で分かった講義の内容です。もちろん、最初の集会よりも本の内容の方がさらに付け加えて深いものとなっています。私はあなたが、ドレンダと私が御国について学んだように学ぶなら、あなたの物事を見る視点が完全に変

あなたのお金の革命:戦略の力

わると信じています。私がアルバニアの集会で教えたときのこのシリーズは、もともと‘聖霊様による富’と名付けていました。私はそのときの題を今も信じています。聖霊様が私たちに戦略を与えて下さることで、私たちは栄えるからです。私はあなたがこの本を読むとき、この地上で聖霊様があなたにどのような戦略を示して下さいのかを学んでほしいと願っています。

第1章

どうしてほしいって？

私はアルバニアから家に戻ってきたとき、混乱していました。主が私の人生のためになさったことと、これから私が国々に行って教えることを考えると心が重くなりました。国々？私はドレンダと結婚するとき、海外旅行には興味がなく、他の国には宣教旅行にも決して行かないと宣言していた人です。しかし、神様には別の計画がありました。国々に行くことですが、どのようにででしょうか？私は国内の至る所で事業をしていたし、牧会をしている教会もあったし、養うべき家族もいたし、他にもいろいろとありました。どうしても国々に行くということが考えられませんでした。しかし、神様には計画があつて、その計画は私が直接どこかに行かなくても全世界に向けて教えることができるテレビでした。

ドレンダと私はテレビに関して何も知りませんでした。その頃、私たちは教会の礼拝の録画すらしていませんでした。しかし、神様はどのようにすべきなのかを少しずつ示して下さったので、私たちはテレビの働きを始めることにしました。最初に学んだことは、テレビの働きをするには多額のお金がかかるということでした。テレビの働きを始めるために最初の一年に必要なお金は3,000万円以上でした。正直に言うと、私はテレビの働きにかかる費用が高すぎて衝撃を受けました。問題は、私たちの教会はミニストリー拡大のために新しいキャンパスを建てたばかりだったので、テレビの働きのためのお金はありませんでした。

そこで、私は主に今はテレビの働きを始めるお金がないことを伝えました。主は、“そうだ。だからあなたとドレンダが払いなさい。”と言われました。

それを聞いて心が重くなったのは事実ですし、教会の新しいキャンパスの支払いを考えるとさらに心が重くなりました。ミニストリー拡大のためにキャンパスを建てたこと自体が、大きな信仰を持って行動に移したことだったのです。しかも、ドレンダと私は2,500万円以上をその

プロジェクトに費やすと決めていましたが、そのお金も手元にあったわけではありません。そこにさらに3,000万円以上を費やす何かを始めるというのは不可能に近いものでした。

私が国々に教えるための費用は主が払って下さると言われたことは、私の頭の中にはありました。しかし、現実的にはどんな方法を使っても、ドレンダと私が3,000万円を用意することは不可能に思えました。

神様は言われたことを守るので、私は信仰でその方のなさることを信頼すべきだと感じました。

神様は言われたことを守るので、私は信仰でその方のなさることを信頼すべきだと感じました。私は確信に満ちていて、平安の中で決断したとあなたに伝えたいですが、そうではありませんでした。教会は捧げられた献金の小銭さえも新しいキャンパスのために用いていました。私個人のお金もキャンパスのために使い、私の事業の売り上げもそこに使いました。よって、テレビの働きを始めるための3,000万円はどこにもなかったのです！

ドレンダと私はハワイで2週間の休暇を過ごしてから、家に戻ってくるとすぐにテレビの働きを始める契約にサインをすることになっていました。ハワイでの時間を楽しみましたが、正直に言うと、戻ってきてからの大きな契約のことを考えると、リラックスはできず心は重いままでした。テレビの働きにかかる費用だけでなく、私自身カメラに向かって話すことに慣れていないので、それも心配でした。集会場で数千人の前で話すことは平気でしたが、カメラの前ではパニックを起こしそうでした。私の思いと霊がこのような状態だったので、私は恐れと戦う必要がありました。

主から聞いたという確信はありましたが、お金がなかったのです。私の事業もギリギリの線を辿っていたので、必要なお金を作ることは不可能に見えました。そうです、恐れであり不信仰でした。わかります。ただ、正直に話しているのです。私は目の前にある恐れから目を逸らし、あの指輪を見ました。神様が払って下さると言った！教会の献金袋に金貨が一枚入っていました。この金貨を手取るまで私は一度も金貨を見たことはありませんでした。私が金貨を持っていると、主は私に、“わたしがペテロに税を支払うための銀貨を見せたように、あなたにもテレビの働きをするための方法を見せよう。”と言われました。

私はこの金貨をハワイ旅行に持っていき、神様が払って下さると言ったことを心に留めるために持ち歩いていました。砂浜を歩きながら祈りました。霊の中でしばらく祈ると、帰って契約を結ぶことに対して平安を得ることができましたが、ホテルに近づくにつれて、再びお金がないという現実を見て心が重くなりました。現実には、私たちにはお金がない、テレビの働きのやり方もわからない、何の設備も整っていない、足

りないものを挙げだしたらキリがありません。

しかし、私の霊の中には、主がアルバニアで私に語られたことが残っていました。そのときすでに5月で、年末までには3,000万円を用意してはならなかったので、私にとっては登ることのできない高い山に見えました。

恐れの中にも、私が主からの言葉を握ることができないように私に語り続けました。“お前はお金について教えているのに、お前自身がお金を用意できなくてどうする？”そこで私は浜辺に戻り、平安が与えられるまで御言葉を握って祈ることにしました。私は行ったり来たりしながら私の思いと霊の中で恐れと戦い、否定的な考えが二度と私を支配することがないように祈り続けました。ドレンダと私はどこからそのお金が来るのかは知りませんでした。神様がなさると信じていました。そこで、家に戻ってきた私たちは契約書にサインをし、テレビの働きをするために必要な設備の準備を始めました。

お金の話の他に、ハワイ旅行の数ヶ月前にアトランタにいる知らない男性から電話がかかって来ました。彼は私の本を読んで感動したと言いました。その頃、私の本は個人出版していたので地元の人しか読めませんでした。しかし、私の従業員の一人が空港で偶然会った男性と話しているうちに、私の本を紹介したことがわかりました。そのとき、ちょうど私の本を持っていたので、その男性に渡したのです。

本を読み終えて、彼はとても興味を持ったので私と話そうとしました。私たちは長時間話しました。彼は海外を中心に宣教活動している伝道師だということがわかりました。彼が近々会えないかと尋ねたので、ハワイ旅行から戻ってきたら、アトランタ空港に行く用事があると伝えて、私たちは会うことにしました。

私たちは実際に会って、とても良い会話の時間を持ちました。私は、彼の宣教活動で起きた様々な奇跡や危険について聞き、楽しい時間を過ごしました。しかし、お金の話を始めたとき、私たちは本当の繋がりを感しました。彼は私の本を読んだとき、借金を完済した話に惹かれたと言いました。

会話の中で、彼はテレビ番組の出演を終えてちょうどシャーロットから戻って来たばかりで、その番組に私も出演して話すのはどうかと勧めてきました。彼は、その番組のスタッフに私の本を渡して私について知ってもらおうと言いました。私はこの会話の最中、すでに衝撃を受けていました。

彼から聞くまでそのテレビ番組があることも知りませんでした。数週間後、番組のディレクターから電話があり、出演のオファーを受けました。その番組に出演するためには本や製品紹介をすることが条件だったので、私はお金の革命の教えの5枚のCDがあることを伝えました。番組を通して購入されるCDの売り上げを番組制作費にも回すことに同意しました。CDの売り上げは番組制作費にもなりますが、もちろん私のミニストリーの収益にも繋がります。驚くことに、その番組の反響は大きく、数千枚のCDが売れました。そこから得たお金はそのままテレビの働

きをするための予算に加えられました。

それからさらに驚くことに、数年前に借金まみれで絶望の中私たちの教会に通い始めたある男性が、今は経済的な回復を経験し、私たちのテレビの働きに寄付したいと言いました。彼は、御国の法則をそのまま適用し、貧困から抜け出していたのです。彼はテレビの働きのために私に1,200万円を渡してくれました！

CDの売上額と私の教会に通う友人からの寄付、また他の所からの寄付を合わせてみると、ドレンダと私のお金を足さなくてもテレビの働きをするために必要な費用は全て備えられました！神様は言われたことに忠実な方でした。神様は払うと言って下さった通り、本当に払って下さいました。はい、問題の半分は解決されましたが、残りの問題もまたお金の問題と同じくらい大きいものでした。前にも話しましたが、私はテレビに関する知識は何もありませんでした！

その年の秋、ドレンダは女性のための大きな集会に参加し、講師たちの待合室に彼女も招かれました。ドレンダにとっては素晴らしい特権であり、とても楽しみにしていました。いくつかの講義が終わり、ドレンダが昼食をとるためにテーブルに座ると、知らない女性が隣に座りました。互いに簡単な会話を交わした後、その女性は突然、“まだテレビはやらないのですか？”と聞きました。ドレンダはその質問に少し驚きながら、“はい、でも準備はしています。”と答えました。それから女性は、“もしテレビをやる予定があるなら、この男性に連絡してみてください。きっと助けになりますよ。”と言って、ドレンダに彼の連絡先を書いた紙を渡したので、ドレンダはその紙を財布の中に入れました。

ドレンダは財布の中の紙の存在を完全に忘れていたので、そのまま数週間が過ぎました。しかし、ある夜、紙に気付いたドレンダは彼に連絡して反応を見ることにしました。彼は興味を示して私のお金の革命のCDを送ってほしいと言ったので、私たちはそのようにしました。一週間後、彼のアシスタントから電話があり、彼が私たちに会いたがっていて、数週間後に開かれる国際宗教ブロードキャスト集会に参加できるか聞いてきたので、私たちはその時に会う約束をしました。

ドレンダと私はその集会に車で向かいましたが、少し緊張していました。その集会のために新しい黒色のスーツを購入しただけで、他に何をどうすれば良いのかはわかりませんでした。私たちはホテルのスイートルームで会うことになりました。

私たちがスイートルームの目の前に到着したとき、すぐに扉をノックすることができず、少し気持ちを落ち着かせる時間を持ちました。私たちがその部屋に入ってみると、大人数が私たちと話すために待っているのが見えました。彼らと会話がしやすいように椅子は丸型で並べられており、ドレンダと私は彼らと向き合う形で座られました。私たちはその中の誰とも会ったことがありませんでしたが、彼らの身だしなみは整っていました。

最初はあいさつ程度の会話から入りましたが、次第に彼らは私たちのテレビの働きに対する本気度を確かめるような質問をし始めました。

私は今も最初の質問を覚えています。“なぜテレビの働きをしたいのですか？”その時は知りませんでした、その場にいた人々はみなトップレベルのプロデューサーだったことを後で聞きました。もちろん、私たちと話した男性もその中にいましたが、プロデューサーやその他テレビ番組の制作に関わっている人が多くいて、みながその質問に対する私の答えを待っている状況でした。私たちは何も飾ることなく、ただ神様が私たちに下さったことをそのまま伝えました。彼らは私たちのビジョンと情熱を気に入ってくれて、具体的な話し合いをしてから数週間後に連絡をすると言いました。

数週間後、私たちはまた話し合いましたが、このときは実際にテレビの働きをする方向で話を進めました。話し合いの結果、私たちの家で録画をしてから編集してテレビ番組で流すことになりました。ドレンダが連絡をしたあの男性が、後日家に来ることになりました。彼は、私たちの家で実際に撮影が可能なのかを確認したいと言いました。

その日になり、彼が家に来たので私たちは座って話し始めました。このときまで、ある女性がドレンダに彼の連絡先を渡したという情報くらいしかわからなかったもので、彼のテレビ局での実績などは全くわかりませんでした。しかし、話しているうちに、彼がプロデュースした番組名をいくつも聞くことになりました。

全て私たちの知っている有名な番組でした！私は主への恐れの中、“神様、どのようにしてこの男性をロサンゼルスから、この小さな誰も知らない地域に送って下さったのですか？”と心の中で言いました。彼は、撮影も編集も番組のプロデュースも良心的な価格で手がけてくれると言いました。しかも、その撮影は私たちの家のリビングで行われることで合意しました。

初の撮影日が来たとき、私は緊張していました。前にも言いましたが、テレビの働きは一度も経験がなかったからです。撮影がどのように行われるのか、そしてカメラに向かってどのように話せば良いのか全くわかりませんでした。私は、御国について語るのは好きでしたが、テレビの前となると無知の世界だったので恐怖でもありました。

しかも、その撮影当日、さらに撮影を困難にさせるような出来事を聞かされました。私たちの撮影を担当するはずだったプロデューサーが突然前日の夜に辞めてしまったのです。理由は、彼の息子がバックをしていた隣人の車に轢かれて亡くなったからです。

家に来たアシスタントが昨夜起きたことを私たちに説明し、私たちは撮影が終わるまでは誰にもこのことを話さないことにしました。その

**“あなたがたのうち
に苦しんでいる人
がいますか。その
人は祈りなさい”**

—ヤコブ5:13

日、私たちは3回分の撮影を無事に終えることができました。私たちは正式にテレビに出ることになったのです。驚きです！

私たちがテレビの働きを始めた当初は、この先どのように払い続けていけば良いのかわかりませんでした。しかし、神様は最初の3,000万円だけでなく、テレビの働きを続けていくために必要なお金も満たして下さるということを教え始められました。私たちは多くのことを学びました。私たちは、私たちの番組に蒔く人は誰もいないだろうと思っていましたが、それは間違いでした。

番組が始まってすぐに、私の秘書から電話がかかってきたことを覚えています。私が電話に出ると、彼女が震えているのがわかりました。彼女は、“先生、番組を見た人から5万円が送られて来ました。しかも、そのお金を持ったとき、アメリカの先住民のための集会で集められた献金の上にあった油注ぎと同じものを感じました。”と言いました。私は、“本当に？”と驚きました。“誰かが私たちの番組のためにお金を送ったのか？”と、私は実際にそのお金を確認するまで信じられませんでした。しかし、今日に至るまで番組が放送されるたびに、人々は世界中からお金を送ってきます。神様をほめたたえます！そのおかげでテレビの働きを難なく続けられることができ、何よりも神様は言われたことを守る方であることを感謝しています。その方がいつも払って下さるのです。

この本は、聖霊様から聞き、聖霊様によって導かれるための本です。私たちのテレビの働きは、不可能に見えることを聖霊様の導きによって可能にされた良い例だと言えるでしょう。私たちの人生が変わったきっかけは、まず御国の法則を学ぶことから始まり、神様の御声を聞いて方向性、知恵、そして答えを得ることに繋がりました。私の証は、聖霊様から聞けなかったなら、決して起こらなかった話です。私たちの目には不可能に見えることがあります。しかし、神様は答えを持っておられます。

“あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。”

(ヤコブ5:13)

なぜ祈るのか？なぜなら、あなたは答え、方向性、そして問題への解決を得る必要があるからです。ドレンダと私が悟ったことは、私たちが問題に直面したとき、私たちが考える以上に神様は大きなことをなされるということです。あなたが不可能だと思う解決策を神様は与えられるかも知れません。

多くの場合、あなたに与えられる答えを識別することが成功と失敗、そして命と死に分かれます。私はこの本の中で、聖霊様から聞くことについて多くのことを語りますが、まずは、苦しいときにどのように聖霊様が助けて下さるのかについて話したいと思います。

私たちは新しい建物を建てるプロジェクトのために、650万ドル

が必要でした。そのうち250万ドルは現金で集まりました。また、資金集めで集まったお金もありました。550人の信徒数の教会にとつては大きなプロジェクトでした。私たちは、2007年に土地を耕し始め、2008年春までは全てが順調でした。2008年の不況を覚えているでしょうか。私たちは、まさにそのとき建築しようとしていたのです。全ての値段が上がりました！鋼材価格は結局、見積もり価格より30万ドル以上高くなりました。これは一つの例に過ぎません。建築にかかる費用は、私たちが考えていた予算をはるかに超えました。

2008年が終わろうとしていたとき、不況が深刻化するにつれて、私たちの地域はもとより全米の銀行が融資枠を縮小し、融資を打ち切りました。そんなある日、銀行が事前に承認していた代金を支払うために私たちの建設業者がやって来ました。彼は、下請け業者やその他の未払いの請求書に支払いをする必要があったのです。100万ドルの小切手は、その時点ですでに現金部分を使い果たしていたため、事前の手配した銀行融資でまかなうことになりました。しかし、使うことができる100万ドルの小切手は私たちにはありませんでした。私たちは、銀行が申し出を撤回し、融資枠を引き下げていることを知ってショックを受けました。もう一度言いますが、それは私たちの銀行だけでなく、地域の全ての銀行が同じ状況でした。地域新聞にも、私たちの銀行についての記事が大きく書かれていました。彼らはその週に、550人を解雇し、金融危機と戦っていました。

話を戻すと、問題は、私たちの建設業者はすでに調達してしまったものの支払いを済ませる必要があったということです。この100万ドルの小切手は彼が将来必要になるものではありませんでした。すでに100万ドルを使っているのです！別の会社や家族も彼に支払ってもら必要があったので、私たちが代わりに支払うことを求めていました。私たちは、銀行がその役割をするものだと思っていたので困惑しました。あなたがこの状況に置かれていたら、どうしますか？私には100万ドルの小切手はないし、教会の信徒たちに物乞いするつもりもありませんでした。その頃、テレビの働きにもう一つのネットワークが追加されたので、そちらの費用も高くなっていました。毎月の放送料は500万円近くになりました。私たちにできることはヤコブ5：13の通りに、祈ることでした！

そんな中、事業を通してまたハワイ旅行が当選しました。出発の数日前に銀行がクレジットを引き上げたことを知りました。私が空港でマイアミ行きの便を待っているときも、私はまだショックの中にいました。私の頭の中は複雑でした。私が空港の中を歩きながら自己憐憫に陥ろうとしたとき、主は私に言われました。“あなたの杖を上げなさい！”私はすぐに立ち止まって主が言われたことを黙想すると、突然理解できるようになりました。

これは、パロの軍が逃げ道のないイスラエルの民に押し迫ってきたとき、神様がモーセに言われた言葉です。神様はモーセに杖を上げることを命じられ、モーセが杖を上げると、海は分かれ、イスラエルの民は逃げることができました。モーセが持っていた杖は神様の約束の象徴であり、その素晴らしいわざを行う権威が与えられた証拠でした。

私はその瞬間、神様が語られたことを悟りました。私が教会の指導者であり、牧師です。この問題を解決するための権威は私に授けられました。私がある権威を握り、立ち上がって解決策を見つけなくてはなら

ないのです。

私たちがハワイに着いたとき、私にできることは祈ることだけでした。夜は眠ることができませんでした。私の霊は嵐の中にいるようで、私は答えを得るまで霊の格闘を続けました。ついに、ドレンダは主から与えられたと確信する答えを得ました。神様、妻を感謝します！彼女はこれまでも私が求めていた方向性や計画を見つけることに用いられてきました。私は彼女がどれほど価値のある存在か、またどれほど彼女を愛しているかを表現することができません。彼女は決して諦めないのです！

彼女の計画は単純でしたが、聡明でした。その計画が成功するかどうかはわかりませんでした。私たちはすぐに動き始めました。その計画とは、私たちがプレゼンをまとめ、建設業者の銀行にお金を貸してくれるよう頼むことでした。私たちのプレゼンを通して、私たちが誰であるか、なぜローンが必要なのかを銀行に説明するためでした。これはとても難しいことでした。なぜなら、すでに話したように私たちの地域の全ての銀行は融資を打ち切っていたからです。私たちの考えとしては、もし私たちの建設業者が支払われなければ、破産宣告を受け、現在銀行から借りている全てのローンが貸し倒れの危機にさらされるかも知れないというものでした。それは銀行にとって大きな損害となり、できれば避けたいことでしょう。その銀行は私たちの銀行ではなく、これまで一度もやり取りをしたことがない銀行でした。

私たちは、私たちの地域がどのくらいの速さで成長しているかを表すグラフを作成しました。そして、そのグラフを銀行に見せました。さらに私たちは、その新しい建物を通して得られるであろう利益や、テレビの働きを通して得ている利益など、銀行が興味を持ちそうなことをいくつも話しました。この不況の中で、私たちを失うことが銀行にとっても大きな損害になることを伝えました。もし私たちの建設業者が支払われなければ、銀行から借りている全てのローンが貸し倒れの危機にさらされる可能性について何度も説明しました。私たちは銀行の副会長に会わせてほしいと頼みました。

これは聖霊様から与えられた計画であるという確信を持って、私たちは祈りながら彼の事務所に入っていました。

もし、あなたが神の御国の素晴らしい可能性に足を踏み入れたいなら、聖霊様の御声を聞く方法を学ばなくてはなりません。

驚くことに、私たちのプレゼンが終わったとき、副会長は秘書に話して、その場で教会に50万ドルの小切手を切らせてくれました。彼は、このようなことは稀だと言いました。

署名などはなく、ただ50万ドルの小切手を渡されただけでした。残りの50万ドルについては署名が必要になるけど、彼は、彼が決めたことだから心配はいらないと言いました。私たちはそのお金を建設業者

に渡したので、彼らは無事に建築を終えることができました。

ドレンダと私が50万ドルの小切手を受け取った帰りの車の中で、どのような心境だったのかを説明することができません。私たちはとても喜びました！その時の心境を言葉で表すことはできませんが、聖霊様がなさったということに畏れを感じました。最初に電話をかけた人は、

どうしてほしいって？

私たちの建設業者でした。私は、その良い知らせを彼に伝えた時の彼の嬉しそうな声を今も覚えています。“本当ですか？”と彼は喜びました。私たちは神様の御わざであることを知っていました。

誰がやったのでしょうか？聖霊様です！友よ、神様はあなたに必要な答えを持っておられます。もし、あなたが神の御国の素晴らしい可能性に足を踏み入れたいなら、聖霊様の御声を聞く方法を学ばなくてはなりません。この本はそのための本です。

聖霊様と共に歩むことは、ジェームズボンドの映画よりも楽しいです！そして、映画のように、どんな逆境が訪れても、誰が最終的に勝利するのかは明確です。

第2章

御国

法廷ではたくさんの訴訟による裁判が行われていることを知っていますか。そのうちの一つを紹介します。

コロラド州の刑務所にいるある受刑者が、ナショナル・フットボール・リーグを相手取って880億ドル（はい、億です）を超える訴訟を起こしました。この訴訟は、ダラス・カウボーイとグリーン・ベイ・パッカーズの決勝戦の試合中に関係者が行ったことについてのダメ出しから始まりました。関係者はデズ・ブライアント（カウボーイの）のキャッチは不完全だったと言いましたが、この受刑者はそう思いませんでした。彼は、NFLの関係者たちの判断が後世ではない、正しく仕事をしていないとして訴訟を起こしました。なぜ880億ドルなのでしょう？ブライアントの背番号が88番だったからです。

おかしいですね？この訴訟の結果は誰もが想像できると思います。しかし、この訴訟が破棄されるかどうかは何によって決まるのでしょうか？law.comによると、裁判が破棄される2つの主な理由は、裁判官轄権に問題があるか、法律上の根拠がないかだと書いてあります。なぜ聖霊様についての本で法律の話をするのでしょうか？なぜなら、あなたが聖霊様の働きたいと願うなら、法律についても正しく知る必要があるからです。神の御国には法律があり、その法律によって動かされているからです。私の2冊の本、‘お金の革命：誠実さの力’と‘お金の革命：休息の力’では、神の御国の法則について説明しています。

聖霊様を理解するためにも、御国の法則を振り返る必要があると思うので、まずはクイズから始めてみましょう。

イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、親族、家族の間だけです。」それで、そこでは何一つ力あるわざを行なうことができず、少数の病人に手を置いていやされただけであった。イエスは彼らの不信仰に驚かれた。

-マルコ6:4-69

この箇所でなぜイエス様は癒やすことができなかつたのですか？ほとんどのクリスチャンは、神様の御心ではなかつたからだと答えるでしょう。神様は最も良いものを知っておられるので、癒やしたければ癒やす方だと答えるでしょう。だって神様ですから。癒やしを求めていたけれども、癒やされなかつた人々もいたのでしょうか？聖句を読めば明白だと思います。なぜイエス様は癒やすことができなかつたのかという質問には明確な答えが必要です。聖句から答えを探すなら、イエス様は彼らの不信仰のゆえに癒やすことができなかつたと書いてあります。イエス様が癒やすことができなかつたことを正しく理解するためには、信仰とは何か、そして信仰を地上で働かせるためにはどのような法則を適用すべきなのかを知る必要があります。

この状況をまとめてみます。これは、イエス様の力不足や御心かどうかの問題ではありませんでした。これは権限の問題でした。天は人々の問題を権限なしに自由に扱うことはできません。待って下さい。私が何を言っているのかわからないと言ってこの本を投げる前に説明して下さい。

アダムとエバが地上にいたとき、彼らは地上で完全な権威を持っていました。次の聖句を読んでみるとわかります。

あなたは、彼を、御使いよりも、しばらくの間、低いものとし、彼に栄光と誉れの冠を与え、万物をその足の下に従わせられました。万物を彼に従わせたとき、神は、彼に従わないものを何一つ残されなかつたのです。

-ヘブル2:7-8

アダムには栄光と誉れの冠が与えられていました。ここで言う冠は園で実際にアダムが冠をかぶっていたということではなく、統治する権威のことです。しかし、私の考えですが、アダムは輝いていたと思います。アダムは神の御国の栄光（油注ぎと御国の威厳）と誉れ（権威ある

立場)が与えられていたからです。この2つを持って、アダムは神の御国のものを治めていました。人が造られたとき、すでに存在していたサタンは、人が持っていた権威に目をつけました。アダムから力づくで奪うことはできないことを知っていたサタンは、アダムを惑わしてアダムが自らその冠(権威)を取る方法を考えました。

サタンはエバを騙し、アダムはエバに従い、神様に対して罪を犯したので、神の御国での彼らの立場は失われてしまいました。サタンに従ったことで、彼らはサタンの王国の支配下に置かれたのです。あなたは、“なぜ神様は最初からサタンを園に置かれたのか?”と思うかも知れません。神様が置かれたのです。あなたはこの事実にはショックを受けるかも知れませんが、創世記2:8-9に書いてあることを読めばわかります。

神である主は、東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。神である主は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木とを生えさせた。

あなたはこの箇所を読みながら、なぜ神様は園の中央に、しかもいのちの木の隣に善悪の知識の木を置かれたのかと疑問に思うかも知れません。神様が合法的にサタンの領域に攻め入るためには、人に神様とサタンのどちらを選ぶのかの選択肢を与える必要があったのです。神様はサタンの領域に自由に出入りして、そこに人を置かれることはできませんでした。合法的にするためには、人にどちらを選ぶのかの選択肢を与える必要があったのです。人が神様を選び、いのちの木を選ぶなら、人がサタンを支配したのです。よって、善悪の知識の木は、いのちの木の隣に置かれる必要がありました。

ここで重要なことがあります。人が地上に置かれたとき、自由意志を持たずに置かれることは不可能でした。多くのクリスチャンは、人に自由意志があり、神様は誰が自分の意志でその方を愛しているのかを見ると言います。私もこれに同意しています。しかし、選ぶということをなくすことは違法でした。もし人に自由意志が与えられなかったなら、人が地上に置かれることはありませんでした。これについては、すでに出版されている2冊の中で詳しく説明しています。

アダムはサタンの惑わしを選び、神の御国を失い、創世記3:17-19で神様は人にこう言われました。

土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならない。土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あな

たは、野の草を食べなければならない。あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。

神様はアダムに、彼のゆえに土地は呪われてしまったと言われました。アダムは地上を統治する権威を持っていたので、彼がサタンに扉を開けることで神様を追い出すことになったのです。アダムは自分で苦しみながら汗を流して糧を得ることになりました。サタンがエバを惑わしたとき、一つ彼女に伝え忘れたことがありました。それは、神様がすでにサタンを裁かれ、天国から追放し、地獄と呼ばれる所で永遠に過ごさなくてはならないということでした。このことを理解する必要があります。あまりにも多くの人が、“なぜ愛の神様は人間を地獄に行かせるのか？”と聞きます。神様ではなく、アダムがそうしたのです。次の聖句を見ると、地獄は人間のために造られた場所ではないことがわかります。

それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。「のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。」

(マタイ25:41)

アダムとエバがサタンの支配下にきたとき、彼らはサタンの裁きの下に置かれたことになります。アダムを通して人類はサタンの支配下に移されたのです。ウシの飼育を想像して下さい。もしあなたのウシが仔牛を産んだら、その仔牛もあなたのものになります。なぜなら、あなたがそのウシを所有しているからです。よって、アダムの子孫は自動的にサタンの支配下に移されました。理解不足によって、ある人は人間の善し悪しでその人の運命は決まると言いますが、それは違います。実際には、彼らの裁きはすでに決まっているのです。人類はみな地獄に行きます。その人が何か悪いことをしたからではなく、アダムのゆえにです。しかし、人間を造られた神様の愛によって、イエス・キリストを通して人間を救い、再び神の御国の支配下に戻す計画を立てて下さいました。

神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移して下さいました。

(コロサイ1:13)

神様がサタンの支配下から救い出す道を合法的につくって下さったことを知らなくてはなりません。しかし、その恩恵を受けるためには、男性も女性も子どもも自分でイエス様の御名を選ばなくてはなりません。

ん。クリスチャンたちよ、聞いて下さい。近所の優しい女性も、私たちが彼女にイエス様を伝えて彼女が死ぬ前にイエス様の御名を呼ばない限り、地獄に行くのです。地獄には多くの良い人々がいるでしょう。良いことをしていれば地獄に行かなくて済むという考えはサタンの惑わしです。イエス様の御名だけが、サタンへの裁きと支配下から逃れることができる唯一の道です。もう一つ伝えたいことは、アダムが墮落したとき、彼は靈的に死んだ者となって神様から離れてしまいました。けれども、彼はまだ地上での機能は失っていませんでした。こうなってしまった以上、サタンは悪霊に満たされた人を使い、神様は聖霊に満たされた人を用いて御国のことを成就させる必要があるのです。ですから、人が天国か地獄に行くことはその人の善し悪しで決まるものではなく、十字架でのイエス様の合法的な勝利を通して決まるものです。イエス様がサタンの支配下から人間を移す道を開かれましたが、各人が信仰でイエス様の御名を呼ぶことによって実際に移されるのです。

前に出てきた質問に戻りたいと思います。“なぜイエス様は、マルコ6章で癒やすことができなかったのか？”私は権限の問題だと言いました。アダムが人間に与えられていた権限をサタンに引き渡したので、神様が御心のままに人間に何かをするというのは違法になってしまいました。私が言っていることに混乱して、誰が地上を所有しているのかを錯覚してはなりません。聖書は、神様が地上を所有していると明確に語っています。しかし、神様は人間の上に合法的な権限は持っておられないのです。

ルカ4：5-7に書いてあります

また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、こう言った。「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。ですから、もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」

ここで、アダムがサタンにこの世の権限を渡してしまったことがわかります。よって、神様は地上でその方の御心をただ行なうということができないのです。しかし、神様の御心を求めて天の権威を慕う人がいるとき、神様はその人を通して働かれます。これは、サタンが最初アダムから権限を奪うときに使った方法です。神様がアダムを失われたとき、その方は救いの計画のために別の人物を選ぶことになりましたが、それがアブラムでした。

その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなた

を大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

-創世記12:1-3

アブラム、いや、アブラハムが再び神様が地上での権限を取り戻すための救いの計画を開く扉となりました。

神様はアブラハムとその子孫と契約を結ばれ、この合法的な合意を通して、神様はイエス・キリストをこの世に遣わすことができるようになりました。これが、イエス様がアブラハムの子孫であり、イスラエルの民が異国人と結婚してはならない理由でした。また、新約聖書の初めに系図が書いてある理由でもあります。これは、イエス様がアブラハムの子孫であり、合法的に罪の代価を支払うために来られたことをサタンに見せるためでした。

人間が地上での権利を持っているので、神様とサタンは人間を通して事を行わなくてはならないのです。簡単に言うと、人間だけが地上で何かをすることができます。しかし、サタンがアダムに自分の言葉を信じさせたように、神様はご自分の御言葉に同意する人間を見つけなくてはなりません。サタンの王国ではなく、信仰で神様の御心を成就することを求めている人を通して、天は合法的な権限を得ることができるのです。これについて話したいことはたくさんありますが、私はすでに2冊の中で説明しました。

本当の鍵はこれです。サタンが地上にいる限り、彼は常に神様の計画を邪魔し、自分の王国を守ろうとするでしょう。だから、神様は水面下でその方の計画と戦略を練られ、人を通して地上に現れるようにされるのです。水面下で働かれる神様を知ること、あなたは人生に成功と勝利をもたらすことができます。私はこれを戦略の力と呼んでいます！

第3章

仰天

一度も会ったことのない男性から電話がかかってきました。彼は、彼と数人の友人が私の本‘信仰の狩り’を楽しく読んでいると言いました。そして、もし良ければモンタナ州に来て70人を対象に金曜日の夜と日曜日の朝に集会を開いてほしいと言いました。私が返事をする前に、彼は、“日曜日の集会が終わったら、レイヨウ狩りに連れて行きたいです。”と付け加えました。私の返事に時間はかかりませんでした。もし良ければ私の息子たちも一緒にどうかと誘ってくれました。その年の夏、私の息子ティムは狩りの資格を取ることができたので、一緒に行くことにしました。

後にわかったことは、彼らはプロミス・キーパーズの団体で、私の鹿狩りの話に心を打たれたのでした。彼らは、私が毎回どのようにして30分から40分の間に具体的なサイズと性別の鹿を狩るのか、詳しく聞きたいと願いました。私自身にとっても信じられないような体験でしたし、もし実際にその場になかったら、彼らのように非常に気になっていたと思います。

ついに、モンタナに行くときが来ました。ティムと私は飛行機に乗り、心から主を愛している多くの男性たちに会いに行きました。彼らは、私たちを釣りや狩りをするために用意されたライフルを見に連れて行きました。オハイオ州で育った私は、遠くを目掛けてライフルを撃ったことがありませんでした。オハイオ州では、鹿を狩るときは散弾銃という決まりがあり、それも100ヤード以内の距離で捕らえなくてはな

らないという法律があります。ですから、彼らが200ヤード遠くから狩ると言ったとき、私にとっては新しい挑戦でした。しかし、何度か練習するうちに、撃てるようになったので、準備は整いました。

その晩、私は学校の教室に集まった男性たちに教え、翌朝も同じように教えました。男性たちはみな、神の御国について学びたがり、特に神様が狩りを通して私に教えて下さったことに興味を持っていました。昼食の後、彼らは、“よし、レイヨウ狩りに出発だ”と言いました。私は一度もレイヨウ狩りをしたことがなく、手順もわかりませんでした。通常、狩りに行くときは多くて2、3人で行きます。しかし、彼らは車3、4台に人を乗せて行きました。前日の夜にティムが私に尋ねました。“お父さん、レイヨウ狩りに行くのは不安じゃない？だって、お父さんは神の御国について教えて、御国の法則は常に同じだって教えるでしょ？もし、大勢が見ている前でレイヨウが捕まらなかったらどうするの？”私は、息子にレイヨウ狩りのことは不安ではないと答えました。ドレンダと私は、レイヨウを狩るためにすでに種を蒔いてきたので、レイヨウは必ず狩れると信じていました。

私たちは狩りが許可された領地に向かっている途中、レイヨウは世界で2番目に速い動物であり、チーターにしか負けない動物だということを聞きました。レイヨウは目が非常に良いので、彼らの武器である速さと合わせて、もしレイヨウが私たちの存在に気づいたらすぐに走って逃げてしまうと言われました。

私のタグには雄のレイヨウ、ティムのタグには雌のレイヨウと書かれていました。

私たちは、高い場所まで車で移動し、上から見渡して動物が見えるかどうか確認することにしました。私たちが頂上に着いて下の方を見ると、遠くにレイヨウの群れが見えました。私たちは群れに少し近づくために、姿勢を低くして進みました。私たちが進んでいる間に、まだその場所にレイヨウの群れがいるかどうかはわかりませんでした。もしいたら、その群れを狙うことにしました。群れから200から250ヤード離れた場所に着くと、私たちは準備に取り掛かりました。

ティムと私は腹ばいでゆっくりと進み、群れを観察しました。計画は、私が先に撃った後、ティムが雌を撃つというものでした。私は静かに腹ばいでぎりぎりの所まで進みました。小さな群れは私たちに気がついていませんでした。うつ伏せの姿勢で息苦しかったのですが、私はライフルを撃ちました。失敗でした。急いで2発目を撃ちましたが、群れは混乱していました。また失敗でした。3発目、4発目と撃ちましたが、群れは散ってしまったので、また失敗しました。さらに1発撃ち、もう1発・・・というところで弾丸は全てなくなりました。

気を取り直して、先ほど群れがいた場所を見てみると、他のレイヨウは逃げていなくなりましたが、私が狙っていた雄のレイヨウはその場に立っていました。私はティムのライフルを借りて、もう一度そのレイヨウを目掛けて撃ちました。レイヨウは倒れました。私は嬉しいと同時に安心しました。

その雄のレイヨウは私のものです。私が振り返ると、後ろで男性たちが叫び声をあげて盛り上がっていたので驚きました。ある男性は誰かに電話をかけて、“そう！‘信仰の狩り’の本の通りで、40分ほどで雄を捕まえたよ！”と言っていました。

彼らは、御国の法則を目の当たりにしました。その後数時間、私は彼らに御国の法則について教え、彼らは学びました。最初の失敗もありましたが、彼らは御国の法則が本物であることを見ました。ティムはその日の午後、走っている雌のレイヨウを捕まえました。私たちはとても喜びました！モンタナは本当に美しい所で、ティムと私は素晴らしい御国の体験をしました。私はレイヨウの頭を机の上の壁にかけて、御国と神様の誠実さを思い起こすようにしています。

なぜ私はこの本の中で、狩りの話をしているのでしょうか？なぜなら、神様はあなたを用いて、あなたの友人、隣人、そして家族にその方の御国を見せたいと願っておられるからです。この世は本物を見たいと飢え渴き、神様もまた彼らに本物を見せることを喜ばれます。彼らを驚かせるためには、あなたが神の御国の法則と聖霊様がどのように答えを与えられるのかを学ぶ必要があります。後になって知りましたが、その男性たちの中には長年宗教に縛られていた人も何人かいて、御国の法則を学んだことで自由を得たということを知りました。聖霊様は計画を成就されるためにあなたを用いられ、あなたにも成功を与えて下さいます。

もう一つの話をしませんが、これは聖書からそのまま取ったもので、神様がどのようにして超自然的な計画と戦略を持って、あなたとあなたの周りを驚かせるのかについて書いてあります。

この世は本物を見たいと飢え渴き、神様もまた彼らに本物を見せることを喜ばれます。

群衆がイエスに押し迫るようにして神のことばを聞いたとき、イエスはゲネサレ湖の岸べに立っておられたが、岸べに小舟が二艘あるのをご覧になった。漁師たちは、その舟から降りて網を洗っていた。イエスは、そのうちの一つの、シモンの持ち舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すように頼まれた。そしてイエスはすわって、舟から群衆を教えられた。話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい。」と言われた。するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。」そして、そのとおりにすると、たくさんの魚がはいり、網は破れそうになった。そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼んだ。彼らがやって来て、そして魚を両方

の舟いっぱいに上げたところ、二そうとも沈みそうになった。これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ。私のような者から離れてください。私は、罪深い人間ですから。」と言った。それは、大漁のため、彼もいっしょにいたみなのも、ひどく驚いたからである。シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブやヨハネも同じであった。

－ルカ5:1-10

ペテロ、ヤコブ、ヨハネは夜通し働きましたが、何もとれませんでした。彼らは湖で育った経験豊富な漁師でしたが、何もとれませんでした。しかし、もちろん物語はここで終わりません。イエス様はペテロの舟を借りて群衆に教えられた後、ペテロに深みに漕ぎ出すように言われました。少し驚いたペテロは、イエス様に夜通し働いたけれども何もとれなかったことを伝え、それでもイエス様が言われるからその通りになると言いました。ペテロが網をおろすと、あまりにも多くの魚がとれたので彼の網は破れそうになり、仲間に助けを求めたと書いてあります。彼の仲間の網も破れそうになり、二そうとも沈みそうになったと書いてあります。

聖書に、この経験豊富な漁師たちはあまりにも驚いたので、何もかも捨ててイエス様に従ったと書いてあります。

私は、この話の中で暗闇の王国と神の御国が明確に現れているので、好きな話のうちの一つです。サタンの支配である暗闇の王国は、夜通し働いても何もとれない、汗を流して苦しみながら糧を得るそのような王国です。神の御国が結ばせる実と比べると一目瞭然で、私はこれを地上の呪いの制度と呼んでいます。よく考えて下さい。神様は、あなたに御国への扉を開いて下さったのです。

多くのクリスチャンは拍手しながら、“そうだ、神の御国は素晴らしい！大漁だから！”と言うでしょうが、ほとんどのクリスチャンはイエス様がどのようになされたのか、またイエス様に与えられている同じ権利が私たちにも与えられていることを知らないのです。イエス様がどのようになされたのかという質問に対する答えは、‘なぜならその方はイエス様だから’になるでしょう。しかし、待って下さい。

マルコ6章で、私たちはイエス様がそこで全ての人を癒すことができなかったのは、権限がなかったからだと学びました。ですから、大漁になったのは、御国の霊的法則が適用されたからでした。

しかし、問題があります。私がこれまで会ってきたクリスチャンたちはイエス様がなされたことを私たちも同じようにできるということを信じていないだけでなく、イエス様ご自身がどのようになされたのかさえもわかっていません。私は集会でよく使う文句がありますが、それは

‘何かを教えることができなければ、それを生きることもできない’です。どういう意味かと言うと、大漁になった理由がわからなければ、真似することもできないということです。それでは、なぜ大漁になったのでしょうか？説明できますか？成功したいのであれば、大漁になった理由を知らなくてはなりません。多くの人は私がこのように言うと驚きます。しかし、イエス様は何と言われたでしょうか？

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。わたしが父のもとに行くからです。

-ヨハネ14:12

イエス様が私たちも同じわざを行ない、それよりもさらに大きなわざを行なうと言われたのは、イエス様の死と復活があった後、聖霊様が来られることについて言われたのです。ヨルダン川でその方の上に臨まれた聖霊様と同じ聖霊様がその方のミニストリーでも働かれました。私たちはマルコ6章で、人々の不信仰のゆえにイエス様は癒やすことができなかったのを知っていますが、ルカ5章ではその御力は妨げられることなく大漁をもたらしたことを見ると、御国の法則を正しく学ぶ必要があることに気づくと思います。話を詳しく見ていき、御国の法則と原則を学んでいきましょう。

私の1冊目の本を読んだ人は、イエス様がペテロの舟を借りた後、何が起きたのかを知っているはずです。ペテロの舟が御国の権限を変えたのです！そうです、イエス様がその舟をミニストリーのために使われたとき、その舟は神の御国の権限の下に移されました。その舟が神の御国の権限の下に移されたとき、聖霊様はイエス様に深みに漕ぎ出して網を下ろすという知識の言葉を転送されたのです。大漁になったのは、聖霊様による超自然的な計画と戦略の結果であり、それはイエス様を通してなされたのです。私はこれを秘密の知識と呼んでいて、ペテロ、ヤコブ、ヨハネは今まで見たことのないほどの大漁に驚きました。

私は、イエス様があなたにも驚きの人生を歩んでほしいと願われ、それを通してあなたの周りの人もイエス様のもとに来るようになることを願っておられると信じています。空っぽの宗教の船は人々を神様に引き寄せることはできないと思います。神様は人々が神の御国の良いものを見て、神様が良い方であることを知って、その方を信じることを望まれます。イザヤは教会に対して預言されたことをこのように宣言しました。

**彼ら(私たち)は、義の樫の木、栄光を現す主の
植木と呼ばれよう。(イザヤ61:3b)**

さあ、私はルカ5章の魚の話から何をあなたに伝えたいのでしょうか？その話から多くの霊的則則を見つけることができますが、これを心に留めるなら、あなたの人生は変わるでしょう。

イエス様から網を下ろす場所を正確に教わるなら、誰でも魚をとることができます！！言い方を変えるなら、イエス様に魚の居場所と、とる方法を教わるなら、誰でも魚をとることができます！

人々は言うでしょう。“ゲイリー、それはいいね。でも、イエス様はもうここにおられない。”いいえ、イエス様の上に臨まれたあの聖霊様が、今も私たちクリスチャンの中で働かれるのです。イエス様が昇天される前に、弟子たちに言われたことを見て下さい。

このことをわたしは、あなたがたといっしょにいる間に、あなたがたに話しました。しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。

-ヨハネ14:25-27

イエス様の平安とは何でしょうか？それは、イエス様がさまざまな状況に置かれているときに助けて下さった聖霊様です。イエス様は聖霊様を助け主と言われました。友よ、この助け主はあなたの中におられ、決して離れることはありません。あなたは、この方に耳を傾けていますか？この方は、あなたが置かれている状況に対しての全ての答えを持っておられることを認めなくてはなりません。

イエス様は聖霊様を助け主と言われました。友よ、この助け主はあなたの中におられ、決して離れることはありません。

イエス様は、この助け主が私たちに教え、必要な助言を与えると
言われました。Strong's Exhaustive

Concordance of the Bible(3875)によると、この聖句に出てくる助け主のギリシャ語の意味は、‘呼び寄せられた者、味方になる者、誰かの援助になる者’です。

また、裁判官の前で弁護する者、守る者、法的助手などの意味もあります。ですから、文字通り誰かを助ける者、援助する者、補助する者になります。

あなたのことは分かりませんが、私はこのような助手を横に置きたいと思います。夜通し働いても何もとれなかったペテロにとって、聖霊様は答えでした。そして、借金から抜け出す方法を知らずに彷徨っていた私にとっても、聖霊様は答えでした。何年も家族に経済的な苦しみを与えていた私が神様を呼び求めたとき、私に夢の中で今の職場を辞めて新しい事業を始めることを示されたのも、聖霊様でした。

最も苦しい状況の中で、新しい事業が人々を借金から自由にし、神様の良いものを宣言するという夢を私に示されたのも、聖霊様でした。私が高人々を借金から自由にする？私自身、お金の使い方をわかっていなかった人でした。私の人生は悪夢のようでした。しかし、聖霊様が言われたので、ドレンダと私は信仰でペテロのように行動に移しました。“主よ、私には理解できませんが、主が言われるので、その通りにします。”聖霊様の助言に従ったところ、私たちの会社は著しく成長し、ドレンダと私は完全に借金から解放されました。30年経った今も、その会社は続いており、毎年大きな収益を出しています。

あなたも私もそれほど賢くはないですが、聖霊様が人生の中で必要な答えを示して下さい。しかし、この本に書いてあるように、私たちがやらなくてはならない部分があるので、神様の御心を行なうために学びましょう。

残念ながら、多くのクリスチャンが、人生の問題に直面したとき、答えを得ることができていないように見えます。彼らは、ただ自分の力で魚をとろうとし、夜通し働いて何もとれなくてもそれを続けます。

彼らは、聖霊様が助けて下さるということを聞いたことがありません。ほとんどのクリスチャンが、“神様が私を助けて下さるだろう”と言いますが、どのように助けて下さるのか、またはどのように答えを得るのかを知りません。多くの人が、神様からの答えを得るために、神様が働かれることを待っていますが、その答えはすでに彼らの中にあることを知りません。

お金の問題になると、人々は、“神様が私を榮えさせます”と言いますが、私は、“いいですね！神様はどうやってそのお金をあなたに渡されるのですか？”と聞きたいです。そうすると、彼らは私が彼らの信仰を試していると感じて気分を害します。しかし、私は動じません。“そのお金はどのように現れるのですか？神様はどのようにあなたに渡されるのですか？”私が彼らの答えを求めても、彼らは答えることができません。今は答えられなくても、いつかは答えられるようになるべきです。見えないものを刈り取ることはできません。イエス様がペテロに網をおろすように言われたとき、イエス様は魚がいる場所を知って言われました。あなたも魚をとりたいたなら、どこに網をおろすのかを知る必要があるのです。

人々は、神様がなさると思っているので、10年20年と彼らの経済的な状況が苦しく、何の変化がなくても、そのまま生きていきます。悲しいことです。なぜ彼らはそのまま生きていくのでしょうか？なぜなら、彼らは一度も聖霊様の方法、御国の方法を教わったことがないからです。彼らは聖霊様がこの地上でどのように働かれるのかわかりません。また、成功するためには彼ら自身がやらなくてはならない部分があることも知りません。

今日昼食の時間に会った男性のようです。彼は170キロほどの大きな男性でした。彼は身体を動かすことが困難に見えました。

彼はチーズバーガーを食べ終わると、ピーナッツバターパイを注文しました。私は彼がパイを注文しているのを見て衝撃を受けました。彼が何を考えているのかはわかりませんが、彼はすでに十分すぎるほど食べました。明確なことは、この行動が自分自身を殺しているということです。食べ終わると、彼は椅子から立ち上がるのに一苦労し、痛みを耐えながらゆっくりと歩き、レストランから出ていきました。これが私が見ている今日のクリスチャンの姿です。それは、約束を聞いてはいるけれども、毒を食べ続けながら、なぜ事がうまくいかないのかと疑問に思っている姿です。

友よ、あなたには答えがあります！聖霊様が、神様ご自身があなたの中におられて、あなたに必要な答えを持っておられます。

聖霊様が、神様ご自身があなたの中におられて、あなたに必要な答えを持っておられます。

人々は私に、‘スーズンとサリーのどちらと結婚すべきか’や、‘この仕事かあの仕事か’あるいは、‘売るべきか、取っておくべきか’とよく聞きます。あなたの中におられる聖霊様が答えを持っておられます。この本の目的は、あなたが御国の法則の中で働かれる聖霊様について学び、聖霊様の御声を聞く方法を学ぶことです。

復習しましょう。

イエス様から魚の居場所と、とる方法を教わるなら、誰でも、あなたであっても魚はとれます！

キャロルはこのemailの中で彼女の人生がどのように変わったのかを話しています。

ちょうど一年前、私はクレジットカードでクリスマスプレゼントを買おうとしましたが、上限を超えてしまい、まだサンタクロースの存在を信じている娘にプレゼントを買うことができませんでした。私は常に不安と悲しみの中において、ゲイリー牧師に‘種蒔きの法則は無駄でした。何も起こりませんでした’と手紙を書いたところ、先生は忍耐深く、‘待つて下さい。収穫は翌日あるものではなく、少し時間がかかるものです’と私に答えて下さいました。

あれから一年経った今、私は現金で家族全員分のプレゼントを買っています。今私は苦しかった時期に助けてくれた数人にお礼をするために、3万円、4万円するプレゼントを買うことができます。去年、私は友人のアパートの一室に数ヶ月滞在させてもらいました。私には食料を買うお金もガソリン代もありませんでした。しかし、今私は美しいアパートに住んでいて、冷蔵庫には食べ物がいっぱい入っています。

12月3日は娘の誕生日だったので、私は彼女をペンシルベニアにあるハーシーパークに連れて行きました。私たちは娘の親友も一緒に連れて行き、ハーシーホテルに滞在し、全ての費用を現金で支払いました。その他にも、去年は3千円のプレゼントも買えなかったのが、今年は4万円のプレゼントを買うことができました。

私はこの手紙を泣きながら書いています。私はゲイリー先生と妻のドレンダに本当に感謝しています。今年は私にとって最高の一年でした。神様が私の人生になさったことが本当に素晴らしいです。私の証だけで一冊の本が書けそうです。私に、地上の天国を生きる方法を教えて下さって、ありがとうございます。

次のemailはミシガン州に住むシャロンから送られてきた、御国に対する素晴らしい証です。

ゲイリー牧師、私は夫と一緒にこの手紙を書いています。私はあなたとあなたの妻にただ感謝したいです。

私たちは約3、4年前にシド・ロスであなたについて聞きました。私たちはとても苦しい状況に置かれていました。私たちは2800万円の家を建てたばかりでしたが、夫は18年勤めた会社から解雇されました。私たちは借金とストレスを抱えることになりました。

私たちはあなたのCDを購入し、その期間を乗り越えました。借金が私たちの健康と生活をこんなにも変えてしまうことに驚きました。私たちに逃げ道はありませんでした。家のお金を払うことができませんでしたが、私たちはその後2年間はその家に住むこと

ができたので、それ自体が祝福でした。

長い話を短くすると、私の夫は4年後に職場に復帰することができました。彼が信仰にとどまり、神様の約束を信じていたからです。夫は仕事に復帰しただけでなく、解雇されてからの4年間分の給料も取り戻すことができたのです。会社が彼を復帰させたとき、彼に最初にさせたことは休暇を楽しむことでした！ 私たちは4年前に建てた家よりもさらに良い家を現金で購入することができました。あなたの教えに感謝しています。

ミズーリ州のアンドリューから：

2年前の5月、私は逆境の中にいました。私は以前やっていた仕事に満足していなかったため、新しい仕事に就きました。取り立ての電話はかかって来ましたが、私にはガスや食料のためのお金はなく、家賃を払う月末はすぐにやって来しました。

私を持っていたものは、ゲイリーの革命2.0シリーズのCDだけでした。ある日礼拝を捧げているとき、蒔きたいと思いましたが、私の所持金は2300円で、そのお金でその週を過ごさなくてはなりません。仕事はうまくいかず、私は神様に蒔きたいけれども、本当にお金がないことを伝えました。私の中から、“わたしはその2300円であなたにできること以上のことができる”という御声が聞こえました。私は神様を信じて2000円を蒔きました。

その週の木曜日、私は誰かの口座の件で手助けしていました。私に直接的な利益がなくても、その人を助けたいと思いました。その日の夕方、上司から電話があり、先ほど手助けした人から私にお礼がしたいという連絡があったことを聞きました。どうなったと思いますか？その人を助けたことで、私は20万円を受け取ったのです！！一週間も経たないうちに、100倍の実が結ばれました！

神様は本当に真実な方であり、小さいことも神様の中では大きくなります。それ以来、私は喜びと期待

をもって十分の一献金と献金を捧げています。

このことがあって数ヶ月後、私は蒔いた通りの仕事を得る祝福にあずかりました。私の収入は2年後には、4倍になりました。神様をほめたたえます。神様が全ての栄光を受けられますように。私にはもはや車のローンはなく、今は、現金で支払い済の新車に乗っています！！

韓国から届いた証です：

親愛なるゲイリー牧師、

私は目的のない人生を歩み、自分では何一つ所有することができませんでした。私は人々からのお下がりを待ち、人々からの助けがないときの唯一の希望は、ビスケット一箱とコーラの缶でした。それが2人の子どもに与えることができた唯一のものでした。私は家賃を払うことも請求書を払うこともできませんでした。私は今も初めてFaith Life Churchのライブ配信を見た日を覚えています。私は、あなたのオンライン担当の牧師に私の状況を説明したところ、彼は‘神様に魚の居場所と、とる方法を教わって下さい。ペテロが税金を払うために魚を見つけたようにです’と言いました。長い話を省略すると、今私はアフリカンレストランと美容室を運営しています。全て、ゲイリー牧師の教えを聞いたおかげです。神様に栄光を帰します！

これらは素晴らしい証です！しかし、ある人々は、“ゲイリー、すごい証だね。他の人には可能でも、私には無理だよ”と言います。いいえ、あなたの証はまだ終わっていません！一つ聞きます。今、この章を読んでいるとき、あなたは座っている椅子を強く握りしめて、流されないように踏ん張っていますか？そうではないはずですが、なぜなら、あなたは重力の法則を知っているからです。そして、その重力の法則は全ての人に同じように働きます。神の御国も同じことです。法則を学べば良いのです。素晴らしい神様の力を証することができるように、戦略を知る方法を学べば良いのです。私たちはこれらの証が、聖霊様からの洞察によって完成されたものであることを知っています。ですから、聖霊様について基本的なことを学んでから、戦略を知る方法を学んでいきたいと思えます。

第4章

基本： これをするまで家を離れない

あなたが聖霊様の戦略と聖霊様による勝利に満ちた人生を歩みたいなら、まず、あなたは生まれ変わり、聖霊のバプテスマを受けなければなりません。そうです、同じ霊の中に異なる2つの働きがあるのです。これを初めて聞いたという人も心配はいりません。私と一緒に学びましょう。しかし、これは本当に重要なことなので、イエス様は聖霊のバプテスマを受けるまでは家を離れないようにと言われました！私の言葉ではなく、イエス様が使徒1：4-5で言われた言葉です。

エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。

-使徒1：4b-5

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、わたしの証人となります。

-使徒1：8

イエス様が、“家を離れないでこれを待ちなさい。これはそれほど重要なことです！”と言われたのがわかりますか？イエス様は、“あなたが神様の働きをし、御国の証人になるためにはこの力を受ける必要がある”と言われているのです。しかし、今日、あまりにも多くのクリスチャンが、しかも長年教会に通っているクリスチャンが聖霊のバプテスマについて聞いたこともなければ経験したこともありません。あるいは、彼らは聖霊のバプテスマはとうの昔に終わったことだと教えている教会に通っているかも知れません。

私が通っていた教会がこのような教会だったので、私は一度も聖霊のバプテスマについて聞いたことがありませんでした。私は世界中からたくさんのメールが送られて来ますが、その内容は、彼らが一度も聖霊のバプテスマについて聞いたことがないというものです。彼らは、今も聖霊のバプテスマは存在するの否かを私に聞いてきます。

私は、聖書がこのことについて明確に語っていると信じているので、聖書を読んで下さい。聖書に全ての答えが書いてあります。しかし、まず、私がどのように聖霊のバプテスマを見つけたのかについて話したいと思います。

私が若かったとき、神様に飢え渴いていたので（年老いた今も飢え渴いています）、私は宗派的な教会に通いました。私たちの日曜礼拝には、宗教的な一通りの流れがありました。あなたの教会もそうかも知れません。黙祷が捧げられるときは、讃美歌が流れました。いつも主の祈りから始まり、牧師のメッセージ、終わりの讃美歌、そして祝祷で締めくくりました。礼拝は毎回同じ流れでした。

そこにいる人々は素晴らしく、みな本当に神様を愛していました。しかし、私は福音の力を見ることはありませんでした。人々の人生が劇的に変えられたり、神様の力によって癒されたりすることはありませんでした。私は、神の御国がどういうものであるかを見たことがありませんでした。

私は神様に飢え渴いている18歳で、父のピザ屋を手伝っていました。ある晩、一人の男性がピザ屋に来て、私をリバイバル集会に招いてくれました。その地域の小さなメソジスト教会で開かれる予定で、講師はイエス様について語る伝道師でした。

私は興味を持ちました。私の友人も何人かその教会に通っていたので、私も集会に参加することにしました。その集会で私は聖霊のバプテスマについては聞きませんでしたが、神様の臨在を強く感じました。その教会に通っている友人たちが日曜礼拝に誘ってくれたので、私は日曜日もそこに行きました。私はその教会に惚れたので、私の新しい教会として通うことにしました。

集会から数週間後、私はその教会に通っている数名の女性たちが聖書勉強会を開いていることを知りました。彼女たちは、聖霊のバプテスマ、霊の賜物、また私が聞いたことのない様々なことについて話していました。私は彼女たちが話していることを詳しく学びたかったので、女性の聖書勉強会に参加しても良いかと聞きました。彼女たちの聖書勉強

会は午前中にあり、私は夜にピザ屋で働いていたので、参加することにしました。

私がそこに行くと、男性は私だけで、18歳も私だけでしたが、そんなことは気になりませんでした。私は神様に飢え渴いていたので、聖書勉強会に参加したのです。私は‘多くの’質問をしました。

女性たちは私に対して忍耐深く、聖句を一つ一つ一緒に探してくれたり、私の聖書を開いて聖霊のパプテスマが書いてある箇所を見せてくれたりして、聖書の中で働かれた聖霊様は今も働いておられるということを教えてくれました。最も印象に残ったのは、彼女たちが、それは求める‘全てのクリスチャン’に与えられると言ったことです。

聖書勉強会に参加して数週間が経ったとき、彼女たちからWoman's Aglowと呼ばれる会議が開かれることを聞きました。Woman's Aglowはその頃も今も聖霊のパプテスマについて教えている団体です。彼女たちはその集まりに参加する予定だったので私を誘ってくれました。聖霊様についての教えやメッセージはそのときまで、ペンテコステ派の教会でのみ伝えられて来ました。ちょうどその頃、カリスマ派と呼ばれるグループが登場し、教派を超えて聖霊様についての教えが広まっていったのです。

私がWoman's Aglowの集まりに行くと、そこには数百人の女性たちが集まっていました。男性はあまりいませんでしたが、そこでも神様の臨在が強く感じられました。

私は、人々がその場で癒されたり、祈りを受けて床に倒れたりするのを見て驚きました。私はそれまで一度もそのような光景を見たことがなかったので、興味があったのと同時に、少し混乱しました。そこにいる人々が霊に満たされたと言っているのが聞こえました。私には少しおかしく見える部分もありましたが、人々は明らかに神様に触れられていました。その後、一緒に参加していた女性から聞きましたが、私たちの‘肉’には入れることができない神様の力があり、私はそれを“油注ぎ”と呼ぶことを知りました。

彼女たちはイエス様のミニストリーの中でこれが起きたところを見せてくれました。ヨハネ18：4b-6で、兵士がイエス様を捕えに来た場面です。

「だれを捜すのか。」彼らは、「ナザレ人イエスを。」と答えた。イエスは彼らに「それはわたしです。」と言われた。イエスが彼らに、「それはわたしです。」と言われたとき、彼らはあとずさりして、そして地に倒れた。

賛美の時間には、私の周りにいた女性たちは喜びながら神様をほめたたえ、その多くが異言を語っていました。私にとっては、全てが新しい経験だったので、集まりの初めから終わりまで驚きを隠せませんでした。初めて見る光景に戸惑いを感じる瞬間もありましたが、神様の臨在

を否定することはできませんでした。私は、聖書の中に出てくる福音の力と神様の力を目の当たりにし、とても嬉しかったです。

その日、集会の終わりに講師が、聖霊の賜物を受けたい人は前に来るように呼びかけました。私は前に行き、数名の女性たちから祈りを受けました。彼女たちが祈っていると、私は神様の臨在がさらに強く注がれるのを感じました。私がおの方の臨在に身を委ねたとき、私は突然聖霊様の中で祈り始め、理解できない言葉が私の口から出てきたので驚きました。私は自分が経験したことがあまりにも素晴らしかったので、会う人全員にこの話をしたいと思いました！しかし、私が教会に通う友人たちにこの話を伝えても、彼らはそれほど興味を示しませんでした。彼らは、異言は悪魔のものだとか、異言は昔のものだと言いました。彼らは、‘聖霊派の人々’に気をつけると私に警告しました！

その当時、教会は霊の賜物を受け入れていなかったもので、それに関する教理は使徒たちの時代で終わったと教えていました。しかし、私は神様の力は終わっていないことを身を持って体験したのです！

このWoman's Aglowの集まりがある前、私は小さなメソジスト教会で青少年部を任されていました。特に私が何かをするわけではなく、毎週日曜日の夕方に教会の敷地内で集まりを持つということだけでした。私たちはゲームをし、軽食を食べてから、聖書勉強会を開きました。

私自身も青少年ではありましたが、神様に対する情熱があり、神様のために何かをやりたいと思っていました。

青少年部には15人ほどいて、Woman's Aglowの集まりで経験したことを彼らにも伝えたいと思いました。私のように、彼らも聖霊のバプテスマについて聞いたことがなく、教会の礼拝の時間にも聞くことはないの、私は伝えることにしました。

この後どうなったのかを話す前に、その当時の私の考えを説明させて下さい。私は牧師から青少年部でこのことを話しても良いという許可を得ていませんでした。（今思えば、許可を得るべきでした）また、私が経験したことを牧師に話してもいませんでした。

私は教会に対して反抗するつもりはなく、牧師と対等な立場になるつもりもありませんでした。ただ、興奮していたのです。そのときは、この話題が問題になることも、牧師がこの教理に反対していることも知りませんでした。

日曜日の夕方の青少年部の集まりで、私はいくつかの聖句を見せながら私の体験談を話そうと思っていました。私たちは円を描くように座り、私はその日経験した聖霊様の働きについて分かち合いました。

その日に限って、牧師がこの集まりに来て、私の横に座りました。私は牧師が横にいることが気になりませんでした。なぜなら、今から私が話すことは牧師がすでに知っていることだと思っていたからです。

私は参加した集まりについて、また私がそこで見たことについて話しました。異言の話はしませんでした。その代わりに、使徒1：8に書いてある‘聖霊が臨まれるとき、力を受ける’という聖句を読みました。

集まりの締めくくり方を知らなかったの、私は、聖霊のバプテス

マを受けたい人は手をあげるように呼びかけました。

私はそのときもどうしていいのかわかりませんでした。私は、Woman's Aglowで見た光景の他に、誰かがこのような働きをするのを見たことがなかったからです。そのときの私は聖霊様について書いてある聖句を2つか3つしか知りませんでした。

そこで私は、“聖霊様の賜物を受けたい人は、手をあげて頭を下げて祈りましょう。”とだけ言いました。私は彼らに触れたり、それ以上何かを導こうとしたりはしませんでした。私たちはただ頭を下げて祈りました。もちろん、私たちは目を閉じていつも教会で祈っているように厳粛に祈りました。

私が“アーメン”と言うと、彼らの間で変化が起きたのを感じました。目を開けて見ると、ある子どもたちは泣いていて、別の子どもたちは震えていて、また他の子どもたちは異言を語り始めました。彼らが異言で祈り始めると、彼らの顔が輝きました。彼らの顔は電球のように明るくなったのです！私は驚きました！

それまで一言も発していなかった私の牧師は、私の肩を叩いてちょっと話そうと言いました。私たちは隣の部屋に移動し、彼が私の目を見て、“これは悪霊の働きだ。あなたに青少年部のリーダーを任せることはできない。これを受け入れることはできない。”と言いました。

私は、‘どうしてこれが悪霊の働きだと言えるのですか？彼らを見て下さい！彼らの顔が輝いているのに！’と思いました。彼らに注がれた油注ぎは明白でした。もちろん、そのときはまだ‘油注ぎ’という単語も知りませんでした。ただ、私は彼らの顔が輝いていることと、私は彼らに触れてもいないし何もしていないことを知っていました。私は自分の牧師からこのような叱責を受けたので、とても困惑し、どうしていいのかわかりませんでした。

次の日曜日、私は教会に行きましたが、いつも座っている最前列の席ではなく、後ろの席に座りました。青少年部の集まりの後、牧師と話してから私の複雑な思いも拭えていなかったので、少し様子を見ようと後ろに座りました。

礼拝の時間には、いつも通り捧げられる黙祷の時間がありました。この時間は、私たちの教会でとても尊重されてきた祈りの時間です。ピンが落ちる音が響くほど静かです。誰かが私の肩を叩くまではそうでした。私は一番後ろの席に座っていたので、誰かが横に来て私の肩を叩いたのです。

まず、私はこの静かな祈りの時間に誰かがここまで歩いて来たということに驚きました。目を開けて見ると、そこには先週の青少年部の集まりに参加していた男の子が立っていました。しかも、彼はあの晩聖霊のバプテスマを受けた7人のうちの1人でした。彼は私を見て、“行こう！”と言いました。私は、‘行こう？行くとどこに？’と思いました。

驚くことに、彼の顔はあの晩聖霊様に触れられたときと同じように輝いていたので、私は神様が何かをしておられると感じました。しかし、私はすでに牧師に目をつけられている状態なので、これ以上何かを

するのは気が引けました。また、日曜日の朝の礼拝中に、何かをすることはできないことも知っていました。そのとき彼は、“私はこれから母のために祈りに行くよ”と言いました。

私は、何が起きているのかを理解し始めました。私は彼の母親を知っています。彼女は背の低い小さな女性で、長い間病気でした。彼女は背中の5つの椎骨が劣化していて、医師の唯一の望みはそれらを融合させることでした。この手術はとても難しく、私の友人は彼女の一人息子でした。当然、彼は自分の母親のことが気がかりでした。

聖霊のバプテスマを受けた彼は、イエス様が彼の母親を癒やされるという確信を持っていました。私は彼が、“行こう”と言ったとき、彼が母親の元に行き静かに祈ろうとしていたかと思っておりましたが、そうではなく、彼は母親を連れて最前列に進み、そこで大きな声を出して異言で祈り始めたのです。

これは、“厳粛な”黙祷の時間だということ覚えていますか？この静かであるべき時間が静かではなくなりました。私は驚きました！彼は私の方を見て、“何が起きているのか説明して”と言いました。

私は彼のしようとしていることがわかりました。彼は私から聖霊のバプテスマについて聞いたので、彼が今母親の癒しのために異言で祈っていることを、会衆にも説明して欲しいということだったのです。

私は会衆の前に立ち、彼が母親のために異言で祈っていることを説明し始めました。牧師が私を睨んでいるので、私は何を言うべきなのかわかりませんでした。私は簡単に、彼の母親は病気で苦しんでいるので、彼は今、聖書の中にもある異言で祈っていると言いました。みなさん、どうなったと思いますか？彼女はその朝の礼拝中に、完全に癒やされました！

それは、人の目を気にしないで母親のために祈った息子の信仰でした。彼は聖霊様は今も働かれて母親を癒されることを信じていました。

彼女が完全に癒やされたにもかかわらず、教会はそれを受け入れませんでした。礼拝後、多くの人が私のところに来て、“彼が自分の母親のために祈ることは良いことだけど、あの異言というもの、あれは受け付けないね”と言いました。悪魔も異言を嫌います。その理由については、この本が終わる前に説明します。

もしかしたら、あなたの通っている教会も異言や霊の賜物を受け入れないところかも知れません。あるいは、異言は昔のもので今はないと教わってきたかも知れません。

答えはそう難しくありません。聖書はこのことについて明白です。聖霊のバプテスマについて聖書はどのように教えているのか御言葉を通して見てみましょう。この章の初めに読んだ聖句に戻りましょう。

エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。 -使徒1:4b-5

この聖句の中でいくつかの重要な点を見ることができます。

1. 聖霊のバプテスマは、水のバプテスマとは違う。

2. イエス様はこれを重要なことだと言われた。これがなければ、あなたがたは何もすることができないと言われた。

イエス様は弟子たちに全世界に出て行き、福音を宣べ伝えなさいと言われましたが、このバプテスマを受けなければ天の御国を現すことができないのです。ですから、イエス様は“この力を受けるまではとどまっていなさい”と言われました。

“わたしがあなたがたに言うことばは、わたしが自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。”

-ヨハネ14:10b

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

-使徒1:8

力です！ギリシャ語で力という単語は、*dunamis*で、ダイナマイトという単語はここから来ています。神様の力が私たちに注がれ、その方の働きができるようになります。イエス様が働きを始められた頃、イエス様はその力や油注ぎは父から出ていると言われました。

“わたしがあなたがたに言うことばは、わたしが自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです”
(ヨハネ14:10b)

“まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません”
(ヨハネ5:19)

イエス様ご自身も、神の霊によって力づけられる必要があったのです。‘油注ぎ’には、“適用する”という意味があります。イエス様は、ヨルダン川で聖霊が鳩のように天から遣わされたときに父から聖霊を受けました。

イエス様はその力を受けられた後、御国の働きをすることができるようになったのです。もし、イエス様にそれが必要であったなら、私たちにも必要です！その力が、イエス様を知らない人々への証（証人）となるからです。

また、聖書は聖霊があなたの中にいるときとは言うておらず、あなたの上に臨まれるときと書いています。

多くの人は、キリストを受け入れたときにすでに聖霊を受けたと言って、聖霊のバプテスマの話を知ると混乱します。実際に、彼らはキリストを受け入れたときに聖霊をも受けました。聖霊様が彼らの霊を生かし、神様へと繋げて下さったのです。

私たちは生まれ変わったとき、聖霊様の力によって神様に対して生きた者となりました。しかし、聖書に、聖霊があなたの上に臨まれるときと書いてあるのを見て下さい。これについては後ほど説明します。

生まれ変わることで、聖霊による油注ぎやバプテスマは2つの異なるものです。理解しやすいように、ヨハネ20：21-22を見てみましょう。

イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」

これは、イエス様が復活された後、弟子たちに会って聖霊を受けるために彼らに息を吹きかけている場面です。このとき、彼らは生まれ変わり、彼らの内側にある霊が神様に繋がりました。しかし、イエス様は彼らに聖霊のバプテスマがあなたがたの上に臨まれるまで待ちなさいと言われました。

もし、イエス様が彼らに息を吹きかけられたときに彼らが聖霊様の全てを受け取ったならば、イエス様はエルサレムを離れないで約束されたものが臨むまで待つようには言われなかったはずです。同じ霊ですが、2つの異なる機能を持っているのです。また、重要な点になりますが、イエス様ご自身も効率よくミニストリーをされるためには聖霊のバプテスマを受ける必要があります。イエス様が聖霊のバプテスマを受けられる前は、聖書のどこにもイエス様が奇蹟を行なわれたことが記録されていません。イエス様は小さい頃からパンを増やしていたでしょうか？赤ちゃんの頃に奇蹟を行なわれたのでしょうか？赤ちゃんの頃、お腹が空いたので離乳食を増やす奇蹟を行なわれたのでしょうか？いいえ！そうされませんでした。なぜでしょうか？簡単に答えるなら、できなかつ

たからです。

イエス様が奇蹟を行なわれたのは、ヨルダン川で聖霊のバプテスマを受けた後でした。イエス様が‘人’として来られたのを知っていますね。イエス様は、力と栄光に満ちた神の子として来られませんでした。人として来られたので、私たちに限界があるように、イエス様にも限界がありました。私たちが人間の力で奇蹟を行なったり癒やししたりできないのと同様に、イエス様もできませんでした。

しかし、私たちと違う点は、イエス様が生まれたとき、イエス様の霊は神様に対して死んでいませんでした。その方の霊は常に神様に対して生きていました。私たちのように生まれ変わる必要はありませんでした。その方の霊は御子として神様に対して生きていたけれども、ミニストリーをするためには私たちのように、イエス様も聖霊のバプテスマを受けられる必要があったのです。

こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

-マタイ3:16-17

私たちはイエス様と聞くと、王の王、主の主であるイエス様を思い浮かべますが、ミニストリーをするイエス様の立場はそうではありませんでした。ヨルダン川で聖霊様がイエス様の上に臨まれた後から奇蹟は始まったのです。

あなたのミニストリー（全てのクリスチャンがイエス様の働きをするために召されている）は、聖霊によるバプテスマを受けない限り、始まりません。働きをするためには、聖霊様の力が必要なのです。そして、霊の中で祈ることを学ぶとき、あなたは聖霊様の導きに従えるようになるのです。

もちろん、救いについては生まれ変わったクリスチャンであるなら、人々に伝えることはできます。聖霊のバプテスマを受けていない多くのクリスチャンは、良い知らせである福音を伝えるところには用いられていますが、イエス様が行なわれたような奇蹟は、力を受けていないので行なうことができません。だからメッセージが弱々しいのです。

イエス様はパリサイ人たちに彼らの不信仰を指摘されたとき、このように言われました。

“わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。” (ヨハネ14:11)

イエス様は、この御国のわざが全ての争いを鎮めると言っておられるのです。もちろん、イエス様が代価を支払って下さったので、全てのクリスチャンには癒やされる権利があります。全てのクリスチャンは信仰によって神様の約束を受けることができ、神様からそれを受け取るために聖霊のバプテスマを受ける必要はありません。

しかし、その力を他の人にも流し、あなた自身も霊の賜物を持ち、異言で祈ることを通して御国の奥義を知るためには、必ず油注ぎの力を受けなくてはなりません！私が異言で祈ると言うと、中には理解できない人がいることも知っています。怖がらないで下さい。後で詳しく説明します。

私の娘エイミーはオハイオ州ニューオールバニ市にある私たちの教会Faith Life Churchで賛美を導いています。彼女の腹部が膨れ上がり、私たちを混乱させるということが数年間続きました。私たちは本当に多くの医者に診察してもらいましたが、誰一人としてその理由がわかる人はいませんでした。彼らはみな、もともと彼女の身体がそうなのだと結論づけました。

彼女の腹部はどうとう妊娠6ヶ月の妊婦に見えるほど、大きくなりました。レントゲン検査の結果、私たちが見てもわかるほど腹部には大きな何かが入っていました。レントゲン写真を見たエイミーは、これは手術が必要だと直感したそうです。結婚したばかりだったので、腹部の手術が今後の妊娠や出産に影響を与えることを恐れました。エイミーにとっては一大事でした。彼女は母親になることが夢だったからです。レントゲン写真を見ると、腹部が大きく膨れ上がっていることで内臓を圧迫し、消化機能も低下していることがわかりました。彼女は御言葉を真剣に捉えて聖書が教えている癒やしについて学び始めました。その週、私は教会で癒やしについて教えていました。

メッセージの後、エイミーは教会のリーダーたちに手を置いて祈ってほしいと頼み、私たちはヤコブ5：14-15にあるように、彼女のために祈りました。

あなたがたのうちに病気の人がありますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

-ヤコブ5:14-15

私たちが手を置いて祈ったとき、エイミーは癒やされたと宣言しました。祈った直後には、腹部に何の変化も現れませんでした。彼女は癒やされたと確信しました。

基本：これをするまで家を離れない

2週間後、彼女が眠りにつくときはまだ変化がありませんでしたが、翌朝起きたときに衝撃を受けました。彼女は一晩の間に、体重が6キロ減り、ウエストは22センチ細くなりました。彼女の腹部と、もつれていた背中は完全に正常になったのです。彼女は一瞬で癒やされたのです！



BEFORE

AFTER

写真を見ると、素晴らしい癒やしがわかると思います。左の写真はエイミーが寝る前の腹部の状態、右の写真は彼女が翌朝起きたときの腹部の状態です。



この写真で、癒やされる前と後の背中を見ることができます。脊椎の変化を見て下さい！

エイミーはその頃も私たちの教会Faith Life Churchで賛美を導いていました。次の日曜日、エイミーが教会に現れたときの人々の反応が気になりませんか。人々は彼女を凝視しました！彼らは教会のロビーで驚きながら、“何があったの？新しい身体でも手に入れたの？”と聞きました。その日、エイミーはいつものように賛美を導き、神の御国の癒やしが現れたので、多くの人がその場で癒やされました。

人々は、今も神の御国が機能していることを見る必要があります。使徒1：8を通して、私たちは聖霊のパプテスマと油注ぎが必須であることがわかります。

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

-使徒1:8

イエス様が重要だと言われたように、これは神の御国を現すために必須なのです。

信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人はいやされます。

-マルコ16:17-18

蛇をつかみ、毒を飲むことはサタンの王国を指しており、それがそのまま恐れなのです。サタンの王国は敗北しました。イエス様は私たちが実際に蛇をつかんだり毒を飲んだりすることを言われたのではなく、敵の力によって私たちが影響を受けたことを言われたのです。私たちは神様の力と権威をサタンの統治に解き放ち、その中にいる人々を自由にするので！

イエス様が、“次のようなしるし”と言われたのを見て下さい。人々が御国のしるしを見ると、それがどのようにして起きたのかを聞きます。しるしが何かを現すのです。しるし自体が答えなのではなく、それが人々の関心をイエス様に向けるのです！

これらのしるしが、イエス様は主なのか否かの争いを止めます。

基本：これをするまで家を離れない

イエス様は主です！そして、人々がこれに気づいたとき、彼らは悔い改めて神様の元に来るのです。だから、あなたと私には聖霊のバプテスマが必要であり、聖霊のバプテスマなしでは影響を与えることができません！

ここまでは、なぜあなたは聖霊のバプテスマが必要なのかについて見てきたので、次は油注ぎに関する聖句を見ていきましょう。

第5章

聖書的根拠

聖霊のバプテスマを最も良く理解する方法は、使徒の働きに記録されているペンテコステの出来事を見ることです。聖句を一つ一つ見ていくことで、このバプテスマがあなたのためでもあるということを知り、あなたの信仰と自信は成長するでしょう。

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが御霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。

さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが、この物音が起こると、大ぜいの人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、驚きあきれてしまった。

彼らは驚き怪しんで言った。「どうでしょう。いま話しているこの人たちは、みなガリラヤの人ではありませんか。それなのに、私たちめいめいの国の国語で話すのを聞くと、いったいどうしたことでしょう。

私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジア、フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレネ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」人々はみな、驚き感って、互いに「いったいこれはどうしたことか。」と言った。しかし、ほかに、「彼らは甘いぶどう酒に酔っているのだ。」と言ってあざける者たちもいた。

-使徒2:1-13

まず、この聖句を読んだあなたに見てほしいところは、**みな**が御霊に満たされたと書いてある部分です！次は、**みな**が異言を語ったという部分です。あなたは、ペンテコステの日の定義と彼らが異言を語った理由について聞いたことがあるかも知れません。ある人は、その日、大ぜいの人々がいろいろな国から集まっていたので、彼らに福音を聞かせるためにその日限りの異言が語られたと説明しています。

しかし、聖句を読むと、120人が集まって神様の大きなみわざを語っていたとあります。彼らは福音を伝えていたわけではありません。ただ神様をほめたたえていたのです。

“あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。”人々はみな、驚き感って、互いに“いったいこれはどうしたことか”と言った。

-使徒2:11b-12

彼らがいろいろな国の言葉で神様をほめたたえているのを聞いた人々は驚き感いました。それからペテロが立って救いについてのメッセージを語ると、その日3,000人が救われ、教会に加わりました。もし弟子たちが異言で福音を語ったならば、ペテロが立って福音を伝える必要はなかったはずですが、しかし、ペテロが立って福音を伝えるまで、彼らは異言で何を語っているのかわかりませんでした。異言は福音を伝えるためのものではありませんでした。それは、今も同じです。私はもう少し後で異言がクリスチャンにどのような益をもたらすのかについて話します

が、ここでは、異言に対する一般的な議論について話したいと思います。

注目してほしいのは、みなが満たされ、みなが異言を話したというところです。もし聖書にここまでしか書いていなかったら、私たちは異言を語るの教会全体のためだと考えてしまうかも知れません。しかし、聖書はそこで終わっていません。ペンテコステの日の後、聖霊のバプテスマを受けた全ての人に関する話は続くのです。

ペンテコステの日にその場にいたピリポという人の話をさせて下さい。

他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。群衆はピリポの話を聞き、その行なっていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。

-使徒8:4-6

ここで、ピリポは御国のわざを現し、人々は彼の言葉に耳を傾けていました。今も、こうでなければなりません！人々がしるしを見ると、彼らは御国の根拠を見ることになるので、あなたの語る言葉に耳を傾けるようになります。

汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くと、大ぜいの中風の者や足のきかない者は直ったからである。それでその町に大きな喜びが起こった。

-使徒8:7-8

ピリポはエルサレムで受けたばかりの力の中を歩んでいるのがわかりますか。しるしが伴ったので、人々の目にはそれが神様の力であることが明白でした。彼はdunamis（ギリシャ語で力）を受けたので、神の御国の証人となることができました。

さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけ

で、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。

-使徒8:14-17

エルサレムにいる使徒たちがサマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いたとき、彼らはペテロとヨハネを遣わしました。彼らはそこに着くと、人々が聖霊を受けるために祈り始めました。なぜなら、彼らの上にはまだ聖霊が臨んでいなかったからです。悪霊は追い出され、人々は癒やされ、彼らは水のバプテスマを受けていたと書いてあります。しかし、聖霊はまだだれにも下っておられなかったとも書いてあります！

ピリポは救いのメッセージを語り、人々がそれを受け入れましたが、聖霊のバプテスマはまだ受けていませんでした。彼らは生まれ変わりましたが、ここを見て下さい：“聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。”

もう一度言います。聖霊様が私たちの中におられる（生まれ変わる）ことと、聖霊様が私たちの上に臨まれることとは2つの異なるものなのです。

ピリポがなぜ彼らに聖霊のバプテスマについて話さなかったのかについては聖書に書かれていません。もしかしたら、彼はエルサレムで聖霊のバプテスマを受けた後すぐに去ってしまったから、それが全ての人のためであることを知らなかったのかも知れません。どんな理由であれ、明確なのは、人々が福音を信じて水によるバプテスマを受けたということです。サマリヤにいる人々が聖霊のバプテスマを受けることがどれほど重要であったかという、使徒たちが‘すぐに’二人を遣わしましたことでわかります。

彼らは、服装を気にしたのではありませんでした。彼らは、“そこに行って、教会に行くときにふさわしい服装を教えよう”とは言いませんでした。また、教理も気にしませんでした。彼らが気にしたことは何でしたか？聖霊のバプテスマです！そこで、彼らは人々に聖霊のバプテスマについて教えるために急いでそこに向かいました。

ペテロとヨハネが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けました。その瞬間、彼らは聖霊を受けたのです。根拠はどこにありますか？私は、他の人と同じように彼らが異言で祈ったところに根拠があると信じています。

使徒たちが手を置くと聖霊が与えられるのを見たシモンは、使徒たちのところに金を持って来て、「私が手を置いた者がだれでも聖霊を受けられるように、こ

の権威を私にも下さい。」と言った。

ペテロは彼に向かって言った。「あなたの金は、あなたとともに滅びるがよい。あなたは金で神の賜物を手に入れようと思っているからです。あなたは、このことについては何の関係もないし、それにあずかることもできません。あなたの心が神の前に正しくないからです。だから、この悪事を悔い改めて、主に祈りなさい。

あるいは、心に抱いた思いが赦されるかもしれませんが。あなたはまだ苦い胆汁と不義のきずなの中にいることが、私にはよくわかっています。」

シモンは答えて言った。「あなたがたの言われることが何も私に起こらないように、私のために主に祈ってください。」

-使徒8:18-24

シモンが手を置くことで聖霊が下るのを見たとき、彼は金を持って使徒たちの元に行き、自分にもその権威を与えてほしいと頼みました。シモンは人々が聖霊を受けるときに何か起きたことと、何らかの根拠を見たに違いありません。彼はその力が欲しかったのです。

ここには、異言のことは書いてありませんが、目に見えてわかる何かがあったことはわかります。シモンは力強い何かを見たから、自分もその権威を持つようになることを求めたのです。私は、ここでも人々が聖霊のバプテスマを受けて異言を語ったと思っています。私が強調したいのは、エルサレムの教会が聖霊のバプテスマをどれほど重要視していたのかという点です！

パウロがダマスココに行く途中、アナニヤという名の男性がパウロのために祈るように遣わされました。

「兄弟サウロ。あなたが来る途中でお現われになった主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」

-使徒9:17b

聖書に、パウロが聖霊のバプテスマを受けたとき異言を語ったとは書いてありませんが、彼が異言を語っていたことを私たちは知っています。なぜ、パウロが異言を語っていたことを知っているか気になりますか。パウロ自身が1コリント14：18に書いたことを見ればわかります。

“私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝しています”(1コリント14:18)

ですから、私たちはパウロが聖霊のバプテスマを受けたとき、異言を話したということがわかるのです。使徒の働きを読むとわかりますが、このバプテスマは教会を通して来る日も来る日も続きました。ペンテコステの日だけで終わったことではありません。

使徒の働き10章では、ペテロが異邦人のところに遣わされ、福音を伝えるのを見ることができます。ユダヤ人であるペテロが異邦人のところに行くことは普通ではありませんでした。彼が行った理由は、聖霊様による幻を見たからでした。

ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。

そこでペテロはこう言った。「この人たちは、私たちと同じように、聖霊を受けたのですから、いったいだれが、水をさし止めて、この人たちにバプテスマを受けさせないようにすることができましようか。」そして、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けるように彼らに命じた。彼らは、ペテロに数日間滞在するように願った。

-使徒10:44-48

ペテロが異邦人のところでキリストの福音を語っていたとき、みことばに耳を傾けていた全ての人の上に聖霊様が臨まれました。神の霊は目に見えないので、彼らの上に聖霊様が来られたことを知る方法は何でしょうか？割礼を受けた信者でペテロと一緒にいた人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いたとあります。彼らが異言を話し、神を

賛美するのを聞いたからです。

聖霊様がそこに臨まれたという根拠は何ですか？ペテロは神様が異邦人を受け入れて下さったことを認めざるを得ませんでした。彼らに聖霊のバプテスマについて教えたことがないのに、彼らが異言を話し出したことがこれ以上ない明白な根拠でした。ペテロは彼らが自分たちと同じように異言を話したので、聖霊を受けたことを知りました。

あなたは、今日の教会が感じているこの重要性和、その当時の教会が感じていたこの重要性の違いを見ることができます。私の好きな聖句でもありますが、なぜ全ての人が聖霊のバプテスマを受けるべきなのか、また生まれ変わることにしても書かれてある使徒19：1-2を見てみましょう。

**アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を
ってエペソに来た。そして幾人かの弟子に出会って、
「信じたとき、聖霊を受けましたか。」と尋ねると、彼ら
は、「いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませ
んでした。」と答えた。**

-使徒19:1-2

パウロがエペソに来たとき、数人の弟子たちに出会ったので、「信じたとき、聖霊を受けましたか？」と尋ねました。これが、信者に会ったときにパウロが一番気にかけていたことです。

パウロは、異言を話すという根拠をもとに、生まれ変わることに、聖霊のバプテスマを受けることは異なるものだという事を悟りました。

なぜ、パウロはこのことを最初に尋ねたのでしょうか？それは、イエス様が使徒1：4で言われたこととほぼ同じでした！“これを受けるまでは離れてはならない！”エルサレムにいた使徒たちがサマリヤの人々がみことばを聞いたことを知ったとき、どうしましたか？“すぐに向かいなさい。彼らが聖霊のバプテスマを受けるように今すぐ行きなさい。”と行って二人を遣わしました。パウロもエペソに来て弟子たちに出会ったとき、最初に聞いたことが、“信じたとき、聖霊を受けましたか？”でした。

彼らが、“いいえ、聖霊の与えられることは聞きもしませんでした”と答えたとき、パウロは彼らにどんなバプテスマを受けたのか尋ねました。彼らは、“ヨハネのバプテスマです”と答え、パウロは、“ヨハネは、自分のあとに来られるイエスを信じるように人々に告げて、悔

私は、多くの教会でこの話題が問題視されている理由は、聖書に書かれていないからではなく、悪魔がこれを嫌っているからだと思っています。

い改めのバプテスマを受けたのです”と言いました。

これを聞いた人々は、主イエスの御名によってバプテスマ（水のバプテスマ）を受けました。

その後、パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らに臨まれ、彼らは異言を語り始めました。パウロが彼らに質問したとき、彼は彼らが信者であることを知っていました。だからパウロは、“信じたとき、聖霊を受けましたか？”と聞いたのです。彼は、聖霊のバプテスマと生まれ変わることが異なるものであることを理解していました。

私は、多くの教会でこの話題が問題視されている理由は、聖書に書かれていないからではなく、悪魔がこれを嫌っているからだと思っています。

なぜなら、もしこの力によって信者が証人となって世界を変える扉になることを人々が気づいてしまったら、この世の神はそれをどう思うのでしょうか？

聖霊のバプテスマは私たちにイエス様のなされたみわざを行なう神の力を与えるので、その結果、神様が栄光をお受けになるのです！

第6章

みなが異言で祈っているか？

あなたは異言を話さない人が、異言を話してはならない、話すことはできないと言うのを聞いたことがあるかも知れません。そして、彼らは1コリント12：27-30を引用します。彼らは、パウロがみなが異言を話すのではないと言った部分を強調します。その箇所を読んで、本当にパウロはそういう意味で言ったのかどうかを見てみましょう。

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。そして、神は教会の中で人々を次のように任命されました。すなわち、第一に使徒、次に預言者、次に教師、それから奇蹟を行なう者、それからいやしの賜物を持つ者、助ける者、治める者、異言を語る者などです。みなが使徒でしょうか。みなが預言者でしょうか。みなが教師でしょうか。みなが奇蹟を行なう者でしょうか。みながいやしの賜物を持っているでしょうか。みなが異言を語るでしょうか。みなが解き明かしをするでしょうか。

-1コリント12:27-30

この手紙で、パウロはコリントの教会に、教会の集まりはどのように機能すべきかについて教えています。その頃、教会の中では各自与えられた霊的賜物を用いて好き勝手にしていたからです。

パウロは愛の中で一つになるための働きの秩序について話しました。1コリント12：27-28を詳しく見ていきましょう。

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとりは各器官なのです。そして、神は教会の中で(下線に注目)人々を次のように任命されました。すなわち、第一に使徒、次に預言者、次に教師、それから奇蹟を行なう者、それからいやしの賜物を持つ者、助ける者、治める者、異言を語る者などです。

パウロはそのまま続けますが、私は“教会の中で”という部分で少し止まりたいと思います。彼は、文字通り教会の集まりのことを言っています。1コリント14：18-19を見ればわかります。

私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝していますが、教会では、異言で一万語話すよりは、ほかの人を教えるために、私の知性を用いて五つのことばを話したいのです。

-1コリント14:18-19

パウロは、“私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝していますが、教会では・・・”と言っています。ここにも出て来ますが、パウロはキリストのからだを指しているのではなく、文字通り教会の集まりを指しているのがわかります。パウロも、キリストのからだである“教会”の一部であることを私たちは知っています。もちろん、そうです。しかも、彼はコリントの信者たちの誰よりも多くの異言を話すことを喜んでいました。彼がこう言ったのは、コリントの教会で信者たちは異言を話すことを誇らしげに無秩序の中、混乱を招いていたからです。

そこでパウロは、“ねえ、みんな、私はあなたがたのだれよりも多くの異言を語っているよ。でも、これを“教会の中で”行なうには、混乱を避けるためにも秩序が必要だ”と言っているのです。続けてパウロは、教会の中では他の人を教えるために知性を用いたことば(普通の言葉)を話すと言いました。

1コリント12章にも書いてあるように、ある人たちは教会の礼拝中に

みなが異言で祈っているか？

異言を話しますが、教会の徳を高めるために、全員がそのようにすべきではありません。パウロもこれについては、異言を話す人と解き明かしをする人合わせて多くても3人までだと言っています。

**もし異言を話すのならば、ふたりか、多くても三人
で順番に話すべきで、ひとりには解き明かしをしない。
(1コリント14:27)**

ですから、パウロがみなが異言を話すのではないと言ったのは、“教会の中で”あるいは教会の集まりを指しているのです。

全てのクリスチャンが異言で祈ることはできますが、教会の礼拝中に異言を話したり解き明かしをしたりする人は‘全ての人’ではないということを理解する必要があります。もしあなたが礼拝中に異言を話す人だと感じているなら、解き明かしができるようにも祈って下さい。

**異言を語る者は、それを解き明かすことができる
ように祈りなさい。(1コリント14:13b)**

私は、メッセージを通してすでに解き明かしがされていると信じているので、礼拝中に異言を話そうとする人は、志願者である可能性が高いと思っています。

なぜ異言で祈るべきでしょうか？悪魔は霊の中（異言）で祈ることを知っているクリスチャンを嫌っていて、あなたにもその理由を理解していただきたいです。

パウロが、誰よりも多くの異言を語っていることを嬉しく思っていると聞いた理由があるはずです。1コリント14章でパウロが言っていることを見てみましょう。

“異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言をする者は教会の徳を高めます”(1コリント14:4)

少し深掘りしましょう。徳を高めるとはどういう意味でしょうか？単語の意味を見ると、“特に理性的かつ霊的に利益をもたらす；持ち上げる”とあります。

あなたも、どの道に進むべきか、あるいは正しい選択をするために指示を待ったり求めたりすることがあると思います。そのとき、異言で祈ることが助けになります。あなたの徳を高めて、人生を導いてくれるのです。パウロはこのことについて、ローマ8：26-27で明確に語っています。

“御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのです”

-ローマ8:26a

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

パウロは、私たちに弱さがあると言っています。“どのように祈ったらよいかわからない”のです。

あなたは、“なぜこれが弱さなのか？”と聞くかも知れません。1ヨハネ5:14-15を読むことで、なぜこれが弱さなのかがわかります。

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知るのであります。

神様のみこころに対する確信を持つことができなければ、私たちは信仰を働かせることができないし、信仰を働かせることができないならば、神様の恵みと力に入ることもできないので、それが私たちの弱さになるのです。そこで、パウロはどのように祈ったらよいかわからないとき、異言で祈ることが助けになると言っているのです。もう一度、この聖句を読んでみましょう。

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのです

-ローマ8:26a

私たちの弱さは、どのように祈ったらよいかわからないことです！

聖書は、私たちが誰と結婚するか、どこに住むか、何の仕事をするかについて教えてくれません。神様のみこころを知らなければ、祈っても神様から何を受けたのかを知ることができません。これは、大きな弱さです！神様のみこころを知らなければ、私たちは神様の中で確信を持つことができないからです。しかし、私たちには神様のみこころかどうかを識別する方法があります。その方法を知るなら、信仰と確信を持って自由に働くことができるのです。

パウロはそのことを言っています。パウロが言っている‘徳を高める’とは、神の霊から来る知識に繋がることを指しています。

そして、霊の中で祈ること、あるいは異言で祈ることによって霊を識別することができるようになります。ローマ8：26b-27でパウロが述べていることも見てみましょう。

御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいませ。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

パウロは、私たちが霊の中で祈るときにうめくとは言わず、次のように言っています。

私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。私たちは、この望みによって救われているのです。目に見える望みは、望みではありません。だれでも目で見ていることを、どうしてさらに望むでしょう。もしまだ見ていないものを望んでいるなら、私たちは、忍耐をもって熱心に待ちます。

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいませ。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいませ。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何

かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

-ローマ8:22-27

パウロは、ここで‘うめき’を、私たちの中にある嘆きを指して使っています。私たちは、女性が産みの苦しみをしているように心の中でうめきます。

それは、私たちが神の霊から何かを産み出すこと、何か新しいものを受け、私たちから出たものではない何かを受けることなのです。私たちが霊の中で祈ることによって、私たちの知らない知識を“産み出す”ことができます。聖書には、神の霊は私たちの霊を通してどんな状況に対しても神様のみこころを祈ることができると書いてあります。神様ご自身が、言いようもない深いうめきによって私たちのためにとりなして下さると書いてあります。

ですから、聖霊様は私たちのために、私たちが理解できない言葉（あるいは異言）でとりなして下さるといことです。私たちの心を探り窮める方は、神様の完全なみこころを知っておられるので、神の霊によって私たちをとりなして下さいます。神の霊は、私たちが異言で祈るときに私たちの霊を通して神様の完全なみこころを祈ることができるようにして下さい。

神様のみこころを知らないとき、私たちは弱いです。神様のみこころを知るまでは信仰を解き放つことができません。パウロは私たちに、霊の中で祈るとき、神様ご自身が私たちを通して神様の完全なみこころがなされるように祈って下さると教えています。

神の霊が私たちを通して祈るとき、私たちは何を言っているのかわからないのに、どうして徳を高めることができるのでしょうか？答えは聖書の中にあります。

目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。

神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほか、だれが知っているでしょう。

みな異言で祈っているか？

同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにはだれも知りません。ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。

-1コリント2:9b-13

まず、パウロは私たちが聞いたことのないもの、見たことのないもの、思い浮かんだことのないものに繋がることができると述べています。しかし、次のようにも述べています。

いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかには、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにはだれも知りません。

-1コリント2:11

この聖句を詳しく見ていく前に、1テサロニケ5:23に書いてあることを知る必要があります。私たちは、霊、たましい、からだで成り立っています。

平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。

-1テサロニケ5:23

私たちの霊は、私たちの中にある神様の部分であり、私たちのたましいは、私たちの思いや感情で、私たちのからだは、私たちの肉体です。パウロは、私たちの霊とたましいは、とても親密な繋がりを持っているので、私たちの霊が私たちの思いを知っていると述べています。

その逆も言えます。私たちの思いは、私たちの霊の考えを知ることができるのです。パウロは、神の霊が神様の考えを知っているので、神

の霊を受けた私たちは、神様が私たちに与えようとしておられるものを知ることができるかと教えています。

ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。

-1コリント2:12-13

パウロは、この知識は神の霊によって示され、人の知恵に教えられた言葉ではなく御霊に教えられた言葉によって示されると言っています。パウロが御霊に教えられた言葉というとき、それは異言を指しているということが1コリント14:14-15を見てもわかります。

もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈るが、私の知性は実を結ばないのです。ではどうすればよいのでしょうか。私は霊において祈り、また知性においても祈りましょう。霊において賛美し、また知性においても賛美しましょう。

パウロが、“霊において祈り”と言ったのは、異言で祈ることを意味します。ですから、パウロが御霊に教えられた言葉と言ったのも異言で祈ることを指していると考えられます。

異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。

-1コリント14:2

パウロは、私たちが見たことのないもの、聞いたことのないものを指して“奥義”だと言っています。また、パウロはその奥義を神の霊ではなく、自分の霊で話すと言っています。私たちの知らないものが、どうして私たちの霊に入ってくるのでしょうか？それは簡単です！私たちの霊と一つになられた神の霊によってです。

いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにだれも知りません。

-1コリント2:11

聖霊のバプテスマは神様の秘密兵器です！神様は悪魔に知られることなくその方の御心を地上に繋げることができるからです。

私たちの霊が神様の考えを受け取るとき、私たちの思いもまたこれらの考えを受け取るのです。私たちの思いが神様の考えを受け取るとき、私たちはそれを“啓示”や、“教え”として受け取ります。パウロが、誰よりも多くの異言を語ることを感謝していると言った理由がわかります。彼は、全ての状況の中で神様の御心を知るという特権を得ていたからです。

パウロは、1コリント2：15-16でこのように述べています。

御霊を受けている人は、すべてのことをわきまえますが、自分は何れによってもわきまられません。いったい、「だれが主のみこころを知り、主を導くことができたか。」ところが、私たちには、キリストの心があるのです。

私たちは、人間の限界に縛られているのではなく、神様の助けによって全てのことをさばくことができます。これは素晴らしいことです！私たちが霊の中で祈ることで私たちが知らない奥義を受け取り、その知識によって、私たちは全ての状況の中で正しいさばきと選択をすることができます！

聖霊のバプテスマは神様の秘密兵器です！神様は悪魔に知られることなくその方の御心を地上に繋げることができるからです。霊の中で祈ることが私たちの霊的な武器のうちの一つであるとエペソ6：18aに書いてあります。

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。

霊の中で祈ることによって、私たちは敵と戦うための戦略を受け取ることができるのです。

キリストの心を持つことで、私たちは人生であらゆる正しい選択をすることができます。きっと今、あなたもこれを発見して喜んでいてと思います！私がそうだったように！

例えば、私は事業のことで大きな決断をしなくてはならないことがありました。ある販売業者の代理人として働いていた営業担当者は、私が新しい会社についていかないので、私の会社を裁判にかけると脅してきました。彼は、私がこれまで一緒に仕事をしてきた販売業者を離れたとき、私もそこを離れて彼と一緒に仕事を続けることを願っていました。私は、彼のことを気に入っていましたが、それは彼の仕事の面であって彼の品性ではないことに気づきました。彼が新しい会社についていくとき、その会社は私たちの会社の社員もみな連れていこうとしていました。

私がその新しい会社についていくことには何の問題もありませんでしたが、彼の強制的なやり方に従うのは気が引けました。これまで彼が働いていた会社は、私によくしてくれたからです。

数ヶ月前、彼が新しい会社に移ることを私に伝えながら、私にも一緒に行かないかと誘ったとき、私は何も考えずに一緒に行くことと答えたので、彼は今私を裁判にかけると脅しているのです。彼は、私がいつ移るのかを今か今かと待っていたと言います。しかし、彼が新しい会社に移る日が近づいても、私には平安がありませんでした。そこで、私は数日間、霊の中で祈りました。しかし、私は必要な答えを受けることができませんでした。

ドレンダと私は、家から数時間離れた場所にあるシダー・ポイントと呼ばれる遊園地に、よく子どもたちを連れて行きました。アメリカで一番大きなジェットコースターがある遊園地で、私たちは年に数回訪れていました。その日は金曜日で、私は次の月曜日までに決断を下さなくてはなりません。私は、この悩みからいったん離れるために、ドレンダを連れてその遊園地に行くことにしました。私は月曜日までに決めなくてはならないことを考えずに乗り物の列に並んでいると、突然、私がどうすればいいのかわかりました。その答えは明白でした。聖霊様は私に、今の会社にとどまることを示されました。彼の移った新しい会社は、数ヶ月後に倒産してしまいました。

成功するための鍵は、祈りです！霊の中で祈ることは、あなたが正しい選択をするように助け、勝利するための奥義を与えてくれます。

“絶えず祈りなさい”(1テサロニケ5:17)

第7章

宝箱

ダンに初めて会った日のことを覚えています。彼は、私たちの教会の一番後ろの席に、私のいとこジェニファーと一緒に座っていました。後になってわかったことですが、彼らは交際していました。しかし、ダンの表情からもわかるように、彼は内心複雑でした。居心地が悪そうでした。後から聞きましたが、私たちの教会は彼が通っている教会と違う雰囲気だったのです。しかし、彼は御国について学び始めると落ち着き、最終的に私のいとこと結婚しました。

その頃、ダンはおハイオ州で農業を営んでいましたが、うまくいきませんでした。思うように収入も得ることができず、彼は悩んでいました。しかし、御国について学び、聖霊様の助けについて学んだとき、彼はジェニファーのもとに来て、“献金を二倍に増やしたい”と言ったそうです。ジェニファーは驚きましたが、喜びました。そこで、彼らはそのようにしました。

その年、彼らの農場の収量は前年比128%増でした。彼らは、現金で新車を購入し、別の農場も購入することができ、翌年の収量を増やすことに繋がりました。ダンはとても喜びました！彼の父は、10年かけてその農場を払い終えるだろうと言いましたが、彼はすでに現金で払ってしまったのです。そこで、私はダンからその話を詳しく聞くことにしました。

ダンとジェニファーが献金を2倍に増やして捧げ始めたとき、彼らは神様に助けを求めて祈ったそうです。ある日、いつものように郵便物の中から大事な書類と、そうでないものを分けて、ゴミ箱に捨てたとき、なぜかゴミ箱に捨てたチラシをもう一度拾い上げてよく見ました。そこには農業で使う工具についての説明会の日程が書いてありました。

ダンはその説明会に行く必要があると感じ、そこで行って実際に工具を購入しました。その工具は、植える作業、種蒔きの作業、土壌を耕す作業を行なう新製品でした。ダンはその工具がどのくらい素晴らしいものであるかを私に説明してくれましたが、途中から私はついていけなくなりました。しかし、それで良かったのです。なぜなら、ダンはオハイオ州でその工具を買ったたった二人のうちの一人だったからです。その説明の難しい工具のおかげで、収量を128%増やすことができました。ダンはさらに農場を増やし、今、彼は多くの農場の収量を増やしています。彼には今、聖霊様がどのように彼を助けて下さったのかについての証がたくさんあります。

ダンはどうやって収穫のない土地を実り豊かな土地に変えることができたのでしょうか？それは、彼が助け主聖霊様の助言に従ったからです。悲しいことに、多くのクリスチャンはこの話を聞いても、どうやってこの結果に繋がったのかを知らないで、私はこの本を書く必要性を感じました。ほとんどのクリスチャンは、神様の素晴らしさをほめたたえ、神様のみわざをほめたたえますが、どのようにしてこの結果を手に入れるのかはわかりません。そして、結局彼らは問題に直面すると、神様に文句を言います。“神様はどこにいるのですか？なぜ助けて下さらないのですか？”と、人々が私にいつも聞くことです。

私はあなたが、御国は神様のひいきによるものではなく、法則によるものであることを悟ったと信じています。神様が祝福されたい人とそうでない人を選ばれるわけではありません。あなたよりもダンが優れているわけではありません。あなたにもダンと同じ法的権利があるのです。誰でも蒔いたら刈り取るのと同じように、御国の法則も使う人には適用されるのです。あなたも御国の国民であり、神様が持っておられるものを自分のものにすることができます。

なぜ、多くの神の人が人生で倒れてしまうのかを話しましょう。彼らは神の御国の法則を知らないのので、聖霊様の御声を聞くこともできないのです。

あなたを贖う主、イスラエルの聖なる方はこう仰せられる。「わたしは、あなたの神、主である。わたしは、あなたに益になることを教え、あなたの歩むべき道にあなたを導く。」

-イザヤ48:17

ダンの成功は、ダンが考えたことではありませんでした。ダンが御国の法則を適用すると決め、彼と妻が聖霊様の御声に耳を傾けたと

き、聖霊様によって与えられた戦略によるものでした。これを紙に書いて下さい。

聖霊様は計画を持っておられます！

計画を持つこと以上に力強いことはありません。
計画なしには、夢はただの夢ですが、計画があれば、
夢は実現するのです。

ある家族が、いくつもの寝室があり、広いリビングがあり、大きなキッチンがあり、美しい家具のある素晴らしい家を夢見ているとしましょう。

しかし、それはただの夢です。夢を現実にするためには計画を立てなければなりません。その計画が実行される時、その家は夢にとどまることなく、形として建てられるのです。なぜか、ほとんどのクリスチャンは私が郵便ポスト精神と呼んでいる考え方を持っています。ダンがしたように、彼らが自分に必要なお金のために祈り求めるとき、突然郵便ポストにお金が入っているとか、他の人を通してお金が渡されるといったことを想像します。お金を受け取る過程を知りません。

はい、まずは夢を見ること、これは良いです。しかし、その夢を自分のものにして楽しむためには、それを手に入れなくてはなりません。そのためには計画や戦略が必要なのです。わかりやすく説明しましょう。もし私があなたに、今すぐあなたの経済的な問題を解決するための方法を教えるからペンと紙を用意して下さいと言ったら、あなたはその答えを書くためにペンと紙を用意すると思います。この方法であなたの借金は今年中に完済することができると言ったとします。今、あなたのペンを握っている手に力が入り、私がこれから教える方法を聞き逃さないように集中するでしょう。

答えはとてもシンプルです、と私が言います。今年の収入を10億円にして下さい。あなたの手が止まり、私を見て苦笑いするでしょう。私はあなたの苦笑いを見て、“ああ、10億円は足りませんか。それなら25億円にして下さい”と言います。その瞬間、あなたの苦笑いは大笑いになります。なぜでしょうか？何が起きたのかを説明します。ほとんどの人は10億円あれば借金を完済することができますが、彼らの苦笑いの理由は、今年の収入を10億円にすることが不可能だと思っているからです。25億円に対する大笑いは、あまりにも無理な話なので、ただ面白い話として聞こえてしまうのです。

しかし、私が輸出会社を経営しているとして、箱にボールを詰めて輸出するのですが、あなたがボール一つを箱に入れるたびに10万円を受け取るとします。あなたは毎日500箱ほど詰めることができ、12ヶ月間の契約を結んでいるとしましょう。ありえない話ではありますが、私の要点がわかりやすい話です。

この契約の話があなたにされた後に、先ほどの私の今年の収入を10億円にして下さいという話を聞いたら、あなたはどう反応するでしょうか？苦笑いはしないと思います。きっと喜びの声をあげながら興奮するでしょう。なぜでしょうか？その契約で10億円を稼ぐことは簡単だからです。

**もう一度言います。
もう一度聞いて下さい。
神様はあなたの
計画を持っておられます！**

25億円稼ぐことも、あるいは100億円稼ぐことも可能かも知れません。何が変わったのでしょうか？たった一つのことです。あなたに計画があるということです。イエス様に魚の居場所を教わった人は、誰でも魚をとることができるのと同じです。解決することができる計画を持つとき、その問題はすでに解決されたのです。

“わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。主の御告げ。それはわざわざではなく、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ”(エレミヤ29:11)

もう一度言います。もう一度聞いて下さい。神様はあなたの計画を持っておられます！

数ヶ月前、ある集会の終わりに一人の女性が私のところに来ました。私に質問があって来ました。“私はヘラジカを狩るために夫と合意して種を蒔きましたが、意味がありませんでした！ヘラジカを狩ることができませんでした”と言いました。彼女は、雄のヘラジカを狩るために具体的に種を蒔いたと話しました。私は彼女にいくつかの質問をした後、その日、ヘラジカを見たか尋ねました。彼女は、“はい、私が求めていた、完璧な位置に立っているヘラジカを目撃しました”と答えました。

正直、私は少しショックを受けたので、この後どうなったのか気になりました。彼女はライフルをかまえている時に友人にヘラジカを見てほしいと頼み、彼女自身はヘラジカの位置を確認せず、ライフルを撃ったところ、はずしてしまったと言いました。それを聞いて、彼女は気づかなかったことですが、私にとっては理由が明白でした。

多くのクリスチャンがこの状態にとどまっています。彼らは、収穫のために自分たちがしなくてはならない部分をせずに、ただ収穫を待っています。私は彼女に、神様は神様の部分をなされたけど、彼女が自分の部分を見逃してしまったことを伝えました。神様は計画を持っておられますが、その計画を成就するためには、あなたがやらなくてはならない部分があるのです。あなたと神様が一緒にやるのです！

天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。
人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜
びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。

-マタイ13:44

この聖句には、御国の真理が書いてあります！まず、宝の定義を見てみましょう。辞書によると、宝は何か重要で価値のある大切なものを指していることがわかります。よって、宝が金であるとは限りません。あなたにとって大切なものが宝になります。ですから、この聖句にあるように天の御国は宝のようなものだというのは、人生であなたに必要なものは全て御国の中にあるということと同じことです。

御国はどこにあるのでしょうか？この聖句でイエス様は、畑の中に隠されていると言われました。あなたはその畑がどこにあるのか気になりませんか？良い知らせは、イエス様が畑の場所を私たちに教えて下さり、宝が隠されている場所も教えて下さっているということです。

マルコ4章の種蒔く人のたとえで、イエス様が信仰は人の心でつくられることを教えられたのを見ることができます。イエス様は、人の霊と土地、御言葉と種を比べて教えられました。その例えとマタイ13章に書いてあることが同じだと言えます。第6章で学んだことをもう一度思い出して、私たちが生まれ変わったとき、私たちの霊は神の霊と一つになり、神様の考えに繋がるようになることを心に留めて下さい。ですから、畑に隠された宝の中に、神様にある全てのものが入っているということを知って下さい。

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにだれも知りません。ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。

-1コリント2:9-12

そして、1コリント2:16にキリストの心が出てきます！ルカ17:20-21でイエス様が言われたことを見てみましょう。

神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません・・・神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。

-ルカ17:20-21

あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。

-1コリント6:19-20

私の言いたいことをまとめます。

あなたの中に宝があります！

どのくらいあるのでしょうか？あなたの想像を超えるほどです！数えきれないくらいです！

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを超えて豊かに施すことのできる方に

-エペソ3:20

私の友よ、御国はすでにあなたのものです。神様はすでにあなたに与えられたものに何かを加えることができません。あなたはすでに全部を持っているのです！

私たちが知らなくてはならないことがあります。この宝は私たちの想像を超えるものです！私たちは助けを求めるとき、私たちの周りや外で助けを探そうとする傾向があります。しかし、私たちのうちにおられる聖霊様、神様ご自身が私たちの助けなのです。私たちはすでに異言で祈ることによって聖霊様から啓示を受けることを学びました。

しかし、実際には、多くの人が神様から本当に答えが受けられると心からは信じていないのです。

あなたが生まれ変わったとき、あなたは神の御国の国民になりました。神様は、あなたに必要なものを全て、すでに与えて下さいました。ルカ 12 : 32を見ると、私たちに御国が与えられているから恐れる必要がないと書いてあります。どの御国ですか？その方の御国です！

“小さな群れよ。恐れることはありません。あなたがたの父である神は、喜んであなたがたに御国をお与えになるからです。”(ルカ12:32)

私の友よ、御国はすでにあなたのものです。神様はすでにあなたに与えられたものに何かを加えることができません。あなたはすでに全部を持っているのです！多くの人が、彼らの人生に神様を介入させることを迷惑だと思っています。しかし、それは愚かな考えです。もしあなたがアメリカの国民でありながら、“うーん、よくわからない。私がここに店を開いてしまったら、誰かが来て、私がこの国の国民である特権を乱用しているとは言わないだろうか”と言って心配していることと同じです。国民なら、あなたにはすでにその国の特権を享受する権利が与えられているのです。全て、あなたのものです！躊躇しないで下さい。すでにあなたのものである特権を受け取って下さい！

なぜ神の御国は宝と比較されているのでしょうか？

なぜなら、あなたが天の知識に繋がる時、あなたは神様から与えられる独特な戦略をもって全ての状況に立ち向かうことができるからです。わかりやすく説明しましょう。

ドレンダと私が御国について学び始めたとき、私たちの人生は大きく変わりました。借金を全て返済するということは、新鮮な空気を胸いっぱい吸うことのように感じました。家を建てるための土地を現金で購入するというのも、夢のように感じましたが、私たちには実際に住む家が必要でした。

私たちは家を建てることに関する知識がなかったので、何から始めて良いのかわかりませんでした。しかし、その土地に‘どのように’家を建てるべきかを祈り始めました。私たちは聖霊様が助けて下さることを信じました。

借金のない状態で家を建てることに関していろいろと調べてみました。格安で家を建てる方法の一つとして、モジュール式の家がありました。モジュール式の家とは、1部屋単位で工場で生産されたものを現場に運んで組み立てる住宅建築法です。この方法は、一般的な家と同じようなものですが、工場で生産する分、低価格になります。そこで、私たちは2、3箇所のモジュール式の家を建てる会社を見て回り、モデルハウスも見ました。私たちは、モジュール式の家を建てるべきだと感じ、話を進めることにしました。ホームスクールの大会に招かれていた私は、大会が開かれたバージニア州から戻ったら家の契約書にサインをす

るつもりでした。契約するまで、私たちは細かいところまで調べて、本当に契約すべきかどうかを吟味することにしました。

どのような経緯でそうなったのかは覚えていませんが、バージニアでの大会の後、私たちはそこで知り合ったホームスクールをしている家族の家に滞在することになりました。彼らの家に到着し、その美しい家を見て、私たちは本当に素晴らしい家だということを伝えました。会話の中で、彼ら自身がその家を建てたということを知りました。私は驚いて、“建築家ですか？”と聞きました。彼らは、“いいえ”と答えました。その家族の父親は地元の大企業の会計士でした。私は、“どうやって自分で家を建てたのですか？”と尋ねました。

彼らは家を建てる過程について話し始め、私たちも家を建てること、バージニアから家に帰ったら契約書にサインをすることを伝えました。彼らは私たちの新しい家について詳しく聞きたいと言いました。私たちは御国について話し、御国がどのように私たちの人生を変えたのかを分かち合いました。土地を現金で購入し、古い家から引っ越すことを楽しみにしていると話しました。

私たちが家のデザインについて話していると、彼らは見てもいいかと聞いたので、持ち歩いてきた紙を出して彼らに見せました。テーブルに紙を広げて見せていると、彼の妻が、“この空間は狭すぎるわ”や、“キッチンがもう少し大きくないと”や、“子どもたちが大きくなってからのことも考えていますか？”あるいは“牧師なので、もう少しリラックスできる空間が必要ですね”と言い始めました。簡単に言うと、彼らはこの家を建てるべきではない理由を説明し、私たちも彼らの意見に同意したということです。“うーん、私たちのお金でどうやってもう少し大きな家を建てることができますか？”彼らは、“それは簡単です”と答えました。“あなたが建てれば良いのです！”それを聞いて私は笑いました。“私家が建てるですって？”私は家について何も知りません！しかし、彼らは私たちを励まし、それほど難しくないと言いました。彼らは私たちに、Save up to \$50,000 or more as your own General Contractor: How to Plan, Subcontract and Build Your Dream House by Warren V. Jaegerの本を紹介してくれました。

私たちは家に帰り、モジュール式の家の契約書にサインをしないことにしました。私たちは紹介された本を注文して真剣に読みました。カスタム式の家についても考え始めました。ついに、私たちは気に入ったプランを見つけたので、一つ一つ計画を練り始めました。私たちの周りや友人で建築関係の仕事をしている人に話を聞きました。そして、私たちが家を建てることを決めました！

私たちは計画を練りながら、土地の大きさを見て、“私たちの予算でどのように家を建てようか？”と悩みましたが、信じられないことに、絵もよく描けない私が、すらすらと家の設計図を描いているではありませんか。私の友人が設計図の書き方を教えてくれました。

私は事業で忙しかったので、ドレンダが下請け業者と一緒に働くことになりました。私たちは家の骨組みを作る業者を手配し、あとは私た

ちがやらなくてはなりませんでした。それからの日々は、私たちにとって緊張感もあり楽しくもある毎日でした。長い話を省略すると、私たちはモジュール式の家よりも、2倍ほど広く土地を使って家を建てることができました。頑丈な木材の扉、頑丈な木材の床、そしてステンレススチールでできた家電製品が置かれた美しいキッチンができました。私たちは、自分で家を建てることで2,000万円ほどお金を節約することができました！

私は、聖霊様に助けを求めたことを嬉しく思っています。結果は、私たちが夢見ていたものよりもさらに素晴らしいものでした。私は今も、あのときバージニアであの家族に出会わせて下さった神様に感謝しています。あのときのことになかったら、私たちはそのままモジュール式の家を建てていたことでしょう。モジュール式の家が悪いと言っているのではなく、子どもたちの成長と共にすぐに家が小さくなっていったということです。私たちが家を建てた話は、聖霊様がどのようにして私たちの全ての状況の中で助けて下さるのかを証するときに、今でも用いています！

**私はいつも神様の奥義はあなたから隠れているのではなく、あなたのために隠されていると言っています！
悪魔は暗闇の中にいるので、神様の計画を知ることができません。**

だから、もう一度言わせて下さい・・・

神様はあなたの計画を持っておられます！

しかし、あなたは、“ゲイリー、それは良いけど、マタイ13：44にはその計画は隠されていると書いてあるよ！”と言うかも知れません。はい、それはあなたのためなのです。マタイ13：10-11でイエス様が言われたことを見ましましょう。

すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに言った。「なぜ、彼らにたとえでお話しになったのですか。」イエスは答えて言われた。「あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていません。」

-マタイ13:10-11

この奥義はあなたのためのものであって、悪魔や神様の計画を邪魔する人たちのためものではありません。聖書には、悪魔が神様の計画を知っていたなら、戦略を変えていただろうと書いてあります。

私たちの語るのは、隠された奥義としての神の知恵であって、それは、神が、私たちの栄光のために、世界の始まる前から、あらかじめ定められたものです。この知恵を、この世の支配者たちは、だれひとりとして悟りませんでした。もし悟っていたら、栄光の主を十字架につけはしなかつたでしょう。

-1コリント2:7-8

私はいつも神様の奥義はあなたから隠れているのではなく、あなたのために隠されていると言っています！悪魔は暗闇の中にいるので、神様の計画を知ることができません。悪魔は、神様のなさるみわざに反応することしかできないのです。悪魔が神様の計画に気づいたときには、もう遅いのです！ですから、今後あなたが何かを決断するとき、神様からの答えを切実に待ち続け、心細いときも、神様は決して遅れないということを中心に留めて信仰で前進して下さい。

天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。

-マタイ13:44

私たちは畑が何であるか、どこにあるのかについて学びました。また、霊の中で祈ることによって神の御国に隠されたことを聖霊様の御声を通して聞くことができることも学びました。しかし、この聖句の中であなたが知らなくてはならないもう一つの重要な点があることに気づいて下さい。これを知らなくては、あなたのために用意されている全ての良いものや素晴らしい計画を台無しにしてしまうかも知れません。この聖句は、人はその宝を見つけると、それを隠しておくと言っています。その人はすぐに行動に移しません！その人は、聖霊様から御声を聞いたと言って、すぐに友人や周りの人に言い広めません。聖書は、その人はそれを隠しておいて、持ち物を全部売り払ってからその畑を買うと言っています。簡単に言うと、彼は自分がその畑を買うまで、誰にも畑の場所を教えたくないのです。畑を買った後は、誰かに盗まれる心配がなくなります。

聖書を通してわかることは、彼がその畑を見つけたときはまだそれを買うことができなかつたので、その畑を買うための過程を通らなくてはならなかつたことです。この過程は何かを買うためのお金を用意するというだけではありません。これは、聖霊様が私たちに何かを示されたとき、成功したいのであれば、私たちがどのように反応し行動すべきなのかを教えてください。

この聖句は、私たちが聖霊様から道を示されたとき、まだあなたに

行動する能力がないなら、動かずに待つことを教えています。お金で考えるのとわかりやすいです。もし、あなたに畑を買うお金がなかったら、その畑に隠された宝のことを誰にも言わないでしょう。

もし宝があることが言い広まったら、あなたよりも先に誰かが買ってしまいます。宝が隠されているという事実は心の中にしまって、あなたはその畑を買うために必要なお金をどうにかして用意するはずです。

神様があなたに与えられる啓示もこれと同じことです。多くの場合、クリスチャンはこれを見逃してしまいます。多くの場合、聖霊様が私たちに示される理由は、すぐに行動に移すためではなく、その啓示を実行するために準備させるためなのです。私は、この準備期間こそ、最も重要な過程だと思っています。スポーツも、試合での勝敗は、誰も見ていない日頃の練習の積み重ねの結果であると信じています。しかし、練習はつまらないものです。反対に、試合は選手も観客も盛り上がり、勝利を得たときの興奮は素晴らしいものです。

残念ながら、練習という準備期間がないと、結果は悲惨なものになります。私は、非常に多くの人がこの原則を知らずに人生を無駄にしているのを見てきました。私は、神様から召されて油注がれて、教会を開拓したけれども、彼らは精神的にも経済的にも何の準備もしていなかったもので、夢を成就させるところか災いに会い教会がめちゃくちゃになってしまった人を何人も見てきました。私は、神様から事業のアイデアを示され、何の準備もせず成功を夢見て突然事業を始めて、すぐに倒産してしまった人を何人も見てきました。このような話の悲しい部分は、神様が非難される対象となり、彼らは神様との関係に疑いを持つようになることです。なぜ多くの方が成功が1日のうちにやってくると思っているのか、私にはわかりません。この聖句に書いてあるシンプルな教えを学ぶ必要があると感じています。

人々が私にやって来て言います。“先生、神様がこの教会こそ私の教会だと言われました。”彼らは次の週にはいません。“先生、神様がこの事業を始めるように言われました。”そのあと私の耳に聞こえて来るのは、彼らの家が競売に出された、警察が彼らの車を奪還しに来た、といったことです。これは神様があなたに与えられたものではありません。

私たちが聖霊様から啓示を受けるとき、それは今すぐやりなさいという意味ではありません。ほとんどの場合、私たちはその啓示を受けて隠しておき、行動に移す準備に入ります。与えられたビジョンや成功をすぐに手に入れる能力のある人はあまりいません。準備期間は数週間、あるいは数年になることもあります。あなたは、この準備期間も啓示そのものと同じくらい重要であることを悟らなくてはなりません！

私の場合、19歳のときに福音を伝えるために召されました。私は主が、“御言葉を伝えるためにあなたを召した”と言われるビジョンを三度も見ました。その幻はとて素晴らしく力強いものでした。しかし、主はすぐに行って福音を伝えるようには言われませんでした。その代わりに、主は私が大学に進学するように待って下さったのです。私の学生時代の成績は悪く、私は人前で話すことが苦手でした。見えてきましたか？私は、人を牧することができる牧師とは程遠い姿だったのです！私は大学に進学し、本当に大変でしたが、最後まで耐えて4年制大学を卒業することができました。

大学を卒業したとき、私はそろそろ福音を伝え始めるのかと期待しました。しかし、主は私に保険会社に勤務する道を開かれました。私

にはそれが理解できませんでしたが、主の御声であることは確かだったので、私は主に従いました。その仕事は大学よりも大変でした。私は毎日、冷たくあしらう人々に電話をかけ続け、人に対する恐怖心を乗り越えなくてはなりませんでした。手数料で生きていくのは大変で、正直毎日辞めたいと思いましたが、辞めることはできませんでした。数年後、私は自分の仕事をうまくこなせるようになっていました。

その後、ドレンダと私は5,000とある事務所の中で、最も成功した事務所を設立することができました。

そのとき、ようやく神様は私に教会を開拓するように言われたのです。私は40歳でした。神様が19歳の私にビジョンを与えられてから21年後のことでした。私は牧会を始めてみて、なぜあれほどの準備期間が必要だったのかがわかりました。牧会は私が想像していた以上に大変でした。しかし、私の人々からの拒絶を乗り越えてきた訓練期間があったので、逆境の中でも私は神様の召しに忠実になることができたのです。全てのビジョンの準備期間が21年間とは限りませんが、準備期間の原則はどのビジョンに対しても同じだと言えます。

この原則をもとに、私はマタイ13:44をこのように告白したいと思います。

あなたのうちにある天の御国は、神様の中に隠された知識と奥義をあなたに示します。その知識はあなたのうちにおられる神の霊によって与えられます。人は宝を見つけて、その宝が自分の答えだとわかると、それを自分の心と思いの中に隠しておきます。そして、大喜びでその宝を自分のものにするための準備に取り掛かります。

第8章

昇進の難しさ

私の友人ピーターと彼の妻ベブはニュージーランドで牧会をしていますが、私に会いにアメリカに来ることになりました。ちょうどクリスマスの時期だったので、彼らはブロードモアホテルに滞在しながら数日間コロラドのクリスマスを楽しむ予定でした。ブロードモアはアメリカで最も高級なリゾートのうちの一つで、ロッキーマウンテンが見える位置にあり、クリスマスの飾りが有名なホテルです。ピーター牧師は私に電話をかけ、彼らがそこに滞在している期間中、私たちも一緒にどうかと提案してくれました。私たちはすぐに駆けつけ、夢のような三日間を共に過ごしました。

私とピーター牧師は集まると、ほとんどの時間をミニストリーや牧会の話をして過ごします。そのときもそうでした。私たちは新年を迎える前に、意気込みや計画について話し合いました。彼らとの別れは毎回悲しいですが、別れの時間はやって来ました。ドレンダと私は毎年ニュージーランドにいる彼らのもとを訪れたり、少なくとも二年に一度は訪れたりしていましたが、その年はあまりにも忙しくて会いに行けませんでした。

彼らと有意義な時間を過ごしたこともあり、私は新年を迎えるときワクワクしていました。不思議なことに、1月9日、私は夢の中でピーター牧師が2月に開催する集会の講師として招かれました。私にとっては現実的ではないと感じられたのが、この前彼と三日間共に過ごしたばかりで、そのときに彼から何も言われていなかったし、2月はもう目の前に来ていたからです。

私が朝食のためにキッチンに向かったとき、ドレンダに夢の話をしました。

私のコンピューターはキッチンのテーブルの上に置いてあり、常時

つけっぱなしにしています。私が座ってコーヒーを飲みながら画面を見ると、ピーター牧師からメールが来ていることに気づきました。メールを開いてみると、ピーター牧師が3週間後に行なわれる集会での講師として私を招いている内容だったので驚きました。もちろん驚きましたが、夢で見ていたので衝撃は受けませんでした。私は翌月も別の場所に行く予定があったので、私の手帳を見ながらニュージーランドに行けるかどうかを確かめました。オークランドに行く前に、ドレンダと私はすでにアルゼンチンのブエノスアイレスに行く予定を立てていました。オークランドの集会に間に合わせるためには、ブエノスアイレスでの集会の後、そのままオーストラリアのシドニーに飛び、そこからオークランドに直接行く方法だけでした。私は一度もそのようなスケジュールをこなしたことがありませんでしたが、主が言われたことなので、オークランドに行くべきだと感じました。

アルゼンチンへの旅は、私たちの会社が共に仕事をしている会社との共同遠出でした。一年に一度会うかどうかの友人たちと会って近況を伝え合う、良い時間でした。そのときのアルゼンチンは経済的に深刻な問題を抱えていたので、旅の途中でも何度かトラブルがありました。それでも素晴らしい時間でした。そこからシドニーまでは飛行時間だけで16時間だったので、私にとっては最も長い飛行時間でした。南極点の上を通るといっているので、私は空の上からそれを見ることができるといことを楽しみにしていました。

飛行機の中で、私はただ窓の外の氷と雪を眺めながら、ふとアルゼンチンが経済的に問題を抱えているなら、このアルゼンチン航空会社も打撃を受けているに違いないと思いました。

もしこの飛行機が燃料を節約するために本来のルートではなく危険なルートの近道を通って墜落でもしたら、とても良い光景だとは言えなくなるという思いが来ましたが、私は神様の御手の中で安全だと確信しました。

シドニーに着いて私たちがピーター牧師とベブに連絡をしたところ、ピーター牧師は心臓発作で病院にいと聞いて、ショックを受けました。彼は入院中なので集会の講義を受けもつことができなくなり、私に全ての講義を任せてもよいかと尋ねました。私はその瞬間、私たちの全ての歩みを知っておられる聖霊様が、なぜ私をニュージーランドに遣わされたのかを知って、主を畏れました。ローマ8：14を読みましょう。

“神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです”

-ローマ8：14

“神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです”
(ローマ8：14)

私たちは、聖霊様から導きとアイデアを聞くことについて話しています。私はどのように聖霊様の御声を聞くかについての学びをする上で、ダニエル

の話よりも優れた話はないと思っています。ダニエル2：1-6を見ていきましょう。

ネブカデネザルの治世の第二年に、ネブカデネザルは、幾つかの夢を見、そのために心が騒ぎ、眠れなかった。そこで王は、呪法師、呪文師、呪術師、カルデヤ人を呼び寄せて、王のためにその夢を解き明かすように命じた。彼らが来て王の前に立つと、王は彼らに言った。「私は夢を見たが、その夢を解きたくて私の心は騒いでいる。」

カルデヤ人たちは王に告げて言った。-アラム語で。-「王よ。永遠に生きられますように。どうぞその夢をしもべたちにお話してください。そうすれば、私たちはその解き明かしをいたしましょう。」

王は答えてカルデヤ人たちに言った。「私の言うことにまちがいはない。もし、あなたがたがその夢とその解き明かしとを私に知らせることができなければ、あなたがたの手足を切り離させ、あなたがたの家を滅ぼしてごみの山とさせる。しかし、もし夢と解き明かしとを知らせたら、贈り物と報酬と大きな光栄とを私から受けよう。だから、夢と解き明かしとを私に知らせよ。」

-ダニエル2:1-6

カルデヤ人たちは王の前に答えて言った。「この地上には、王の言われることを示すことのできる者はひとりもいません。どんな偉大な権力のある王でも、このようなことを呪法師や呪文師、あるいはカルデヤ人に尋ねたことはかつてありません。王のお尋ねになることは、むずかしいことです。肉なる者とその住まいを共にされない神々以外には、それを王の前に示すことのできる者はいません。」

王は怒り、大いにたけり狂い、バビロンの知者をすべて滅ぼせと命じた。この命令が発せられたので、知者たちは殺されることになった。また人々はダニエルとその同僚をも捜して殺そうとした。

-ダニエル2:10-13

それから、ダニエルは自分の家に帰り、彼の同僚のハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤにこのことを知らせた。彼らはこの秘密について、天の神のあわれみを請い、ダニエルとその同僚が他のバビロンの知者たちとともに滅ぼされることのないようにと願った。

そのとき、夜の幻のうちにこの秘密がダニエルに啓示されたので、ダニエルは天の神をほめたたえた。ダニエルはこう言った。「神の御名はとこしえからとこしえまでほむべきかな。知恵と力は神のもの。神は季節と時を変え、王を廃し、王を立て、知者には知恵を、理性のある者には知識を授けられる。神は、深くて測り知れないことも、隠されていることもあらわし、暗黒にあるものを知り、ご自身に光を宿す。

-ダニエル2:17-22

ダニエルは今、生と死の間にあります。しかし、ここが昇進への鍵となります。神様はこの危機を、彼が倒れるのではなく昇進する機会として用いられました。ダニエルは聖霊様の秘密の知識によって、ネブカデネザル王に夢の解き明かしをすることができました。次の聖句にあるように、王は喜びました。

それで、ネブカデネザル王はひれ伏してダニエルに礼をし、彼に、穀物のささげ物となだめのかおりとをささげるように命じた。王はダニエルに答えて言った。「あなたがこの秘密をあらわすことができたからには、まことにあなたの神は、神々の神、王たちの主、また秘密をあらわす方だ。」そこで王は、ダニエルを高い位につけ、彼に多くのすばらしい贈り物を与えて、彼にバビロン全州を治めさせ、また、バビロンのすべての知者たちをつかさどる長官とした。王は、ダニエルの願いによって、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに、バビロン州の事務をつかさどらせた。しかしダニエルは王の宮廷にとどまった。

-ダニエル2:46-49

神様の御声を聞くことができたダニエルはどうなりましたか？

昇進と富を手に入れました！

私たちは、ヨセフの話の中でもこれと同じ結果を見ることができます。似たような状況の中で、ヨセフはパロの夢の解き明かしをします。パロの夢を解き明かしただけでなく、エジプトを襲うききんから守られる計画を提示したことで、パロがどのような反応を示したのかを創世記 41 : 39-40 で見てみましょう。

パロはヨセフに言った。「神がこれらすべてのことをあなたに知らされたのであれば、あなたのように、さとくて知恵のある者はほかにいない。あなたは私の家を治めてくれ。私の民はみな、あなたの命令に従おう。私があるにまさっているのは王位だけだ。」

-創世記41:39-40

どちらの状況も、最初は絶望のように見えますが、結果は昇進と富でした。この世は、大きな問題を解決してくれる人に、大金を払うようになっています。聖霊様は、あなたを大きな問題の中に置かれることがあります！その時、状況を見て恐れなくて、主がダニエルとヨセフを助けられたように、あなたのことも助けると信じて主をほめたたえて下さい！私はいつも、神様が全ての栄光を受けられ、私は大金を受け取ると言っています！私はダニエルが、“神は隠されていることもあらわし、暗黒にあるものを知り、ご自身に光を宿す”と言われたところが好きです。ご自身に光を宿すと書いてあります。それは、暗闇の中を歩いていて、あなたが電気をつけると前がはっきり見えるようになるのと同じです！恐れは光によって取り去られ、あなたは自分がどこに向かっているのかわかります。パウロも、神様が私たちを助けて下さることについて次のように述べています。

“ご承知のように、あなたがたが異教徒であったときには、どう導かれたとしても、引かれて行った所は、ものを言わない偶像の所でした”

(1コリント12:2)

パウロは、偶像は話さないが神様は話されると言っているのです！

あなたは、なぜ私がこの章を“昇進の難しさ”と名付けたのか気になっているかも知れません。なぜなら、難しさの中で聖霊様は答えを持っておられるからです。あなたに問題解決の鍵を渡す状況が、難しさの中だからです。難しさこそ、あなたの昇進に繋がる場所です！残念な

がら、多くのクリスチャンがこの難しさの中で次に進むことを諦めてしまいます。多くの人々が、難しさに直面すると、神様を見失ってしまったと勘違いします。

テレビの働きを始めた頃、毎月の支払いは100万円ほどでした。私は月に100万円の支払いも大きいと思っていましたが、その後200万円、そして500万円以上にまで膨れ上がりました。ある日、私たちが祈っていると、娘のエイミーが預言の賜物によって語り始めました。

“あなたにとって収穫があまりにも大きすぎる。わたしはあなたを訓練させる。ただわたしの霊によって、収穫を見ることができるところを、あなたは知るようになる！あなたは、わたしがあなたを導き、不可能なことを可能にするところを見たいと願うか？”

神様はそのとき私に何をを見せて下さったのでしょうか？昇進です！私は神様が私に選択肢を与えて下さったことを感謝しています。神様は、私の願いを聞かれました。私の意志を見られたのです。もし私が‘いいえ’と答えたなら、別の人の所に行かれたと思います。しかし、昇進を前にしてどうして‘いいえ’と答えるのでしょうか？

そこで私は、“はい、主よ。私は願います”と答えました。数週間後、デイスターネットワークから連絡があり、それまで週に一度の番組を持っていた私たちに、週に数日の番組を持たないかと提案してきました。もし私たちだけで週に数日の番組を持つようになったら、毎月の支払いが2,000万円になってしまいます。

しかし、あの預言的な言葉と聖霊様が私の助けとなられることを信じて、私は‘はい’という答えを出しました。人々が私の番組に興味を持ち始めるまでの数ヶ月間は、私が経済的負担を担うようになることを皆に心配されました。その心配は現実になり、私は5ヶ月間で5,000万円の負担を担うことになりました。テレビ局のスタッフから連絡があり、弁護士が私の支払いが遅れていることに不安を抱いているということを知りました。

私はこのことについて真剣に神様に尋ねました。私たちの番組の名前は、“Fixing the Money Thing!”でした。私は落胆しながらドレンダのもとに行き、テレビの働きを辞めることを考えていると話しました。しかし、彼女は、“神様は何と言われましたか？神様が支払って下さると言いましたよね？”と言いました。それから数日間、私が彼女と話すたびに聞こえてくる言葉はそれだけでした。私たちは祈り、何の答えも得ることができませんでしたが、私には神様の平安がありました。その週、私は小切手が積み上げられている夢を見ました。その夢の不思議なところは、積み上げられた小切手だけでなく、誰がその小切手を書いたのかを見ることができたことです。私が夢から覚めたとき、テレビの働きの支払いが済んでいるという確信がありました。その週末、いつもと変わらない週末に、5,000万円の小切手が入ってきました。夢の中で見た名前が小切手に書かれていました。

難しさは悪いことではありません！私の友よ、それこそ昇進のときです。人々が難しさを恐れている理由は、その中で失敗を恐れているから

です。しかし、あなたが聖霊様に耳を傾けるなら、その方が失敗の前に警告を与えて下さいます。

数年前、私が不動産会社を経営していたとき、私の顧客は自分の資本を、私がいまだに良く思っていない会社に投資しようとしたことがありました。私が事務所の階段を上がっているとき、従業員からその話を聞きました。突然、聖霊様は私にこの状況でどうすべきかを示して下さいました。

私は従業員に、“取引はできるが、ローン・パッケージの一部となる書面に、私たちは投資会社の一員ではなく、顧客の要望に応じて融資を行なっているだけであることを明記して、顧客に署名してもらう必要がある”と伝えました。私たちは、その顧客の投資や投資会社に関する責任は一切負わないということで取引をしました。

6ヶ月後、すべてが飛びました。投資会社は顧客のお金を全部失ってしまいました。顧客は投資会社と私の会社を相手に訴訟を起こしました。しかし、弁護士が顧客と私の従業員の取引内容を確認すると、私たちは訴訟を免れることになったのです。

それは、あの日、事務所の階段を上っている私に示された聖霊様からのアイデアでした。

あなたはあらゆる状況において聖霊様の導きと助けを信頼することができます。イエス様が言われたように、“恐れることはありません”。

私はこの話を別の本の中でも分かち合っていますが、ここでも必要だと感じています。ある日、私たちの家族は週末の三日間の旅行に出かけようとしていました。家族は車に乗り込み、私がエンジンをかけようとしたとき、突然聖霊様が私の車を動かすように言われました。私たちが乗っていたバンとは別に、私の車が前に停めてありました。聖霊様は、その車を芝生の上に移すように言われました。変な気持ちでした。私は、“なぜ車道に停まっている私の車を芝生の上に移すように聖霊様は言われたのだろうか？”と疑問に思いました。理解できませんでしたが、強い感動を覚えました！そこで、私はドレンダに今示されたことを伝え、車道に停めてあった私の車を芝生の上に移しました。私は日曜日の夕方に帰宅するまで、その理由を知りませんでした。私の車が停めてあった車道には、大きなカエデの木が倒れてあり、道路全体を塞いでいました。芝生の上に停められた私の車は何の被害も受けていませんでした。

もし車道に停めたままだったら、潰れていたことでしょう。

ドレンダと私は、もちろん全てのことをお金で解決するタイプではありません。しかし、私たちは秘密の戦略と秘密の知恵を聖霊様から受けて行動するタイプです。今、私は、“Fixing the Money Thing!”の番組を見ると微笑むことができます。全世界で多くの人に視聴されているからです。

私の友よ、これを心に留めて下さい。

あなたはあらゆる状況において聖霊様の導きと助けを信頼することができます。

“弱い者なのに強くされ、戦いの勇士となり、
他国の陣営を陥れました”(ヘブル11:34b)

あなたが答えを知っているとき、難しさや不可能は、もはや難しさと不可能ではなくなるのです！

第9章

かすかな、細い声

私が聖霊様の御声について教え始めたとき、あまりにも多くの人が一度も御声を聞いたことがないと私に言いました。しかし、私は、“聞いたことがあるはずですよ！”と伝えています。もしあなたも、一度も御声を聞いたことがないと感じているなら、1列王記19：11-12を開いて読んで下さい。

主は仰せられた。「外に出て、山の上で主の前に立て。」

すると、そのとき、主が通り過ぎられ、主の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風のあとに地震が起こったが、地震の中にも主はおられなかった。地震のあとに火があったが、火の中にも主はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。

-1列王記19:11-12

私は聖霊様の力強い御声を聞いたことがあります。ほとんどの場合、聖霊様の御声はかすかな細い声でした。この本の冒頭部分にもありましたが、神様の御声は、私たちの中に考えのようにしてやって来ます。

人混みの中でも、自分の子どもの声が聞こえるように、聖霊様を深く知れば知るほど、聖霊様の御声を聞き分けられるようになるのです。この章では、誰も考えもしない、私たちがいつも聞いている神様の御声について話したいと思います。

私がオーラル・ロバーツ大学に在籍していたとき、私の専攻は旧約聖書でした。私はそれまで聞いたことも学んだこともない情報を得ました。高校時代に勉強をする習慣が身につけていなかった私は、大学在籍中も課題を提出したり試験の準備をしたりすることを負担に感じていました。あるクラスの課題として、私は旧約聖書に関する主題を決めて論文を書くことになりました。しかし、論文は苦手でした。正直に話すと、大学一年生のときに初めて論文を提出して戻ってきた紙には大きな文字で不合格と書かれてあり、その横に、“あなたは本当に高校に通いましたか？”と書いてありました。私の英語と文法の成績があまりにも悪かったので、教授たちは私がどうやってORUに入学したのかと疑問に思うほどでした。私は英語の成績を上げるために助けが必要でした。

そういうわけで、私は論文の課題を恐れていました。自分の言葉で論文を書くべきですが、私は座っていても何も思いつかないので、情報源となる資料からある部分を抜き出して少しだけ言葉を変えてそのまま自分の論文に書き写しました。私は本当に論文の書き方を知らなかったのので、資料をそのまま書き写すことが悪いことだとも思いませんでした。

私の友人は私と同じクラスを受講していましたが、私とは時間帯が異なりました。そのクラスを受講している人は、みな同じ論文の課題が出されていたので、私は彼にどのように論文を書いたのかを見せてほしいと頼みました。

私が彼の論文を読んでいて感じたことは、彼の論文よりも良いものを書くことはできないので彼のをそのまま書き写そうということでした。はい、あなたが今驚いているのがわかります。その頃の私はクリスチャンになったばかりの赤ちゃんでした。私は彼の論文の全てではなく、半分くらいを自分の論文に書き写しました。その週、教授に論文を提出して、私は課題を提出し終えたことに安心しました。しかし、その後私は神様の御声を聞くための教訓を学ぶことになります。

その晩、私は横になっても眠ることができませんでした。私の意識があまりにもはっきりしていたので眠れませんでした。私のしたことは盗みと偽りであって悪いことであると悟りました。また、私は彼を尊重せず、尊敬もしていませんでした。私は惨めでした！午前3時に私は彼の部屋に行き、彼を起こして私がしたことを話して謝罪しました。彼は眠そうな目で私を見ながら、“早く寝ないと、ゲイリー。”と言って、再びベッドに横たわりました。

翌日、私は教授のもとに行き、自分のしたことを話しました。当然、私の課題は不合格をもらいましたが、教授は微笑みながらよく来てくれたと言ってくれました。教授は、私の課題は不合格だけれども、正直に話しに来たことで全体の成績はBを与えると喜んで下さいました。私は安心したと同時に、自分の中で聞こえた良心に耳を傾けて行動した

ことで、心も楽になりました。

あなたに質問します。“なぜ私の友人は、私が感情的になりながら謝罪している中で再び眠りについたのでしょうか？なぜ彼は私のように動揺していなかったのでしょうか？なぜ私は自分が惨めだと感じて眠ることができなかったのでしょうか？”私が眠ろうとするたびに、心の中の声が話しかけてきたからです。私の良心が呵責を覚えていたのです！良心の定義は、道徳的な善悪をわきまえ区別することです。良心には正しく行動しようとする心の働きがあります。

ろうそくのように、暗闇を照らして明るみに出します。良心は、これまでのあなたの考えと行動を完璧に記憶しています。法廷のように、あなたの中に隠されていたものについて証言します。あなたが正しく行動するように善悪を教えてくれるのです。良心は、各人の心に与えられた神様の声だと言えます。それは、自分の行動に責任を持たせます。法廷に立つように、神様の御前に立つことであります。証人が発言するように、良心も私たちの心に発言したり訴えたりします。

Medical Xpressは次のことを述べています。

“これまでの研究では、人間が生まれるとき‘道徳’の基準を持たずに生まれてくると言われてきましたが、最新の研究では、生後6ヶ月頃の赤ちゃんはすでに‘道徳’の基準を持っているという研究結果が出ています。”

それによって、私たちは、自分が真理に属する者であることを知り、そして、神の御前に心を安らかにされるのです。たとい自分の心が責めでもです。なぜなら、神は私たちの心よりも大きく、そして何もかもご存じだからです。愛する者たち。もし自分の心に責められなければ、大胆に神の御前に出ることができ、また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行なっているからです。

良心は、全ての人間の中にある神様の声で、私たちがどのように生きるべきなのかを創造主が教えて下さるものです。

-1ヨハネ3:19-22

良心は、全ての人間の中にある神様の声で、私たちがどのように生きるべきなのかを創造主が教えて下さるものです。

誰も良心から逃げることはできません。以前の私は、殺人犯や強盗犯が突然自首したという話を聞くと驚いていました。しかし、今は良心が彼らに罪悪感を与えたということがわかります！パウロは、2コリント1：12でこう言っています。

私たちがこの世の中で、特にあなたがたに対して、聖さと神から来る誠実さをもって、人間的な知恵によらず、神の恵みによって行動していることは、私たちの良心のあかしするところであって、これこそ私たちの誇りです。

-2コリント1:12

あなたは、“良心は何の権威をもってあかしするのですか？”と聞くかも知れません。神様の御声なので、そこには権威があるのです。パウロは、ローマ2：14-15でもこのように述べています。

律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じる行ないをするばあいは、律法を持たなくても、自分自身が自分に対する律法なのです。彼らはこのようにして、律法の命じる行ないが彼らの心に書かれていることを示しています。彼らの良心もいっしょになってあかしし、また、彼らの思いは互いに責め合ったり、また、弁明し合ったりしています。

-ローマ2:14-15

全ての人が良心を持っています。あなたは同意しないかも知れません。あなたの周りに感情を持たないように見える人がいるかも知れません。しかし、彼らの最初はそうではありませんでした。人が良心の声を拒み続けるなら、その声はどんどん小さくなっていくのです。

“それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており”(1テモテ4:2)

パウロは、この人たちの良心が麻痺していると言っています。あなたの肌を思い浮かべて下さい。もしあなたの肌が火傷を負ったら、古い皮膚が剥がれて新しい皮膚が再生するまで、あなたは何も感じる事ができません。これと同じことが良心にも言えるのです。良心はあなたに何かをさせることはできませんが、あなたに話しかけます。あなたはそれ

を無視することができます。しかし、パウロは私たちが良心を無視するとき、私たちは大きな問題に巻き込まれると警告しています。

私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言に従って、私はあなたにこの命令をゆだねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と正しい良心を保ち、勇敢に戦い抜くためです。ある人たちは、正しい良心を捨てて、信仰の破船に会いました。

-1テモテ1:18-19

良心の声に聞き従わない人たちは、人生を正しく生きる力を失うことになります。正しい判断をする能力が失われるのです。彼らは自分ごとに向かっているのかを知ることができません。パウロは正しい良心、聖い心が私たちが正しい道に導くことを教えています。私たちが善悪を正しく判断するためにも、パウロはこのように勧めています。

“ですから、ただ怒りが恐ろしいからだけでなく、良心のためにも、従うべきです”(ローマ13:5)

あなたが法に背くことをしたら、あなたの良心はあなたを責めます。だからパウロは、あなたの良心の声を聞いて法に従うなら、神様が計画されたことを成就することができ、あなたも危険から守られると教えているのです。

良心の話といえば、私が犯したまた別の愚かな話を思い出します。この話は私が牧会をする前のことです。この話を聞いたら、あなたはなぜ神様が私にもっと若い頃から牧会をさせなかったのかがわかるでしょう。話は車に関連することです。私はプジョー505を所有していて、気に入っていました。ある日のこと、ある男性によってこの車は傷つけられました。トランクは潰れて、車の形も歪み、事故によって車は大きな被害を受けました。その男性の保険会社の人が車の状態を確かめるために私の家にやって来ました。

話を先に進める前にあなたに知ってほしいことは、この事故が起きる数週間前にマフラーが取れていたということです。また、サンルーフのモーターも壊れていたのでトランクにしまっていました。保険会社の人が家に到着し、車を確認しているとき、車の横に置いてあるマフラー（彼に見せるために私がそこに置きました）もこの事故の影響で取れてしまったのかと聞きました。私は少し罪の意識を感じながらも、“はい、そうです”と答えました。それから、彼はトランクにあるサンルーフのモーターも今回の事故によるものかと尋ねたので、私は、“はい”と答えました。

私の霊の中で、私の良心が叫んでいるのを感じました。“ゲイリー、何をやっているんだ？あなたは嘘をついている！”ここから、私が自分自身をどのように欺いたのかを見て下さい。私はその声を無視し続けるなら、聞こえなくなるだろうと思っていたのを覚えています。今は、私が実際にそのように思っていたことが信じられません。その頃、私が教会を牧会していなかったことが感謝ではありませんか？少なくとも神様はそうだったと思います！

とにかく、私の車は修理に出され、一週間後、車を取りに来るようにとの連絡を受けました。

私は自分の車を見たとき、とても喜びました。完璧な姿だったからです！私はきれいに修理されたことを喜びながら運転して家に帰りました。一週間後、私はドレンダと子どもたちと昼食を共にするために家に戻りました。私の事務所と家は近かったので、昼食のために家に戻りました。私は家の前に車を停めて、家に入り、家族とすばらしい昼食の時間を持ちました。

私が家を出て車に戻ろうとしたとき、車がそこにはないことに気がつきました。私は混乱しました。私の車はどこに行ったのか？私が周りを見渡すと、車を発見することができました。私の家は丘の上にありましたが、ブレーキをかけるのを忘れていたのです。私は一度もブレーキをかけ忘れたことがありませんでしたが、その日は忘れていたようで、車は丘の下の方で木にぶつかって止まっていました。私が車に近づいたとき、衝撃的な光景が目の前に広がっていました。この前の事故で車が被害を受けたときと同じ光景だったからです。車は歪み、マフラーは落ちていて、サンルーフのモーターも壊れていました。この前の事故で車を修理に出す前の状態と完全に一致していました。

私はそこに立ち、全てを悟ったので笑いがこみ上げてきました。神様は、将来人々を牧会するこの青年に重要なことを教えようとされたのです。私はその車を修理に出しませんでした。その代わり、車の部品を売りました。私の人生で、あれほどまでに私の良心の叫び声が鮮明に聞こえた時がもう一度だけありました。私はそれを自転車の話と呼んでいます。

この話があなたの助けになることを願っています。あなたは私がそんなことをしたのかと驚いているかも知れません。私はただ、私のような人間が救われたことを感謝しています。

私がたった今話した車の話から数年後に、この自転車の話がありました。

そのとき私は、教会の牧会を始めたばかりでした。私は日曜日の午後に父の家から自分の家に戻ろうと、ダッジ・キャラバンに乗って二車線の道路に出ました。父の家はゆるやかな丘の下にありました。私はなぜか丘の上から降りてくる自転車を見ることができませんでした。私が車をバックしているときも私には自転車が見えていなかったのです。そのまま向きを変えて発進しようとしていました。

そのときまでも、私は自転車の存在に気がついていませんでした。

しかし、突然、“バン、バン、バン”という車を叩く大きな音が聞こえました。私がミラーで確認してみると、私の車の後ろに自転車に乗った男性が両手を上げながら大声で怒鳴っているのが見えました。私はこの男性が丘を下ってくる時に私の車がバックしているのを見たはずだから、スピードを下げた後ゆっくり下って来れば良かったのに、今こうして私に怒鳴っているのを見て、いい気持ちではありませんでした。

私は彼に対して苛立ちを覚えました。そして、誰かがこの男性に人生の苦みを味わわせてやるべきだと感じました。私は車を発進させ、その男性が自転車で私の車に近づくと急ブレーキをかけました。私はその男性が慌ててブレーキに手をかけている姿を見て、気分が晴れました。私の行動によって彼の怒りは頂点に達したので、私は一度も聞いたことのない呪いの言葉を聞くことになりました。

私の車はゆっくりと丘を下り、道路まで来ました。私がミラーで確認すると、自転車の男性は私の後ろについて来ていました。私が彼を待っていることに気がついた男性は、突然静かになりました。その瞬間、彼はやっと自転車よりも車の方が大きいことを悟ったようでした。

私は窓を開けて彼が車に近づくの待ちました。彼が車の方に来るのを見て、私は大声で次見かけたら轢いてやると怒鳴りました。そして車を急発進させて彼の自転車にぶつける素振りを見せました。私は満足しました。‘見せてやった’と思いました。

次の瞬間、私の霊の中で聖霊様が強く厳しい声で、“ゲイリー、何をしているのだ？”と言われました。その御声を聞いたとき、我に返りました。突然、私はその男性を轢いていたかも知れないと思い恐れしました。私がミラーで確認すると、彼はゆっくりと自転車を漕いでいました。私はそのまま運転しましたが、私の良心は私を放っておきませんでした。新人の牧師として、最悪の事態を招いていたかも知れないことに気がつきました。新聞に、“Faith Life Churchの牧師が自転車の男性を轢いた”という記事が出るのを想像しました。聖霊様は、その自転車の男性のような人々を牧会するために私に教会を開拓させたということを感じさせました。私は自分の行動にショックを受けながら、主の御前で涙をもって悔い改めました。

あなたは神様の御声を聞いたことがあるということを知って下さい。あなたの心を柔らかく保ち、良心を聖く保つことで、いつでも神様の御声を聞くことができます。聖書は、イスラエルの民が神様に対して心をかたくなにしたので、約束の地に入ることができなかつたと教えています。へブル人への手紙の著者は、私たちが彼らの道を歩むことがないように警告しています。

ですから、聖霊が言われるとおりに。「きょう、もし御声を聞かざらば、荒野での試みの日に御怒りを引き起こしたときのように、心をかたくなにしてはならない。」

このメッセージは3章4章の中で少なくとも3回は繰り返されています。なぜ警告なのでしょう？なぜなら、神様はあなたを祝福したいと願われ、イエス様が支払って下さったものを全て受け取ることを願っておられるからです。

かたくなになることを思い浮かべると、私が幼い頃に飼っていたポニーを思い出します。そのポニーは私が出会った動物の中で最も意地悪で欲張りでした。私だけが唯一、そのポニーに乗ることができました。ある日、馬に乗るのが好きでどんな馬も手懐けることができると言っていた友人が家に遊びに来ました。彼はポニーのトニー（そう名付けました）に乗ることにしました。彼が私に見本を見せてくれと頼んだので、私はトニーに乗りました。

ですから、聖霊が言われるとおりに。「きょう、もし御声を聞かならば、荒野での試みの日に御怒りを引き起こしたときのように、心をかたくなにはならない。」

-ヘブル3:7-8

トニーは何事もなかったかのようにそのまま周りの草を食べ始めました。

トニーは普段からそのように生活してきたので、彼にとっては何事でもなかったのです。だからジャッキーの叫ぶ声を聞いても気にも止めませんでした。ポニーとして、私以外の人にとってトニーは価値のない存在でした。なぜでしょう？私が言ったように、トニーは欲張りだったからです。

私がトニーに餌をあげていました。ですから、トニーは新鮮な空気と大好きな草を食べ続ける唯一の道は、私を彼の背中に乗せることだと認識していました。私がトニーに乗るとき、トニーは頭を横に向けて私が乗っているのを見ていました。トニーは私に早く乗ってほしいので、顔をこちらに向けて私の脚を噛みました。それが痛かったので、私はいつも恐怖を感じながらトニーに乗っていました。

私たちは、心がかたくなになるのを放っておくと、トニーのように、神様にとって用いることのできない存在になってしまいます。ある日、私たちは庭にロープでトニーを繋いでいました。父はトニーのためにバケツに水をいっぱい溜めました。そのバケツをトニーの近くに置いて父

友人の名前はジャッキーで、私はジャッキーがトニーにまたがったときに起きたことを決して忘れることができません。ジャッキーがトニーにまたがった瞬間、トニーは狂ったように家の近くにある沼に向かって走り出しました。ジャッキーは落ちないように必死につかまり、トニーに向かって止まるように叫びましたが、トニーは気にも止めませんでした。それどころか、トニーは力の限り速く走って沼の直前で頭を前方に倒すようにして急に止まりました。もちろん、ジャッキーはトニーの上からそのまま沼に投げ落とされ

がトニーに背を向けてその場を離れようとしたとき、トニーは父に嘔みつきました。父は救われていなかったので、感情がむき出しになりました。水の入ったバケツの横に塩の塊がありました。父はそれを手に取って力一杯トニーに向かって投げつけました。トニーは生き残りました。私はトニーを信頼していたでしょうか？いいえ！

これが人々の心の中を表しています。人は、一度くらい良心の声に聞き従わなくても大きな問題には発展しないと思っていますが、そのたびに心に傷が残るということを知りません。いつの日か、彼らの心はトニーのようになり、神様が何を言われても動じないかたくな心の持ち主になってしまうのです。ですから、あなたが良心を無視したことに気がついたとき、すぐに悔い改めて下さい。

詩篇 51 篇は、ダビデがバテシェバと姦淫した後に書かれた詩です。悔い改めの詩です。

神よ。御恵みによって、私に情けをかけ、あなたの豊かなあわれみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。どうか私の咎を、私から全く洗い去り、私の罪から、私をきよめてください。まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります。

私はあなたに、ただあなたに、罪を犯し、あなたの御目に悪であることを行ないました。それゆえ、あなたが宣告されるとき、あなたは正しく、さばかれるとき、あなたはきよくあられます。ああ、私は咎ある者として生まれ、罪ある者として母は私をみごもりました。ああ、あなたは心のうちの真実を喜ばれます。それゆえ、私の心の奥に知恵を教えてください。ヒソプを持って私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。私に、楽しみと喜びを聞かせてください。そうすれば、あなたがお砕きになった骨が、喜ぶことでしょう。御顔を私の罪から隠し、私の咎をことごとく、ぬぐい去ってください。神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。私をあなたの御前から、投げ捨てず、あなたの聖霊を、私から取り去らないでください。あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。

-詩篇 51:1-12

たとえ私がささげても、まことに、あなたはいけにえを喜ばれません。全焼のいけにえを、望まれません。神へのいけにえは、砕かれたたましい。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。

-詩篇51:16-17

ダビデは神様に、きよい心、砕かれた悔いた心を造ってくださいと叫んでいます。簡単に言うと、ダビデはもう一度感じる事ができる心を与えてくださいと言っているのです。ダビデが自分の良心の声に聞き従っていたなら、あのような問題を引き起こすことはなかったでしょう。ですから、あなたが良心の声を無視し続けるなら、あなたの心はかたくなになり、悪いことをするのがどんどん容易になって、最終的には神様の御声が完全に聞こえなくなってしまうということ覚えて下さい。

良心は、神様の御声を聞く方法の一つです。もちろん、聖霊様は私たちに直接語って下さり、道を示して下さいます。そして、私が話したように、私は聖霊様のかすかな細い声とともに、厳しく叱責する大きな声をも聞いたことがあります。

また、次の章で話す予定ですが、夢や幻を通して私に語られた経験もあります。しかし、この章では私たちが神様の御声を聞くためには、私たちの良心を柔らかく保つ必要があることについて学びました！

第10章

幻と夢

私は突然起き上がるとドレンダに、“あなたのお腹の中には女の子がいるよ！”と言いました。

5人の子宝に恵まれましたが、たった一度だけ4番目のポリーのときだけ神様が私に胎児の性別を教えてくださいました。そうすることでドレンダがポリーを妊娠していたときに起きた自動車事故から守られるようにされたと感じています。時速88キロで走行していたとき、若い男性が運転していた車が私たちの前に割り込んで来ました。急に止まることもできず、私たちの車は彼の車に激突しました。重傷者はいませんでした。私たちはみな病院に行きました。妊婦のドレンダは、しめていたシートベルトによって腹部を圧迫されました。ドレンダは胎児のことを心配していました。しかし、神様がポリーのことを私に示されたことで、私たちは平安を得て、ポリーが無事であることを悟りました。実際に彼女は無事でした。

ポリーのことですが、彼女が妻になり、自分の子どもをみごもったときの話をします。ドレンダと私は、仕事で海外に行くことになっていました。残念ながら、ポリーの出産予定日は私たちが海外に行っている間でした。あなたが私の妻ドレンダを知っているなら、彼女が自分の娘の出産時に一緒にいられないという選択はしない人だということがわかるでしょう。そこで、私たちは仕事をキャンセルすべきか悩みました。私がこのことについて祈っていると、聖霊様が出産予定日は間違っていて、赤ちゃんは私たちが海外から戻ってきた翌日に生まれることを示して下さいました。私はドレンダにこのことを伝え、私たちは仕事のために海外に行きました。

私たちが家に戻って来たとき、ポリーに陣痛がやってきて、赤ちゃんは主が示された日に生まれました。私たちの孫娘アイポリーの出産に間に合いました。

これもまた、聖霊様が私たちの人生の状況を通して語られるという例えであります。しかし、聖霊様が私たちに語られる方法は他にもあることを聖書を通して見てみましょう。

その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りには夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。

-ヨエル2:28-29

預言者ヨエルは、神様の霊が全ての人に注がれる日が来ると言っています。私たちは‘そのとき’を生きています。ペンテコステの日、聖霊様はその方を待ち望んでいた人々の上に臨まれました。聖霊に満たされた人々が異言を語るのを見た群衆の中には、彼らが酔っているのだと言う人もいました。ペテロは群衆に向かって次のように言いました。

そこで、ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々にはっきりとこう言った。「ユダヤの人々、ならびにエルサレムに住むすべての人々。あなたがたに知っていただきたいことがあります。どうか、私のことばに耳を貸してください。今は朝の九時ですから、あなたがたの思っているようにこの人たちは酔っているではありません。これは、預言者ヨエルによって語られた事です。『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

その日、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。

-使徒2:14-18

夢と幻は、聖霊様が私たちに語られる方法として、大きな割合を占めていると言えます。私は、なぜ聖霊様がかすかな細い声で私たちに語られるのか、夢の中で語られるのかは知りません。一つの理由として、私たちが忙しすぎるからではないかと思うことがあります。私たちが静か

なとき、私たちは神様に焦点を合わせることができるからです。私たちが神様の細い声に気づかないほど騒音の中にいるとき、夢を通して語って下さるのかも知れません。聖霊様はどんな方法を通してでも、私たちがメッセージを受け取ることを望まれるのです。どんな理由であれ、私は夢と幻を与えて下さる神様に感謝しています。夢と幻は似ています。幻は私たちが起きているときに見る絵であり、夢は私たちが寝ているときに見る絵です。

私は起きているときに数回ほど鮮明な幻を見たことがあります。最もリアルだった幻は、私が19歳のときに福音を伝える者として召されたときに見たものです。それは、私が聖霊のパプテスマを受けてから数ヶ月後のことでした。もちろん、伝統的な教会に通っていた私にとっては、この幻は真新しいことでした。

しかし、その日は私の誕生日で、私は友人たちに夕食をごちそうになる予定でした。私たちが食前の祈りをしていると、私は突然聖霊様が力強く臨まれるのを感じました。私にとってはこれもまた新しいことでしたが、聖霊のパプテスマを受けたので聖霊様の臨在だということはわかりました。私はどうして良いのかわからなかったので、友人たちに席をはずして少し外に出てきてもいいかと尋ねました。

私が外に出ると、神様の臨在はさらに強く感じられて、そのとき、私は幻を見ることになりました。その幻はあまりにも鮮明だったので、現実の世界で見ているのかと思われました。私は講師が立つような場所に立って、人々に向かって話していました。人々は35～40人程度で、みなが折りたたみ式の椅子に座っていました。私にはそれが夜であることがわかりました。それから、“わたしはあなたを御言葉を伝えるために召した”という御声が聞こえました。それは3回繰り返され、目の前の光景とともに油注ぎは引き上げられました。私が部屋に戻ると、友人たちは何があったのかと尋ねたので、私は、“御言葉を伝えるために召されたと思う！”と言いました。

私はその晩家に帰って、父に起きたことの一部始終を話したのを覚えています。父は、牧会者はあまりお金を稼ぐことができないと言いました。父が言ったのはそれだけでした。その当時、父はクリスチャンではありませんでしたが、感謝なことに、父は80歳でイエス様を受け入れて、今は天国にいます。

この場合、私が若かったので、聖霊様は幻を通して私に語られたのだと信じています。主は、私が家族から激しい迫害を受けることと、険しい道りが私を待っていることを知っておられたからです。実際に、この鮮明な幻は苦しい時期を通過していた私の支えとなりました。

別の幻は、私がまだ古い家に住んでいたときに見たものです。私たちはその古くて壊れた家に、約9年間も住んでいて、貧しさの中で生きていました。しかし、神の御国について学び始めたとき、私たちは栄え始め、ついには借金から解放されることになりました。

そのとき、神様は19歳の私に見せて下さった幻を成就される段階に入られました。幻を見たときから21年後、神様は私に教会を開拓する

ように言われました。それまで私は大学を出てからお金に関する仕事を21年間していました。

しかし、40歳になったとき、神様は私に教会を開拓するように言われたのです。

私たちは、クリスチャンのラジオ局で初めての教会の集まりを持ちましたが、その光景は21年前に主が下さった幻と一致していました。初めての礼拝のとき、幻の中で見た人物と同じ人物が折りたたみ式の椅子を並べていて、幻と同じで外は夜でした。

ドレンダと私は教会を開拓したことが嬉しくて、私たちが住んでいる家を気にする余裕はありませんでした。私たちには5人の子供がいて、部屋の数も足りなかつたので引っ越さなくてはならないことはわかっていました。しかし、私たちは軌道に乗っている事業と開拓したばかりの教会で忙しく、家について考える時間はありませんでした。

ある日、私は教会から家に戻ってきて、リビングのソファに座りました。座った途端、突然、私の周りのものが全て消えて、部屋は同じでしたが、家具は何一つ置いていない状態の部屋が目の前に広がっていました。リビングの扉は開いていて、ダイニングルームに繋がっていました。リビングのソファに座っている私からもダイニングルームは見えました。家具がないのはリビングだけでなく、ダイニングルームも同じでした。幻は5秒ほどのものでしたが、私はその幻を見たときに、引っ越すときが来たことを悟りました。私はすぐにドレンダに幻のことを話し、引っ越しについても考え始めました。

このときも、神様は幻を通して神様の計画を私たちに示されたのだと信じています。私たちは忙しかつたので、幻がなかつたら、さらに家のことは後回しにしていたと思います。しかし、幻は、“今こそこを去るときだ!!!”と緊迫感を与えました。後になって、私たちはその理由を知ることになりました。

私たちは古い家を9年間借りて生活していましたが、その家を取り壊して新しい住居を建てる計画が進んでいたもので、そろそろ引っ越さなくてはならないことは知っていましたが、‘いつ’なのかは知りませんでした。

長い話を省略すると、神様は私たちを美しい土地に導いて下さり、そこで家を建てるようにされました。私たちの計画では、2、3年をかけてゆっくり家を建てる予定でしたが、家を建て始めて6ヶ月が過ぎた頃、今の古い家を1ヶ月以内に出なくてはならないという通知が届きました。私たちは彼らに、今家を建てている最中だから、2、3ヶ月の猶予を与えてほしいと頼んだところ、彼らは承諾しましたが、それ以上は延ばすことができないと言いました。

私たちは猛スピードで家の完成に向けて動き出し、彼らから与えられた期間内に家を建て終えることができました。もし、神様が幻を通してこの計画を知らせて下さらなかつたなら、私たちは忙しさを理由に、引っ越すことも家を建てることも先延ばしにしていたと思います。

もちろん、私がこの本の冒頭で話した夕もやの話も、私のその後の人

生を変えた幻の話です。その幻は私の将来を具体的に見せるものではありませんでしたが、夕もやの光の中で、私を国々に遣わすと言われた御声は聞こえました。

私の人生でその他にもいくつかの幻を見た経験はありますが、夢の方が頻繁に見るものだと感じています。私がアルバニアに行く一週間前に、アルバニアでの集会に関する夢を見ました。その当時の私は、今のように飛び回っていませんでした。そして、神様が語られるまで、私は一度も飛び回る働きに興味を持ったこともありませんでした。

しかし、飛び立つ一週間前に、私はこの夢を見たのです。夢の中で、私は診察室のベッドに横たわっており、看護師が来て検査のために採血をすと言いました。看護師が私の中指をつかんで採血を始めたので、私は変だなと思いました。しかし、夢なので夢の中では変だなと思うこともあります。

この夢の中で、ついには私の全ての指から採血されました。私は聖書勉強で学んだことを思い出しました。私たちの手は5つの働きを表していて、親指は使徒、人差し指は預言者、中指は伝道師、薬指は牧師、小指は牧師の横で働く教師を指しているというものでした。

私はこの夢の意味を理解しました。いつの日か、私は5本の指が持つ働きをするようになるということです。私は牧師であり教師ですが、教会に御国を通して経済的な祝福を流すための預言的な言葉を持っていることも知っています。イエス様は私がアルバニアにいたときにこのことを示されました。夢の中で、まず私の中指から採血されたのを見て、アルバニアでは私を福音の良い知らせを伝える伝道師として召されたのだと確信しました。今、私は使徒としての働きを始めたばかりです。

夢の中で、看護師が私の中指をつかんだとき、彼女は私の両手の手のひらを合わせました。子どもが祈るときに手を合わせるポーズのようでした。そして、彼女は静かに祈り始めました。彼女は声を出して祈ったのではなく、口は動いていましたが祈りは聞こえませんでした。夢の中で、私は伝道師としてアルバニアに遣わされるので、その集会のために祈るべきだということを悟りました。

私はこれまで数え切れないほどの夢を見てきましたが、夢は聖霊様の御声です。私は毎晩夢を見る人たちに会ったことがあります。彼らは全てのことを“霊的”にしています。私たちは夢を吟味する必要があり、霊的に高慢な人は自分を特別な存在にするために、神様から来たものでないのを神様から来たと言って誇ります。私はそれほど頻繁に夢を見ません。一年に4～10回ほど、何か重要なことを私に語られるときに神様が夢を与えて下さいます。もちろん、夢を見る回数は毎年異なります。私は夢の内容が重要であり、夢を見る回数はそれほど重要ではないと思っています。

私は人生を変える夢を見て、実際に人生が変わりましたが、それは8年勤めていた保険会社を辞めて人々を借金から解放する新しい事業を始めるという夢でした。その夢は私にとって重要でした。

また、警告を与える夢もありました。とても不思議な夢でしたが、そ

それは主からの警告でした。その夢を見たとき、私のミニストリーは経済的な問題を抱えていて、私はそこから来るプレッシャーを感じていました。夢の中で、私はベッドに横たわり眠りにつこうとしていました。寝室の扉は開いていて、寝室の向こうから物音が聞こえたので（夢の中の話です）、私はその方向に目を向けました。そこには小さな悪霊が現金の入ったバッグを背負って立っていました。そのバッグはサンタクロースが使うようなものでした。バッグの中には多額の現金が入っていたので、小さな悪霊はそのバッグを引きずるようにして背負っていました。悪霊は家の外には行かずに、私たちの家の三階に上ろうとしていました。そこで夢から覚めましたが、私はその夢を通して、悪霊が私たちのミニストリーの資金を盗んでいるということを知りました。

不思議なことに、夢の中の私は、バッグにどれくらいのお金が入っているのかを知っていました。だいたい、250万円ほどの現金だったと思います。

また、悪霊が家から出て行かずに三階に上ろうとしていたのを黙想すると、私たちの家に留まったもの、更に何か盗むものを探しているのだと気づき、家そのままミニストリーを指しているのだと悟りました。翌朝、私は起きてすぐに教会の長老に電話をかけて、お金を管理している部に連絡をして私の本を確認してほしいと頼みました。すると、私たちは多くのお金が不要なところに使われていたことを知りました。私たちが不要なところに使われていたお金を調べてみると、その額は毎月250万円ほどでした。誰もそのお金を盗んではいませんでしたが、不要なところに使われていたことで、私たちは本来あるべきお金を失っていたのです。私たちの状況はとても苦しかったので、そのお金が必要でした。

夢はあなたに戦略を示すためにも用いられます。

夢は、あなたに戦略を示すためにも用いられます。2018年に、私は、“船を召喚しなさい”と聞こえただけの、とてもシンプルな夢を見ました。私はその言葉を書き留めましたが、意味を理解してはいませんでした。私は主に夢の意味を尋ね続けまし

たが、ドレンダ以外には誰にも話しませんでした。

1月に開かれた男性の集まりで、私は新年の抱負について話しました。一つ目は、何年間も考えていたスモールグループの集まりですが、今年こそ始めるときだと感じました。集まりが終わったとき、ある男性が私の方に来て、可笑しなことを言うように申し訳なさそうに、“主はあなたをトロイのヘレンのようだと言われました”と言いました。私は彼が何を言っているのかわからなかったため、彼は説明し始めました。私は彼に、説明してくれた内容をemailにも送ってほしいと頼みました。

スパルタ王のメネラオスはトロイアの王子に誘拐された妻を助けるために1,000の船で海に出ることを命じました。“1,000の船を出航させた顔”は、トロイの

ヘレンに出てくる有名なスピーチです。

2019年1月30日水曜日、先生が男性の集まりで話をされていたとき、主が私に‘彼はトロイのヘレンのように、失われた人々、信仰を失い、家族を失い、お金を失った人々を助けるために1,000の船を出航させる者だ’と言われました。

アロンより

その後、彼は別のemailを私に送りました。

先生、

私はあなたにトロイのヘレンの軍隊のイメージを持ってほしいです。ほとんどの人にとってこれは、自分の妻を助けるために1,000の船を出航させた王の話ですが、軍隊をイメージして考えると、実際に軍隊にトロイのヘレンという名の作戦が存在しているのをご存知ですか。軍隊の全ての作戦にはそのような名前が付けられています。例えば、シールチーム6がオサマ・ビン・ラディンのアジトに突入したときの作戦は“ネプチューン・スピア作戦”と呼ばれました。他にも、フォワード・マイクや、エルビス・マーシャル、サンタ・クロースと呼ばれる作戦もあります。

作戦に名前を付けることで、その作戦の目的、どのような作戦なのか、また誰が指揮をとっているのかなどがわかりやすくなります。

主があなたをトロイのヘレンのようだと言われたとき、私の頭の中で軍隊をイメージして考えてみました。私は、ゲイリー先生の作戦の名前がトロイのヘレンであると考え、先生は1,000の船を出航させ、信仰、家族、お金を失った人々を助ける方だと考えました。

さらに、私は1,000の船と聞いたとき、先生を支えるスタッフ、周囲の人々、船を出航するための作戦の数だとも考えました。あなたよりも力強く軍隊に命じて神の御国を地上に解き放つ人は誰もいません。あなたは何年もかけてこのときのために私たちを訓練してきました。私の家族、そしてキリストのからだである兄弟たちも、参戦することを楽しみにしているに違いありません。

アロンより

アロンは、21年間も海軍として働き、9つの作戦を成功させた人です。彼は、十字架の力によって劇的に変えられました。彼は、主が夢の中で私に、“船を召喚しなさい”と言われたことを知りません。しかし、彼の“知識の言葉”が主が私に語られたことを確かなものにしました。私たちの目標は、全世界に1,000のスマールグループを作って御国の良い知らせを広めることです。あなたもその軍隊の仲間になりたいのなら、Garykeesee.comに連絡を下さい。

私の言いたいことが伝わったと思います。夢は神様が語られる力強い方法で、夢を通して人々を助け、正しい方向に導き、戦略、警告、そして慰めを与えて下さいます。

この章が終わる前に、神様が用いられる直接的な方法である預言について話したいと思います。アロンは私の計画を確かなものとするために知識の言葉が与えられました。知識の言葉とは、文字通り知識の言葉です。その知識はあなたが思いつくことのないものが神の霊によって示されるのです。知識は、1コリント12章に出てくる9つの聖霊の賜物の中の一つです。この本の中で、聖霊の賜物について説明することは無いですが、その中の一つ、預言の言葉については見ていきたいと思ひます。

“ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。”

-1コリント14:3

あまりにも多くの人々が、私がこれから話すこの賜物を誤解しています。多くの人々は‘預言’と聞くと、“あなたはアフリカに行きなさい”や、“あなたは牧師として召されている”といったものを思い浮かべます。これらは本物の預言であるかも知れないし、あるいは偽物であるかも知れません。あなたがどう解釈するかにかかっています。あなたに迷いが生じているなら間違っているかも知れないし、あなたが本物であると確信するのなら合っているのです。パウロは預言の目的についてこう教えています。

**“ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。”
(1コリント14:3)**

ここに書いてあります。どこにも預言が方向を示すとは書いてありません。しかし、多くの人々は預言と聞くと、方向を示すものだと思っています。

パウロは、預言は方向を示すものではなく、確証するものだと言っています。あなたが本当に生まれ変わっているなら、あなたの中におられる聖霊様があなたのすべきことを教えて下さるのです。イエス様のために何ができるのかを、他の人から聞く必要はありません。しかし、知識

の言葉は、あなたの中にすでにあるものを確かなものにするのです。

例えば、あなたの中ですでにアフリカに行くことを思い描いていたとき、誰かに“あなたはアフリカに行きなさい”と言われたら、それはあなたの中にあるものを確証したので、本物の預言だと言えます。しかし、あなたがアフリカに行くことを一度も考えたことがないのに、その預言を受けたとしたら、それは新約聖書が教えている預言の言葉ではないかも知れません。

人々が話している内容を聞くと驚きを隠せません。クリスチャンである人たちが私の元に来て、“集会で神様は私が栄えると言われた”と言う人を何人も見てきました。はい、聖書がすでに私たちは栄えると教えているので、誰かに言ってもらう必要はありません。私は、預言を受けようと預言者を探し回っているクリスチャンをたくさん見てきました。人を探す必要はありません！あなたの中におられる聖霊様があなたに語られ、神様があなたの中にあるものを確かなものにされるために励まして下さるのです。

私の人生において最もドラマチックな出来事は、私がドレンダと交際していたときに起きました。私は、ジョージア州にいる彼女の家族に結婚の承諾を得るために会いに行くところでした。そこにいる間、私は彼女が通っている地元の教会と一緒に行く予定でした。その頃、私はちょうど保険会社に勤め始めたときでした。私は19歳のときに福音を伝えるために召されましたが、その後大学を卒業し、保険会社で働き始めたので、自分の今後の方向性について混乱していました。

ドレンダが通っていた教会での日曜礼拝が終わったとき、私は知らないけどドレンダはよく知っている女性が私のところに来て言いました。

“あなたは今、果たして自分の仕事を続けるべきかどうかを決められずにいますが、主がこの仕事の中で、あなたと共におられるから続けて下さい。あなたに必要な完璧な仕事です。”この場合、私はすでに心の中で仕事に対する葛藤があったので、彼女の預言的な言葉は、私に慰めと励ましを与え、私が行くべき方向性を確かなものにしてくれたのです。もう一度言います。あなたの中におられる聖霊様があなたを導き、あなたの助け主になって下さいます。

第11章

聖霊様は私の上司のようだ

私の教会には、小さいですが働く必要がある家族がいました。彼らはいつも教会の助けになろうとしていました。しかし、彼らにはお金の問題があるようでした。家族の父親はまた職を失ってしまったので、私は彼らを助けることにしました。その頃、私は自分の家を建てていたので、工事に関わることを自分でやっていました。私はその父親に、アルバイトのように私の家の工事を手伝わないかと尋ねました。彼の家族は食べることすら難しい状況だったからです。彼は履歴書を書いて私に渡しました。

私は特に何も考えていませんでしたが、約1ヶ月後、ある男性から電話がかかってきました。彼は、数人が集まって私のために祈っていると仰いました。私は、“何についてですか？”と尋ねました。彼は、教会の中で10個変えるべきことがあり、彼らはそれについて話し合ってきたと仰いました。まず1つ目は、私の家が大きすぎるということでした。彼は、その大きな家を建てるために教会のお金をいくら使ったのか聞いてきました。私は、この家を建てるために教会から受け取ったお金は1円もないと答えました。私がそう答えると、そこには沈黙がありました。それから彼は、“教会から給料を受け取っていないのですか？”と私に聞きました。私は、“そうです”と答えました。また沈黙があり、彼は、“給料は受け取るべきです”と言って、会話は終了しました。

それから一週間後、人を募集している新しい会社があることを知った私は、あの父親に連絡して知らせました。彼はそこに面接に行き、仕事を得ることができました。この家族は経済的に本当に苦しい生活をしていたということをおぼえていますか。彼が仕事を始めてから一週間過ぎた

頃、彼は私のところに来て仕事を辞めたと言ったのです。私は驚いて、“辞めたのですか？なぜ？”と聞きました。彼は、金曜日の午後、仕事が忙しかったときに、床の掃除を頼まれたからだと答えました。彼はその職場に床掃除をするためにここに来たのではないと言って辞めたそうです。私は自分の耳を疑いました。この男性が人生の成功を願うなら、どれほどの厳しい訓練を通る必要があるのかわかりません。私はいつも彼の妻が可哀想に思えました。彼らはその後、教会を去ったので彼らが今どうしているのかはわかりません。しかし、だいたいのことは予想できます。彼の傲慢な態度と、仕事へのやる気のなさを直さない限り、彼は仕事を見つけてはすぐに辞めるということを繰り返しながら生きていくでしょう。彼の人生は繁栄とはかけ離れた、毎日を生きるのに必死な生活になるしかないのです。誤解しないで下さい。人は変わるので、私は彼が変わったことを願っています。しかし、私が知っている彼は、その頃からも間違った方向に向かっていました。彼は、神様の御声に耳を傾けようとしませんでした。

あなたは、“神様の御声とは、何のことですか？”と疑問に思うかも知れません。彼は人生に行き詰まっていたので、何もヒントを得ることができませんでした。一つ言えることは、彼は神様が人を造り変えるために通らせる訓練を妥協し、そこから逃げたということです。学ぶことから逃げました。あなたはこの章の主題と何の関係があるのかと混乱しているかも知れません。自分の上司と聖霊様に何の関係があるのか？と。この章の中で、あなたはあなたの上司が聖霊様の御声を聞くための助けに繋がることを知るでしょう！

まず、マタイ 8：5-10 を読んでから始めたいと思います。

イエスがカペナウムにはいられると、ひとりの百人隊長がみもとに来て、懇願して、言った。「主よ。私のしもべが中風やみで、家に寝ていて、ひどく苦しんでおります。」

イエスは彼に言われた。「行って、直してあげよう。」

しかし、百人隊長は答えて言った。「主よ。あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。ただ、おことばをいただかせてください。そうすれば、私のしもべは直りますから。と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私自身の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに、『行け。』と言えば行きますし、別の者に『来い。』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ。』と言えば、そのとおりにいたします。』

イエスは、これを聞いて驚かれ、ついて来た人たち

にこう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。わたしはイスラエルのうちのだれでも、このような信仰を見たことはありません。」

-マタイ8:5-10

なぜこの男性は、イエス様が自分のしもべを簡単に癒すことができると信じたのでしょうか？彼自身がこの質問に答えています。“私も権威の下にある者ですが、私自身の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに‘行け’と言えば行きますし、別の者に‘来い’と言えば来ます。またしもべに‘これをせよ’と言えば、そのとおりにいたします。”彼は権威について知っていました。彼も権威の下にいますが、彼の権威の下にも人がいるのです。彼は、自分の上司の言葉をカイザルの言葉として捉えていました。実際に、彼の上司の命令は、カイザルの命令なのです。また、彼は自分の言葉が部下にとってはカイザルの言葉だということも理解していました。権威とはこういうものです。だから、権威の下にすることがどういものかを理解していた彼は、イエス様がお話しになるなら、その通りになるということを理解していました。

彼もまた部下に命じればそのとおりになるからです。単純なことです。あなたが学ぶべき真理がここにあります：

あなたが権威に服従するとき、あなたは権威とともに歩むことができます！

もしサタンが、全ての尊敬と権威を取り除き、人々に自分の思うままに何でもやりなさいと言うなら、この世界は混沌の中でめちゃくちゃになってしまいます。このやり方で、サタンはエバに挑戦しました。“神は本当にそう言われたのか・・・？”聞いて下さい。この地上に住む全ての人は権威の下にあり、しかも様々な権威の下にいます。自分が誰の権威の下にいますのかを知ることは、誰に従うべきか、あるいは従わないべきかを識別する助けになります。しかし、今日、みな権威の下にはいたくないけど、自分は権威を持ちたいと思っていますが、それは不可能です。

最近、私はある請負業者と話をしたとき、従業員の税金や労災保険料を避けるために現金で給料を払っているということを聞きました。しかし、私にはその後どうなるかがすでにわかっていました。もし従業員の誰かが仕事に怪我をして、労災保険料を受け取ろうとしたのに、上司が一度も労災保険料を支払ったことがないことを知ったら、彼は上司を訴えて、上司が避けようとしてきた保険料よりも多額のお金がかかることになります。私の教会にいた数名の請負業者も同じことを経験しました。

先週私は、牧師は必要ないと言っている女性に会いました。彼女は、聖霊様との関係だけで十分だと言いました。本当でしょうか？彼女はイエ

ス様のところに言って聞いてみた方がいいと思います。なぜなら、イエス様ご自身が、エペソ4章で教会の中で牧師を任命されたからです。もし彼女がイエス様に服従しているなら、彼女はイエス様が立てられた権威にも服従するはずです。問題は、彼女がイエス様にも服従していない、自分勝手な信仰生活をしているところにあります。

彼女はいつか惑わしに陥るでしょう。

この前、私は接客業をしている男性が自分の会社を立ち上げるときに、今の会社にいる全ての従業員を連れて、自分の会社に移動させると言っているのを聞きました。今の会社で、そのようなことはしないという契約が結ばれているにもかかわらずです。このような人が栄えると思いますか？これは窃盗です！

あなたは、この章があまり好きではないかも知れません。他の章のように聖霊様のなさるみわざについて読む方が楽しいかも知れませんが、この章に書いてあることを正しく理解しないなら、神様の昇進を体験することもないでしょう。

いつかの集会の後に、ひとりの女性が泣きながら私のところに来て、なぜ集会のときに自分を呼び出してくれなかったのかと言いました。私はショックを受けました！私に呼び出されることが、彼女にとってそれほど大事なことなのでしょうか？人に見られることが彼女のアイデンティティを確立させるのでしょうか？

自分が誰の権威の下にいるのかを知ること、誰に従うべきか、あるいは従わないべきかを識別する助けになります。

もちろん、このような彼女の姿を見て、なぜ私が彼女を呼び出さなかったのかを伝えることはできます。彼女は自分の夫を尊敬せず、常に他人を自分よりも霊的に劣っていると後ろで陰口を言っていました。だから、私は彼女を呼び出しませんでした。彼女が泣きながら私のところに来たのは、人々の前で自分を霊的な女性として呼んでくれなかったことに腹を立てていたからです。こういう女性は危険です。

あなたに質問します。あなたは、あなたの行きたい道に行く準備ができていますか？もし私が、あなたの牧師や上司にあなたについて聞いたとき、彼らの口から出る言葉は何でしょうか？

あなたは服従の訓練を通らない限り、権威を持つことはできません。私が言ったのではなく、イエス様が言われました。

小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。ですから、あなたがたが不正の富に忠実でなかったら、だれがあなたがたに、まことの富を任せよう。また、あなたがたが他人のものに忠実でなかった

ら、だれがあなたがたに、あなたがたのものを持たせるでしょう。

-ルカ16:10-12

あなたは権威を持つとき信頼されていますか？あなたの服従する姿が証拠になります。

聖書を通して、あなたの人生で成功する秘訣を学んでいきましょう。

ペリシテ人もイスラエル人と戦うために集まった。戦車三万、騎兵六千、それに海辺の砂のように多い民であった。彼らは上って来て、ベテ・アベンの東、ミクマスに陣を敷いた。イスラエルの人々は、民がひどく圧迫されて、自分たちが危険なのを見た。そこで、ほら穴や、奥まった所、岩間、地下室、水ための中に隠れた。またあるヘブル人はヨルダン川を渡って、ガドとギルアデの地へ行った。

サウルはなおギルガルにとどまり、民はみな、震えながら彼に従っていた。サウルは、サムエルが定めた日によって、七日間待ったが、サムエルはギルガルに来なかった。それで民は彼から離れて散って行こうとした。そこでサウルは、「全焼のいけにえと和解のいけにえを私のところに持って来なさい。」と言った。

こうして彼は全焼のいけにえをささげた。

-1サムエル13:5-9

サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをしたものだ。あなたの神、主が命じた命令を守らなかった。主は今、イスラエルにあなたの王国を永遠に確立されたであろうに。今は、あなたの王国は立たない。主はご自分の心にかなう人を求め、主はその人を

ご自分の民の君主に任命しておられる。あなたが、主の命じられたことを守らなかったからだ。」

-1サムエル13:13-14

サウルは権威に服従しなかったことで、認められませんでした。ここでもわかるように、権威に服従できない人は、権威を持つことができません。私はここでとても重要なことについて話します。主はご自分の御心にかなう人を求めておられました。“心にかなう”とはどういう意味でしょうか？

それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心にかなう者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』

-使徒13:22

神様の心にかなう人はどんな人でしょうか？それは、神様が忌み嫌うものを嫌い、神様が愛されるものを愛する人で、神様が命じることを実行する人です。簡単に言うと、神様が罪を忌み嫌われるように、彼らも罪を嫌います。もし神様が何かを成就されようとするなら、彼らが成就しようとしています。私たちの世界では、神様の心にかなう人は、最も優れた霊的な賜物を持っている人だと思ふことがあります。私たちは霊的であることが耳に慕わしい賛美だと思っています。しかし、神様は聞き従うことが霊的な礼拝であると確かに言われました。

するとサムエルは言った。「主は主の御声に聞き従うほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。まことに、そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。あなたが主のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」

-1サムエル15:22-23

ですから、もう一度言います。神様の御声はあなたの上司のようです！神様は、誰もあなたを知らないときに、あなたの権威への態度を試されます。ほとんどの人はこの原則を知りません。彼らは自分のアルバ

イトの仕事を重要ではないものとして扱っています。しかし、彼らは権威に服従する訓練を受けている最中で、彼らの権威への態度が、彼らの将来を決定づけるということを知りません。

人々は、アルバイトの仕事を真剣に捉えて働くその瞬間から、あたかも自分自身がオーナーとしてその仕事に取り組むことに同意するのを教わっていません。アルバイトの仕事を自分の仕事として捉えている人はそれほど多くありません。彼らは大きな仕事に目を向けています。アルバイトは、ただ小遣い稼ぎ程度のものだと思っ

**もう一度言います。
神様の御声はあなた
の上司のようです！**

ていますが、その考え方は間違っています！！！！
重要でない仕事は存在しません。小さな課題というものもありません。ダビデは小さくて、重要でないように見える羊の世話をする仕事をしていました。しかし、彼にとっては重要でない仕事ではありませんでした。彼は自分の命をかけて少なくとも2回羊を守りました。言い換えるなら、彼は自分に与えられた仕事を真剣に捉えていました。誰も彼を知る人はいませんでした。神様は知っておられました！神様はダビデがいるところを知っておられました。

神様はあなたのいるところを知っておられ、あなたの権威への態度（心）を見ておられます。

重要なことは、あなたが目に見える人に服従できないなら、あなたは目に見えない神様にも服従できないということです。私が出会った多くの人々は、自分が被害者だと主張し、いつも他人のせいにしています。彼らはいつも、これは上司のせいだ、政府のせいだと言って自分は被害者だと思っています。彼らは、自分から動こうとはせずに、常に言われたことだけをやればいいと思っています。これは、奴隷生活から解放されて自由になったにもかかわらず、いまだに奴隷の精神を持って生きているイスラエルの民のようです。彼らの奴隷精神では、巨人を倒すことはできません。神様は、成功の前に彼らを訓練させる必要がありました。神様は成功の前に、あなたを訓練させる必要があることも知って下さい。あなたの成功とは、あなたの使命です。聖書を見てみましょう。

それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。

-申命記8:3

あなたの先祖たちの知らなかったマナを、荒野であなたに食べさせられた。それは、あなたを苦しめ、あなたを試み、ついには、あなたをしあわせにするためであった。

-申命記8:16

神様は彼らを苦しめて、謙遜にさせられました。彼らは自分自身ではなく神様により頼むことを学ぶ必要がありました。彼らの前には、ただ食べ物を採るよりも大きな戦いが待ち受けていたからです。彼らが神様はどんな問題よりも大きいということを学ばない限り、これから待ち受ける巨人と城壁によって打ちのめされてしまいます。

また、彼らは自分で正しい選択をする方法を学ぶ必要もありました。今日、多くの親は、子どもたちの心を訓練する代わりに、外側の行ないに焦点を置いています。子どもたちは部屋の片付けを命じられて、服従する心で行なうのではなく反抗心に満ちた心で行ない、片付け終わったら、扉をバタンと閉めますが、親はその態度については注意しません。自分の子どもと友人のような関係を築きたいと願っている親は、子供部屋にやって来て、‘よくやった’と言って褒めます。これは間違っています。子どもの心を訓練する必要があります。服従は心から出るべきです。いつの日か、子どもが重要な選択を迫られるとき、親はそこにいません。子は親元を離れると、自分の思い通りに生きていこうとします。そのとき、心の中にあるものが現れてくるのです。あまりにも多くの親が、自分の子どもは小さい頃は良い子だったのに、高校や大学に入ってから変わってしまったと言ってショックを受けていますが、その理由は明確です。

“ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。”

-1コリント14:3

聖書には、神様はイスラエルの民が最終的によくなるために試されると書いてあります。私が話しているのはこれです。子どもに好かれることに関心を寄せている親と違って、神様は子どもたちが長い戦いに耐えていくことに関心を寄せておられます。神様は、私たちの態度が致命的なものになる前に、心の小さな態度から正して下さいます。神様は、服従することを通して心の態度が現れるようにされます。

全ての人が服従のテストを通らなくてはなりません！それでは、神様は荒野のない私たちをどのように訓練されるのでしょうか？私たちはどこで神様の御声を聞き、服従を学んで次の昇進に備えることができるのでしょうか？神様がサウルのことを何と言われたか覚えていますか？従順はいけにえにまさると言われました。あなたの教会での見た目は昇

進に繋がりません。神様は権威をあなたに授けるほど、あなたを信頼しているのでしょうか？どこから始めるべきでしょうか？それは家庭からです。

子どもたちよ。主にあつて両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え。」これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、「そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする。」という約束です。

-エペソ6:1-3

なぜ、両親に従うことが私たちの幸せと長生きに繋がるのでしょうか？神様はあなたに従順への点数を与えられるのでしょうか？いいえ、しかし、あなたが両親を尊敬し尊重することを学ぶとき、あなたは自分の上の権威を尊重することになり、ついには神様を尊敬し尊重するようになるのです。あなたが神様の権威を尊敬するなら、あなたはその方に従うようになり、あなたの人生は成功するでしょう。ですから、あなたが幼いときの神様は、あなたにとって両親のような存在だと言うことができます。

次に神様があなたに服従を学ばせる場所として用いられるところは、人の権威の下です。あなたの上司、牧師、警察官、そして政府は全て神様があなたの上に置かれた権威です。

私たちの教会には、いつも自分たちの問題に文句を言っていた家族がいました。彼らは100万円を用意しなければ、間もなく家を失ってしまうという状況に置かれていました。彼らは、教会のほぼ全ての人にこの話をしていました。ついに、彼らは、彼らに100万円をあげると決めたある家族に出会いました。しかし、数ヶ月後、結局彼らはその100万円とともに家を失ってしまいました。私はこの夫婦と話しました。二人とも職を失っていたので、私は何か良い仕事が見つかるまで、できることは何でもやってみるのはどうかと勧めました。飲食店でのアルバイトもありましたが、彼らはそういう仕事は自分たちの仕事ではないと言いました。私には、彼らの問題が経済的な問題ではなく、権威と責任を理解していないところから来る問題であることがわかっていました。彼らは、自分たちの家族を養う責任を負っているということを忘れていたようでした。

私の友人であるリック・レナーは、誰かを雇う前に、彼らの車を見たり、彼らの家を突然訪問してみたりすると言いました。彼は、もしその人が自分の車をしっかり管理していないなら、その人の身の回りのことも管理していないだろうと考えたのです。車内の汚さが、職場の机の上の汚さとして現れてくると言いました。

私も荒野の訓練の時期を通りました。私は、神様が私の権威への態度を見て素通りされなかったことを感謝しています。その方は私を苦しめて謙遜にし、私が課題を全うすることができるように訓練されました。

私は、古い家に住んでいた頃の経済的な苦しみを覚えています。感謝なことに、私は大きな投資案件を解決し、いつも遅れていた請求書に追い

つくことができました。そこで私は、普段利用している銀行ではない銀行で当座預金口座を開設し、そこから普段利用している銀行の口座に小切手を振り込むという妙案を思いつきました。しかし、その小切手は2週間経っても来ませんでした！毎日、私は‘不渡り小切手’を描いていました。このやり方は2週間続き、20万円にまで増えました。

しかし、ある朝、銀行の支店長から電話があり、“キージーさん、あなたのやっていることはわかっています。あなたの口座を閉じます。そして、あなたはこの銀行では二度と口座を作ることができません。”と言われました。バレてしまったのです！この出来事で最も悪いことは、私は聖句の書かれた小切手を使っていたので、銀行の支店長にクリスチャンであることを証していたのと同じだったことです。

最後の小切手を受け取り、私は自分の借金を完済することができたのは感謝でした。しかし、私は支店長の事務所に行き、彼女の前で悔い改めて、全ては私の愚かさから来るものであって、神様を非難しないでほしいと頼みました。

私が社会人になって間もない頃、職場の副社長からトレーニングを受けていた時期がありました。彼が私の販売実績を確認していると、私がある銀行で著名をもらい忘れたことに気がつきました。彼は、“問題ない。光にかざして著名されていないところをなぞるだけでいい。彼らはその製品が欲しくて、契約したようなものだから心配いらない。”と言ったので、私はその通りにしました。一ヶ月後、私は顧客の弁護士から連絡を受け、顧客が私を1,000万円で訴えていることを知りました。彼らは、私の副社長に責任があるということで、副社長は辞職し、その額は50万円に下がりました。

私は学ぶ必要がありました！私の従業員のひとりが資格を取るための試験を受けようとしたのですが、お金がなかったので教材が買えず、私は教材を印刷して彼女に渡しました。彼女はその印刷物を試験会場に残してきたので、私は著作権を侵害したということで再び訴えられました。その当時、私はアメリカの国際入庁にお世話になることが多かったので、訴訟に関しても詳しくなりました。今振り返ると、複雑な感情が入り混じります。神様は私を信頼できる人間にするために訓練させました。神様は、いつの日か、私が莫大なお金を手にすることを知っておられたので、私がお金の問題を起こさないように訓練させました。私は神様に感謝しています！

私は、神様が昇進させてくださる方であること、また私の外側の行ないだけを見て昇進させられる方ではないことを学ぶ必要がありました。私の誠実さが試されたのです。だから、私は神様の御声はあなたの上司のようだと言いました。神様はあなたの上司を通して、あなたの服従を訓練され、次の課題に進むための合格を与えて下さるのです。

あなたはこのテストに合格できますか？

高く上げることは、東からでもなく、西からでもなく、荒野からでもない。それは、神が、さばく方であり、これを低くし、かれを高くあげられるからだ。

-詩篇75:6-7

すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。

-ヘブル12:11

奴隸たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。人のごきげんとりのような、うわべだけの仕え方ではなく、キリストのしもべとして、心から神のみこころを行ない、人ではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。良いことを行なえば、奴隸であっても自由人であっても、それぞれの報いを主から受けることをあなたがたは知っています。主人たちよ。あなたがたも、奴隸に対して同じようにふるまいなさい。おどすことはやめなさい。あなたがたは、彼らとあなたがたとの主が天におられ、主は人を差別されることがないことを知っているのですから。

-エペソ6:5-9

尊敬と恐れをもった従順です！あなたはこのような態度であなたの上司に接して下さい。上司への従順が神様の御心だとパウロは言っています。驚きましたか？私は驚きました！

神様の御声は何のようだと仰言いましたか？あなたの上司のようです！

あなたへのテストです！

この本を閉じる前に、私はあなたが感動を受け励まされたと信じています。聖霊様は、決してあなたを見捨てず、あなたから離れない素晴らしいパートナーであることを忘れないで下さい。あなたとこれらの価値ある真理を分かち合えたことを光榮に思っています。

-ゲイリー・キージー

借金の返済や、安全な投資に関する情報は、私の会社Forward Financial Group, 1-(800)-815-0818に連絡して下さい。

神の御国に関する情報は、FaithLifeNow.comを検索して下さい。

Faith Life Churchに関する情報は、FaithLifeChurch.orgを検索して下さい。

第12章

どのように祈り聖霊の バプテスマを受けるのか

私たちが神様から受ける全てのものは、信仰によって受けますが、神様の賜物を受けることもそれと同じです。あなたが祈る前に、この本に記載されている聖句に目を通して、これが神様の御心であることを確信して、大胆に祈れるようにして下さい。聖霊のバプテスマがあなたのためのものであることを確信したとき、このように祈って下さい：

“父よ、私は今日、あなたの霊のバプテスマを求めます。あなたの御言葉を通して、私は今霊の中で祈ります。あなたの栄光のために、イエス様の御名で祈ります。アーメン。”

あなたは経験や感情に振り回されるのではなく、御言葉の上にかたく立って祈ったときに受けたと信じて下さい。あなたが求めたものを受けたとき、神様をほめたたえ、その方が約束して下さい通りに主の霊であなただけに油注がれたことを感謝して下さい。

あなたが祈るとき、証拠となるものを探すのではなく、‘求めるものはすでに受けた’ということを知って下さい。

あなたの証拠となるものは御言葉です。

“祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。”

(マルコ11:24b)

神様の霊が注がれ、異言で祈るようになったら、主を礼拝して下さい。神様があなたの口を動かすではありません！あなたが自分の口を開いて異言で祈るのです。ほとんどの場合、神様の霊が人々に臨むとき、彼らは口を閉じていることができなくなります。

そのとき主を礼拝し続けると、あなたはあなた自身を神様の霊に委ねることになるのです。あなたは、あなたの霊の中で何か違うものを感じ始めます。そのとき、信仰で委ねて下さい。そうすると、神様の霊はあなたの中で力強く働かれるでしょう。

もし、あなたがすぐに異言で祈ることができなくても心配しないで下さい。それは信仰で受け取るものなので、そのまま神様の油注ぎを感謝し続けて下さい。私は、教会で祈ったときは何も起こらなかったけれども、家に帰った途端に異言で祈り始めたという人々に会ったことがあります。重要なことは、感情ではなく信仰によって受け取るということです。

霊の中で祈ることを、あなたの生活の中に取り入れて下さい。神様はあなたに語って下さり、全ての問題の答えを与えて下さいます！私は、あなたが霊の中で祈り、すでに与えられている神の御国の特権を享受する人生を送ることを願っています！

ノート

1. Jared Dublin, “Jailed fan suing NFL for \$88 billion over Dez Bryant non-catch vs. Packers,” January 23, 2015, <https://www.cbssports.com/nfl/news/jailed-fan-suing-nfl-for-88-billion-over-dez-bryant-non-catch-vs-packers/>.

2. <http://www.dictionary.reference.com/browse/Edified?s=t>.

3. Lin Edwards, “Psychologists say babies know right from wrong even at six months,” May 10, 2010, <https://medicalxpress.com/news/2010-05-psychologists-babies-wrong-months.html>.

FLNFree.comにアクセスして、あなたの言語で
無料の資材をダウンロードして下さい！



あなたの言語でさらに無料の資材が必要ですか？
FLNFree.comにアクセスして下さい。

お金の革命

戦略の力

人生は多くの選択で満ちています。

どの家を買うべきか、誰と結婚するか、どの仕事に就くべきなのかをどのように知ることができるのでしょうか？

もし成功したいのであれば、あなたには戦略が必要です。しかし、全ての答えを持っているわけでもないのに、どうやって戦略を立てれば良いのでしょうか？

神様はあなたが必要としている答えを与えようとしておられます。ですから、あなたに秘密兵器を与えられたのです！

「お金の革命」シリーズの三作目で、ゲイリー・キージーは神の御国における彼の成功の鍵と最も重要な奥義について語っています。戦略の力です！網をおろす場所を知っているなら、誰でも魚をとることができます。神様はあなたが必要としている答えを持っておられますが、あなたはそれらを自分の人生に適用する方法を学ばなくてはなりません。この本にその方法が書いてあります。そこにとどまらないで下さい。疲れる生き方を続けしないで下さい。

ゲイリーの目を覚ます旅に参加して、あなたの人生に必要な戦略の力を見つけて下さい！



ゲイリー・キージーは著者であり、講師、経済の専門家、また人々の信仰や家族や経済的問題を助ける働きをしている牧師です。ゲイリーと彼の妻ドレンダは、いくつもの成功した事業を立ち上げており、その中にはテレビ番組を製作しているFaith Life Now. や、Fixing the Money Thing、Drenda.、そして集会や資料などがあります。また、キージー夫妻はオハイオ州コロンバスにあるFaith Life Churchで牧会をしています。